

II. 景気の先行きに対する判断理由

景気の先行きに対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北海道)		*	*
		商店街（代表者）	・高齢者のワクチン接種が始まると見込まれることに加えて、中心部の歩行者天国が7月からの実施に向けて計画されていることから、今後、来街者が増加することになる。それに伴って、交通関連、駐車場、飲食などの売上も伸びてくる。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・ワクチン接種への期待もあり、今後の景気はやや良くなる。ただ、日本国内での新薬開発が遅れていることは残念だ。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・新型コロナウイルスの動向次第ではあるが、長期間休業中であった取引先の飲食店が再開する動きが4月からみられ始めていることから、今後の景気は徐々に回復することになる。
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルス感染者数の増減に左右される面はあるが、客の購買意欲が確実に増していることから、今後、来客数、買上客数共に増加することになる。
		百貨店（営業販促担当）	・高齢者のワクチン接種がスタートすることで、現在来店できないでいる年配の客が徐々に活動的になることが見込まれる。
		スーパー（店長）	・東京オリンピックが終わる頃には景気が上向きに転じるとみている。理由としては、8月頃までには高齢者のワクチン接種が終了し、国民の3～4割程度は接種を完了している可能性が高いことが挙げられるほか、東京オリンピックに向けてメディアがネガティブ報道一辺倒から、ポジティブな内容にかじを切る可能性が高いことが挙げられる。
		コンビニ（エリア担当）	・今後、新型コロナウイルスの感染者数が減ってくることから、景気が回復することを期待している。
		衣料品専門店（店長）	・ワイシャツなどの軽衣料が一昨年以上に売れている。高単価商材は相変わらず低調に推移しているが、少しずつ消費動向が上向いてきていることから、今後の景気はやや良くなる。
		乗用車販売店（従業員）	・今の状況から少しは改善することが期待できるため、今後の景気はやや良くなる。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況次第の面があるが、今後、感染状況が落ち着いた状態で推移すれば、新型車効果もあるため、少しは景気が良くなる。
		その他専門店〔造花〕（店長）	・企業における新型コロナウイルス感染対策が進むことで、客の購買意欲の向上が期待できるため、今後の景気はやや良くなる。
		旅行代理店（従業員）	・ゴールデンウィークの感染状況次第の面があるが、今が景気の底とみられるため、これ以上景気が悪くなることはない。
		旅行代理店（従業員）	・今後、緊急事態宣言が解除され、自治体や国による旅行需要喚起策が再スタートすることが見込まれるため、景気はやや良くなる。
	観光名所（従業員）	・コロナ慣れについてネガティブに捉えられやすい面があるが、利用客の様子をみる限り、感染対策をしっかりと行った上で来場している。そういう意味では、ウィズコロナが浸透し、遊び方にも慣れてきているため、これから徐々に消費行動が活発になると期待している。	
	商店街（代表者）	・緊急事態宣言が解除されることになれば、今よりも少しは景気が良くなる。ただ、新型コロナウイルスに関する科学的データを示し、正確な情報を国民にしっかりと伝えなければ、不安だけが先行し、不満が募ることになる。そのため、新型コロナウイルスが終息したとしても、後遺症は大きく、日常に戻るまでかなりの時間を要することになる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔土産〕 (経営者)	・まん延防止等重点措置や緊急事態宣言が発出されている間は、ビジネスマン以外の旅行者や観光客は増加に転じないとみられる。新型コロナウイルスの感染動向次第の面もあるが、急に晴れ間が出てきて人が動く状況になるとは考えにくい。現状、来客数は前年比30%台で推移しており、こじばらくは低調なまま推移することになる。
		百貨店(売場主任)	・高齢の客の消費者心理について、新型コロナウイルス感染者数の増減に影響される面があるため、今後への見通しが立たない状況にある。
		百貨店(役員)	・新型コロナウイルスの感染状況が最悪の状態になっているため、今後についても底のまま変わらない。
		スーパー(店長)	・ワクチン接種が進むことで消費が活性化することを期待しているが、現在の関東や関西の状況、足元の感染状況を見る限り、消費が大きく伸びるとは考えにくい。旅行などの自粛ムードも続いており、今後も厳しい状況が続く。
		スーパー(企画担当)	・ワクチン接種が新型コロナウイルス感染対策の切り札になるとみていたが、今後の接種スケジュールが不透明になるなかで、感染拡大が急速に進んでおり、この先の消費にどういった影響を及ぼすのか見通せない。
		スーパー(役員)	・前年と同じような自粛状況が今後も続くと思われるため、消費動向も同様の状況が続くことになる。
		家電量販店(経営者)	・今後も巣籠り需要が継続するとみられるため、東京オリンピック開催に伴うテレビ関連需要が期待できる。
		家電量販店(店員)	・当地区は新型コロナウイルスの感染者数が少なく、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置なども発出されていないため、今後とも来客数などにそれほど影響が出ないまま推移する。
		乗用車販売店(経営者)	・新型コロナウイルスの感染動向について、どうなるかわからない状況が続いている。また、東京オリンピックについても、開催の可否などを含めて不確定要素があるため、今後も景気は大きく変わらない。
		乗用車販売店(従業員)	・新型コロナウイルスが及ぼす経済的な影響をみて、これまで車の購入を控えてきた客が多く、前年4月から販売量の減少が続いていたが、感染拡大から1年が経過し、ある程度先行きが見通せるようになってきたことから、これまでの我慢の反動で販売量が回復してきている。このため、今後も景気は変わらないまま推移する。
		自動車備品販売店(店長)	・4月の売上は前年を上回ったが、消耗品や必要品の購入が目立つことから、一時的な売上の増加とも捉えられる。ただ、自動車業界は新型コロナウイルスの影響をそれほど受けていないため、今後も景気は変わらないまま推移する。
		その他専門店〔医薬品〕(経営者)	・全ての業種にいえることだが、安心して外出できる環境が整わない限り、今後も景況感は悪化したまま推移することになる。
		高級レストラン(経営者)	・米国などの様子を見ると、ワクチン接種をすることでマスクをしなくても出歩けることができるようなので、今後、ワクチン接種が進むことで景気が少しずつ上向いてくると期待している。
		高級レストラン(スタッフ)	・ここに来て新型コロナウイルスの感染者が増えていることで、首都圏などでの緊急事態宣言の発出、北海道でのまん延防止等重点措置の要請などの動きが相次いでいるため、今後、景気が回復するとは考えにくい。むしろ、感染者数の増加に伴って規制が厳しくなると見込まれるため、現状と余り変化がないまま推移することになる。
		観光型ホテル(スタッフ)	・Web経由での個人旅行の予約がみられるが、新型コロナウイルス感染者数が増加するたびにキャンセルが相次いでいるため、今後も景気は厳しいまま変わらない。
		旅行代理店(従業員)	・今後、全国民にワクチンが行き渡り、新型コロナウイルス感染者数の少ない状態が継続しない限り、旅行需要は高まらないとみられる。今後、ワクチン接種が今よりも少しは進んでいるかもしれないが、接種が終わっている人は一部に限られるため、感染者数の増減が繰り返されている間は、客足の増加は見込めない。ただ、Go To Travelキャンペーンが再開していれば、少しだけ回復する可能性もある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		タクシー運転手	・コロナ禍のなか、関東などで緊急事態宣言が発出されたことで、人の動きがますますなくなっていることから、今後も厳しいまま変わらない。
		通信会社（企画担当）	・今後についても、新型コロナウイルスの感染動向に関係なく、一定の来客数が期待できる。また、春の新商品発売と通信料割引の効果によって、需要も維持できるとみられる。
		観光名所（職員）	・全国的に緊急事態宣言やまん延防止等重点措置に伴う、営業時間短縮要請などが行われているため、消費マインドが向上する状況になく、景気が回復する兆しも一向にみられない。民間病院も含めた病床数の改善やワクチン接種の進展、特效薬の開発などが進まない限り、今後も最悪の状況が続く。
		美容室（経営者）	・4月の売上は3か月前と比較しても、前年と比較しても増加したが、景気が上向くような要因もないことから、このまま景気が良くなっていくとは考えられない。ただ、景気が悪くなるような要因もないため、今後も変わらないまま推移する。
		美容室（経営者）	・今後の景気については、ワクチンの効果次第とみられる。また、東京オリンピックを開催するかどうかによっても、新型コロナウイルスの感染状況が相当変化しそうなため、判断が付かない。
		商店街（代表者）	・これからオンシーズンに向かう時期だが、新型コロナウイルスの感染が拡大しているため、今後の景気はやや悪くなる。
		商店街（代表者）	・これから果物の育成期に入るため、今後の景気はやや悪くなる。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響によって、今後の景気はやや悪くなる。
		スーパー（役員）	・スーパーマーケットは売上が比較的良好な業態だが、来客数の減少、客単価の低下が続いているなど、経営環境が厳しくなっている。また、個人所得が減少し続けていることで、節約志向もかなり強まっているとみられる。今後については、新型コロナウイルス感染者数の増加に伴って、経済が回らなくなることが懸念されるため、ますます厳しい状況となる。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が増えているため、今後の景気はやや悪くなる。
		コンビニ（エリア担当）	・東京オリンピックの開催によって、関連する一部の業種では景気が上向くとみられるが、それ以外の業種では景気はやや悪くなる。新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいないこともマイナスである。
		コンビニ（エリア担当）	・スポット的な需要はみられるが、全体的には経済が回らなくなってきている。今後、客の来店動向や購買状況にも影響することが懸念される。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染者数の増加と首都圏などでの緊急事態宣言の影響により、自粛ムードが強まり、今後の販売量が減少することが懸念される。
		高級レストラン（スタッフ）	・当地では東京オリンピックのマラソンが開催されることになるが、観客の人数制限や出場選手の厳しい外出規制が課されるとみられることから、経済的な影響は大会関係者と報道関係者によるものだけになるとみられる。そのため、経済的には余り価値がなくなることが懸念される。国による観光支援策が再開されることも期待しているが、それによって新型コロナウイルスの感染者数が増えることも心配である。
		旅行代理店（従業員）	・東京都、大阪府、京都府、兵庫県に緊急事態宣言が発出されたことで、ゴールデンウィークから6月にかけての観光需要が大きく低下することが見込まれる。また、札幌市がまん延防止等措置を要請したことで、当地へのビジネス需要が抑制されることも懸念される。これらのことから、今後も必要の回復は見込めない。
		旅行代理店（従業員）	・今後については、新型コロナウイルスの終息が見込めず、ワクチン接種も進まないとみられることから、旅行を控える傾向が続くことになる。Go To Travelキャンペーンなどの旅行割引策が出てこない限り、利用客が伸びてこないとみられる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスについて、変異株の感染者数が増えている現状から、当地でも緊急事態宣言が発出されることが懸念される。今後、来客数はますます減少するとみられ、景気は悪くなる。
		タクシー運転手	・北海道全体での新型コロナウイルスの感染状況が落ち着かなければ、事態はますます悪化することになる。ゴールデンウィークの人出も期待できないことから、今後の事業に与える影響は計りしれない。
		美容室（経営者）	・今後の売上については、自粛要請が出るのか出ないのかで大きな違いが出てくるため、予想をしにくい状況にある。安易に自粛要請が出されるとは考えにくい、要請が出ると厳しいものがあるため、できるだけ出してほしくないのが本音である。また、当地で緊急事態宣言が発出されることになれば、影響はますます大きくなる。
		美容室（経営者）	・都市部での感染拡大が地方部に移行していくことが懸念されるため、景気が良い方向に向かうとは考えられない。
		その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	・足元の予約状況などから、輸送量が一層減少することが懸念される。
		住宅販売会社（経営者）	・今年もゴールデンウィークはコロナ禍での自粛下であり、観光業や飲食業のみならず、衣料品雑貨などの小売業も大打撃を受けているため、今後、幅広い分野で一層の所得低下が懸念される。そのため、分譲マンション市場にも悪い影響を及ぼすことが懸念される。
	×	商店街（代表者）	・北海道では、ホテルや交通機関、観光関連の業種などがゴールデンウィークを復活の象徴と心待ちにしていたが、緊急事態宣言の発出により、期待できなくなってしまい、相当落ち込んでいる。飲食店には多くの助成金があるのに、観光関連業種に助成などが無いことは疑問である。観光業種は特に零細業種が多く、世情に大きく左右される業種であるため、支援が全くないことは観光大国を目指した日本として疑問がある。これから本格シーズンを迎える観光関連業種を対象に、大きな支援を実施することを要望している。
	×	スーパー（従業員）	・前年の特需の反動が今後も継続することになるため、今後の景気は悪くなる。
	×	高級レストラン（スタッフ）	・緊急事態宣言の発出は4都府県に限定されているものの、報道などが要因となり、自粛が全国的にみられるなど、過剰反応が起きている。このため、当地への旅行者も減少することになり、来館数の減少が見込まれる。
	×	スナック（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が終息するまで、景気が上向くことは期待できない。
	×	観光型ホテル（経営者）	・ワクチン接種率がなかなか向上してこないため、今後も状況は変わらない。むしろ先々の予約に動きが全くみられないことから、景気はますます悪化することになる。既に経営体力は限界にきており、売上補償のような強力で迅速な財政支援が必要な状況である。
	×	タクシー運転手	・ゴールデンウィークは外出自粛の影響で人出が少なくなるとみられ、それ以降も平日、休日共に人の動きが少なくなる。特に夜の人出はますます減ることになり、それに伴ってタクシー利用も少なくなることが懸念される。
	×	タクシー運転手	・これまでの経験から、大都市圏での緊急事態宣言の発出が、地方経済にも波及することは明らかである。先行きの見通しについては、真っ暗としか言いようがない。
	×	タクシー運転手	・ゴールデンウィーク期間中も外出自粛要請が出されるなど、厳しい状況が続いている。ワクチン接種についても、高齢者に行き渡るまでしばらく掛かると見込まれることから、今後も人の往来がなく、厳しい状況が続くことになる。
	×	住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスの終息が見通せないことに加えて、資材などの高騰が収まらないことから、先行きの景気は非常に厳しくなる。
企業 動向 関連 (北海道)		-	-
		建設業（経営者）	・今後、公共工事の受注が本格化することになる。一方、民間建築工事、住宅関係の動向がまだはっきりとしていないため、手持ち工事量はそれほど多くなく、稼働率に余裕がある状態となっている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		建設業（役員）	・現場技術職員がフル稼働で新年度をスタートできたことから、今後、出来高が順調に積み上がることを期待している。ただし、新型コロナウイルス変異株による感染拡大が年度後半の民間受注にとってマイナスとなることが懸念される。
		食料品製造業（従業員）	・新型コロナウイルス感染拡大の第4波が生じているなど、依然として景気が良くなるような要因が見当たらない。
		食料品製造業（従業員）	・新型コロナウイルスの終息が見通せないため、将来の予測を行うことが難しい状況にある。
		家具製造業（経営者）	・大都市圏において緊急事態宣言が発出されたことで、社会活動が停滞することが懸念される。
		輸送業（支店長）	・今後については、新型コロナウイルス変異株による影響が懸念される。国民全員のワクチン接種が完了するまで、景気が回復することは見込めない。
		通信業（営業担当）	・新型コロナウイルスの終息時期が見通せないことが不安材料であるが、感染対策としてのリモート環境の整備、アフターコロナ、ニューノーマルに向けたIT投資などに動きがみられることから、景況感としてはプラスとマイナスの要素が相殺され、変わらないまま推移する。
		金融業（従業員）	・今後の景気については、ワクチン接種がある程度進むまでは、新型コロナウイルスの感染状況に伴って一進一退が続く。このため、道内景気は3か月前と変わらないまま推移する。
		司法書士	・新型コロナウイルス感染対策での行動の自粛、制限がなくなる限り、景気は上向きにならない。ワクチン接種が遅れていることも要因であるが、変異株が出てきていることもあり、景気が良くなるような材料が余りない。
		コピーサービス業（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況が想像をはるかに超えて長期化していることで影響が大きくなっている。今後の景気については、業種によって差がみられるものの、全体では横ばい又はやや下向きで推移する。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当）	・民間のプロジェクト工事、北海道新幹線の延伸工事、再生可能エネルギーに関連した工事などについて、数年先まで続くことが見込まれることから、今後も景気は変わらない。
		その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	・国や自治体による感染拡大防止策が打ち出されているものの、バーベキュー、路上飲みなどが増加傾向をたどっている。人々が新型コロナウイルスへの対応に慣れてきている面もあるが、ストレスが限界にきているためとみられ、今後、ワクチンが潤沢に出回るまで、状況が変化するとは考えにくい。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・企業の設備投資意欲は回復しつつあるものの、積極的な投資とはなっていない。そのため、今後についても、観光業界の回復などがない限り、大きな変化はないまま推移する。
		金属製品製造業（従業員）	・住宅用の木材が高騰しており、品不足も起き始めている。7～8月には値上げや輸入材料が不足する状況が見込まれ、住宅着工にも影響が出てくる懸念がある。
		建設業（従業員）	・景気後退を実感している。建設会社へのヒアリングでは、これから受注金額が低下することが見込まれるため、受注金額が高いうちに早めの受注を予定しているとの話を聞いている。
		司法書士	・新型コロナウイルスのワクチン接種について、世界的にみても最低な状況であり、医療施設もひっ迫状態にあることから、景気回復に向けての特効薬のない状況となっている。国民にワクチンが行き渡るまで相当の時間を要するため、年内の景気回復は期待できない。
		その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が長引いていることから、取引先の投資意欲がかなり減退している。これまでは様子見の状況にあったものが、現在は投資や経費の削減にかじを切っている雰囲気がかえらる。
		その他非製造業〔鋼材卸売〕（従業員）	・新型コロナウイルスについて変異株による感染が増えていることから、今後の社会活動の仕方を変えていく必要性が高まりつつあるものの、業種によっては対応が難しいため、先行きが見通せない状況となっている。
	x	-	-
雇用		-	-
関連		-	-

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
(北海道)		人材派遣会社(社員)	・新型コロナウイルス感染者の増加によって、先行き不透明感が増大しており、経営者は大胆な動きにブレーキを掛けている。あと数か月は同様の動きになると見込まれる。
		求人情報誌製作会社(編集者)	・新型コロナウイルス変異株による感染が増えていることもあり、前年と比べても新型コロナウイルスへの警戒感が強まってきていることから、飲食関連を中心に求人情数の伸びが再び鈍化しつつある。
		求人情報誌製作会社(編集者)	・新型コロナウイルス感染者数の増加傾向が当面続くと見込まれる。ただし、今後のワクチンの接種状況と感染者数の動向によっては劇的に状況が改善することも考えられる。インバウンドへの期待はまだ先になるが、国内の観光需要が回復すれば、人手不足が再燃するのは必至である。企業はそのタイミングを見極めている。
		求人情報誌製作会社(編集者)	・ワクチン以外の抜本的な改善方法が見当たらないなか、ワクチンの接種時期が遅れていることから、景気が上向く要因はない。そのため、今後の景気は引き続き下向きで推移する。
		求人情報誌製作会社(編集者)	・4都府県で緊急事態宣言が発出されたことで、ゴールデンウィークの首都圏、関西圏からの観光客、帰省客が見込めないことになった。また、札幌市での感染拡大を受け、当地では今までよりも一段厳しい会食ルールやゴールデンウィークの行動指針を定めた企業もみられる。このため、巣籠り需要が拡大する一方で、観光、飲食、アミューズメントなどの需要が減退することが見込まれる。
		職業安定所(職員)	・今後の新型コロナウイルスの感染状況について、ワクチンの接種など、一転して改善方向に向かうような要素がないわけではないが、この先3か月程度で好転することは期待できない。これから夏に掛けて、ある程度人の動きが出てくるようにならない限り、景気の回復は見込めない。
		職業安定所(職員)	・当地における新規求人数は前年から9.0%の増加となっているが、新規求職者も前年から15.3%増加しており、当面は現在の水準で推移することになる。一方、新型コロナウイルス感染拡大の影響で需要が低迷する一部の業種においては不安定な動きが継続しており、なお予断を許さない状況にある。
		職業安定所(職員)	・管内における新型コロナウイルス感染者は多くないが、雇用調整助成金の相談が増えてきていることから、今後も影響が続くことが見込まれる。
		学校[大学](就職担当)	・札幌市や北海道の新型コロナウイルス感染対策が手ぬるいため、今後も企業活動への影響は避けられない。現在のような景気の悪い状況は少なくとも夏まで続くことになる。
		*	*
	x	*	*

2. 東北(地域別調査機関:公益財団法人東北活性化研究センター)

(-:回答が存在しない、*:主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (東北)		*	*
		百貨店(経営者)	・新型コロナウイルスの感染者数次第だが、旅行にも出られない状況で消費者のストレスもたまっていることから、近場での時間消費で、ショッピングを楽しむ機会も少しずつ増えていくのではと期待している。
		スーパー(経営者)	・ワクチン接種が予定どおり進めば、東京オリンピックの影響もあり、人の移動が増加し、購買活動もコロナ禍以前に少しずつ戻るとみている。
		コンビニ(経営者)	・例年であれば最盛期だが、今年は新型コロナウイルスに左右されるので予想ができない。良くなるだろうという楽観視はできない。
		コンビニ(経営者) コンビニ(エリア担当)	・夏に向かって人の動きが良くなることを期待したい。 ・ワクチン接種が進んでくれば人の動きは良くなっていくと予測できるが、全国的に接種が遅れていることもあり、感染者数の増加により今以上に悪くなる可能性も考えられる。特に繁華街、観光地、夜間の売上が激減している状態である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（店長）	・東日本大震災発生から10年ということで多くの人々が当県に入り、その後新型コロナウイルスの感染が拡大したが、まん延防止等重点措置により大分抑えられてきたので、当市は徐々に良くなっていくとみている。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス感染の収束のみえない状況下で、自治体のプレミアム付商品券が発売されるため、売上につながることを期待している。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスワクチン接種が行われて経済活動が戻るとみている。
		家電量販店（従業員）	・大型連休を控え、客の購買行動は上向していく傾向にあるとみている。その過程で景気も上昇していくと考える。
		住関連専門店（経営者）	・3か月くらい先だと、高齢者のワクチン接種も終わっているとみられるので経済活動が活発化する。また、お盆も近くなるので、売上向上を見込んでいる。
		その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	・ワクチンの接種範囲も広がるだろうし、今よりは大幅落ち着くと予想している。東京オリンピックも開催されるので弾みがつけばと考えている。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、現在が最下限ということで、今後、ワクチン供給や様々な対策の効果が出てくれば反動で景気が上向きになっていくことを期待したい。
		観光型旅館（経営者）	・ワクチン接種が進み少し落ち着きを取り戻せば、各種支援策も打てるようになり、今よりは良くなるのではないかと。
		旅行代理店（従業員）	・東北旅行の最大マーケットである当県において、新型コロナウイルス感染者数も減少傾向が続いている。また、ワクチン接種の拡大によって客の心理的不安が段階的に解消されていく。さらに、地域観光支援事業等、観光支援策も実施され、夏が近づくとつれて外出気運も醸成されることから、回復基調にあると推察される。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスが終息に向かうことが前提にはなるが、新しい生活様式が定着し、自宅時間を楽しむための条件としてWi-Fi環境が必須となっている。また、GIGAスクール構想によって小中学生に配布されたパソコンの自宅利用者も増えてくるため、インターネット加入者は増加することが予想される。
		テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルスの感染も夏の時期は収まるのではないかと。収まった途端、出掛けたい人が多いため、来館にも期待ができる。
		商店街（代表者）	・地域によって大きく状況が違うとは思いますが、イベント、飲食店等の対応が定まってきて、低調ではあるが景気感は安定するとみている。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染の収束が見通せない。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染が収束しない限り、景気の悪化が繰り返されると予想する。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・コロナ禍で来客数が徐々に減少している。しかし、常に変わらず買物に来ている客もおり、それらの客に買い控えなどはみられず、その状態が変わる気配はない。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・ワクチン接種に期待したいが、数か月で状況が好転することは到底考えられない。飲食店への支援はあってもその先の取引先業者には支援が全くない現状では、会社を存続させることすら厳しい。もっと裾野を広げた支援が必要である。
		一般小売店〔寝具〕（経営者）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、売上の低下はますます進む。
		百貨店（売場主任）	・消費マインドは一進一退を繰り返しており、今年1年は消費が完全に回復することは難しいとみている。
		百貨店（営業担当）	・来店頻度の減少など購買傾向は現在も変化はないが、新型コロナウイルスのワクチン接種が今よりは進み、外出へのハードルが下がり動きが出てくることで、景気への上向きな影響が出てくるのが想定される。
		百貨店（買付担当）	・県内でも新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向で、外出に慎重になってきている。感染者数やワクチン接種の状況に左右されることは間違いない。
		スーパー（店長）	・来客数は相変わらず減少傾向にある。加えて、節約志向が強くなってきているので、今後もこの状況は続くともみている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（企画担当）	・コロナ禍で内食需要が高まってきたのが1年前で、今もまだコロナ禍は続いており、食品小売業としては高水準で推移している。
		コンビニ（経営者）	・来客数が減少しているが、買上点数は上昇し、客単価も堅調に推移しているため、景気が後退しているわけではないと判断している。人の動き次第である。日中の営業数値は戻っていても、夜間土日の人の動きが悪い状況が続いていくとみられる。
		コンビニ（経営者）	・現在横ばいくらいにはなっているが、新型コロナウイルス変異株の感染状況が横ばいになるか悪くなるかの分岐点にきている。あとはワクチン次第である。
		コンビニ（経営者）	・連日の新型コロナウイルス変異株の報道をみていると、ますます経営が厳しくなるのかと不安になってくる。
		コンビニ（経営者）	・当地における新型コロナウイルス感染者数は増加傾向にある。ワクチン接種が進まなければ、現状のまま推移すると推測される。
		コンビニ（エリア担当）	・緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の延長により、外出を控える客が多く、週末の来客数改善が見込めない。また、各種イベントの中止も売上を下げている原因である。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルス感染の収束次第である。環境に変化がない限り、景気が上向くことはない。
		衣料品専門店（経営者）	・観光客が皆無で土産品の売上がほぼゼロの状態である。今後も売上が見込めない。
		衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大が一番大きい。前年は4～5月は全く動かず大苦戦した。5月末～6月に掛けては少し落ち着き、経済も持ち直してきたが、またお盆に向かって経済が落ち込んだ。前年は6月だけが少し良かった。今年は前年6月のような一服するところをもっと先になってくるのではないかと予測しているため、厳しい状況が続くとみている。
		衣料品専門店（店長）	・ワクチン接種者が増え、新型コロナウイルス感染者が低い水準で推移するようになり、東京オリンピック開催など明るい話題が続けば、買物をする方が増えてくるとみられるが、現状では先行きが不透明である。
		衣料品専門店（総務担当）	・新型コロナウイルス感染の収束がみえないなかで、景気が改善される見通しが立たない。
		乗用車販売店（従業員）	・新車製造の遅れから納期に影響が出てきており、販売に結び付かないケースが多々出てきている。
		乗用車販売店（従業員）	・市場環境が変わり自粛する客が増えれば影響が出る可能性はある。しかし、前年に他店で時短営業等自粛をした時期も当社は変わらなかった。
		乗用車販売店（従業員）	・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の対象地域ではないのでそれなりの集客は見込めるが、爆発的な集客は見込めない。現状維持がしばらく続くともみられる。
		乗用車販売店（店長）	・県内でまん延防止等重点措置の期間が延長された。終了後にも影響があるとみられ、状況は引き続き芳しくない。
		住関連専門店（経営者）	・コロナ禍において営業活動が制限されているため、なかなか受注量が伸びず、販売量が減少している状況である。
		住関連専門店（経営者）	・景気が非常に悪くなっており、大変な状況が続くとみている。
		その他専門店 [食品]（経営者）	・ワクチン接種の進み具合にもよるが全く期待できない。何かしらの目に見える打開策が打ち出されなければ、上向きにはならない。悪い状態は変わらない。
		その他専門店 [ガソリンスタンド]（営業担当）	・東京オリンピックやワクチン接種等、今後の動向について、先を見通せない状況にある。
		その他専門店 [ガソリンスタンド]（営業担当）	・気候が良くなれば暖房用燃料の需要も少なくなってくるので、例年どおりの売上推移を見込んでいる。
		高級レストラン（経営者）	・ワクチン等が行き渡っていけば少し良くなるとみている。
		一般レストラン（経営者）	・今月より悪くなるということは、完全にクローズするという以外考えられないので、厳しい状況が続くとみている。もう体力勝負になってきており切迫感がある。1日も早く回復することを望んでいる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		観光型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルス感染症の動向次第である。
		観光型旅館（スタッフ）	・4月末に発出された3度目の緊急事態宣言に対しての動きを見ると、発出前と比べても変化がないことから、よほどの締め付けがあれば別だが、それが無い限り人々の動きは変わらないとみられる。よって景気の変化はないとみる。
		旅行代理店（従業員）	・業界ごとに明暗が分かれているが、旅行業界だけで見れば非常に厳しい状況が続いている。今後の見通しとしても厳しい状況は何ら変わらない。新型コロナウイルス次第である。
		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況が仮に落ち着いたとしても、旅行業界的には県外移動の動きが出てこないことには不術がない。
		タクシー運転手	・3か月先は一般高齢者のワクチン接種が終了しているかしていないかの状況とみられ、現在の景気と変わらないと判断する。
		観光名所（職員）	・国や地域独自の緊急事態宣言による客の減少もあるが、自粛ムードが漂っており、緊急事態宣言があってもなくても活動が自粛しているという感じを受ける。このまま宣言が解除されたとしても戻るということはなく、現状のまま推移していくとみている。
		観光名所（職員）	・ワクチン接種は高齢者から徐々に進んでいるが、変異株の出現で感染者数が増えている状況を見ると、まだまだ新型コロナウイルスの影響は続くともみている。重傷者、死者が増えることでレジャー関連は避けようという心理が働いてしまうのではないかとみられる。
		遊園地（経営者）	・現在のところ新型コロナウイルス感染者数は落ち着いているが、変異株やワクチン接種の動向で顧客心理が左右されるため、先行きは不透明である。
		競艇場（職員）	・新型コロナウイルスの影響は続くともみている。感染者が拡大しているなかで、来場を促進するのは難しい。
		美容室（経営者）	・コロナ禍にあり、客も来店を控えているようである。
		設計事務所（経営者）	・中長期的な手持ちパイの減少はあるものの、現時点においては、事業計画のとおり淡々と進んでいる。
		住宅販売会社（経営者）	・近日新住宅展示場がオープンする。それに伴う新たな集客により、受注拡大の予定である。
		その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・コロナ禍が続く中で余計な出費は控えられる。巣籠り生活に適した商材やリフォーム工事は増えることが予想される。
		その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	・県内の人々の動きは少なくなっているが、住宅購入を検討している客は事前予約などを活用して密になる状況も避けることもできるので、減少傾向にある現段階と大きな変化はないと考察している。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスワクチン接種の進捗状況が良くないなか、先行きはまだまだ不透明であり、景気回復には時間を要する。
		一般小売店〔書籍〕（経営者）	・例年に見られる新学期需要などの動きが厳しさを表現しているが、これが実体的には巣籠り状態とオーバーラップしているのではないかとみている。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が進んでも、外出の自粛が進んでも、いずれにしても業績は悪化しそうだ。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況に左右されることは間違いないが、決して明るい見通しを予測できる環境下ではない。
		スーパー（店長）	・余りにも前年の売上が良かったせいで、これからの前年比100%を達成するのは大変厳しい状況である。
		スーパー（営業担当）	・ゴールデンウィークを控え、人の動きは前年より増加するとみているが、行楽観光等で食品を含む行楽用品を購入しての人の動きは考えにくく、季節商材中心に伸び悩むと予測している。一方、巣籠り需要やパーベキュー等の商材は伸長を予測するが、全体的には厳しいとみている。
		スーパー（営業担当）	・前年の特需反動は今後も継続する。また、緊急事態宣言から帰省も減少傾向になることから、期待していた景気回復には至らないのではないかと考える。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスワクチンの接種が始まったが、先行き不安が先行しているため、売上高は安定しないと予測する。
		衣料品専門店（店長）	・コロナ禍において景況感が悪化している。外出自粛が継続されることで、ビジネスウェア需要は回復してこない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		家電量販店（店長）	・前年は特別定額給付金での需要があったが、今年はそういった特別な需要はないので、前年よりは売上が下がるのではないかとみている。家電製品は買換え需要があるが、新しいジャンルの商品が生まれていないので、先行きも楽観視できない。
		自動車備品販売店（経営者）	・緊急事態宣言によりゴールデンウィーク中の収入が大幅に減る企業が多く、今後の経済活動にも大幅に影響が出る。
		その他専門店〔靴〕（従業員）	・県内でクラスターが頻発しており、予断を許さない状況が続いている。
		高級レストラン（スタッフ）	・緊急事態宣言、まん延防止等重点措置などで、自分たちはもちろん、全ての取引業者でも業績が悪くなっている。今後こういった政策は続き、さらには、新たな変異株が出てくることも予想される。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの終息が不透明なため、ゴールデンウィーク需要に代替マーケットがなく、観光業の打撃は大きくなるとみている。GDPも伸び悩み、金融政策も一部の客に還元されて良くなるようにみえるが、全体的に先行き不透明である。ワクチン接種率が上がれば経済が上向きになると考える。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの変異株がまん延している。全国民へのワクチン接種にはまだまだ時間が掛かる。当面、景気は悪くなると見込んでいる。
		通信会社（営業担当）	・コロナ禍で好転する材料に乏しく、厳しい状況になると予想している。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染が収束する方向がみえないと厳しい。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・期待していたゴールデンウィークであるが、今よりもひどい状況になり、その後更に新型コロナウイルスの感染が拡大することも心配している。前年の同時期よりもはるかに悪い状況になるとみている。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染が拡大して、そのままずるずると2～3か月以上続くとみている。悪くなってくる。
	×	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・5月11日で緊急事態宣言が解除されるが、そのあと再びリバウンドし、新型コロナウイルス感染者数が大きく増加することも考えられるので、景気が良くなるどころか、更に悪くなってしまうというふうに考えている。
	×	スーパー（経営者）	・5月は、新型コロナウイルスの変異株の感染拡大が地方でも急速に広がり、地元の観光事業者、飲食店事業者、行事・イベント催事事業者、それに関わる事業者の経営は極めて深刻な状況になってくるとみている。ワクチン接種がもっと広範囲にわたり速やかに進まない、生活必需品の食料品の買物でさえも自粛が更に進むのではと危惧している。消費に関しては当面悪い状況が続くとみられる。
	×	スーパー（経営者）	・コロナ不況といわれるような状況に差し掛かり、第4波が更に拡大する恐れもある。マインドが内向きになっているため、なかなか消費に向かないと同時に、可処分所得も伸びていない。
	×	その他専門店〔酒〕（経営者）	・従来ただでさえ見通しが立たなかった状態で、今回のような無謀な要請を急にされた飲食店や納入業者の打撃は計りしれない。補償等の問題以前に3か月後飲食店が残れるかすら危うい。
	×	一般レストラン（経営者）	・夜の街の商売はまん延防止等重点措置が適用中なので、その解除状況とワクチンの進捗状況でこれからが決まると思う。
	×	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染が収まらない限り、人は出てこない。特に当店の客は外出自粛をきちんと守っている人がほとんどである。新型コロナウイルス感染が収束しない限り、良くならない。
	×	一般レストラン（経営者）	・景気の悪化が長期にわたり継続しているため、個人的な財源を少しでも手元に置いておきたいと思う人が多くなっているようである。それに慣れてしまうと新型コロナウイルスが終息した後でも、思い切った消費にはつながらなくなることが予想される。
	×	観光型ホテル（経営者）	・ワクチン等が市況に回らない限り、社会活動は自粛をせざるを得ない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	タクシー運転手	・まだワクチン接種のめどが立っておらず、人々の行動にゆとりがほとんどない状況である。ワクチン接種が早期に行き渡るように望んでいる。
企業 動向 関連 (東北)		-	-
		食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症防止対策を採りながら行動する人が確実に増えているようである。特に、コンサート等のイベントがある日は駅周辺が人であふれることもあり、ワクチン接種が進めば、今以上に県をまたぐ移動も増えてくるとみている。
		金属製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が予想よりも長く続いているため、回復に若干ブレーキが掛かっている印象を受けるが、現在の回復基調は変わらない。
		建設業（企画担当）	・現在、景気を大きく動かしている要因は新型コロナウイルスだが、その像が段々と見えてきたことに伴い、対策が採れ始めてきている。
		広告代理店（経営者）	・無観客になったとしても、東京オリンピックの開催で多少経済が動くことに期待する。
		公認会計士	・希望的観測であるが、2～3か月先には新型コロナウイルスワクチンの接種が進み、感染状況も落ち着いてくるとみている。飲食、小売、サービス業などの営業制限が解かれれば、現状よりは景気回復が進む。
		その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	・現状のコロナ禍では良い状況になるとは思わないが、当県の場合、非常に良い方向に向かっているため、当社においても積極的に販売に結び付け、利益に結び付く方向で努力をしている状況である。
		農林水産業（従業者）	・今年は果樹全般の開花が今までになく早かったため、収穫が早まり、収入増加に期待が持てる。
		食料品製造業（経営者）	・県内での新型コロナウイルス感染者数は減ってきているが首都圏や大阪の感染者数をみていると先が見えない。土産業界は人が動かないと厳しい。
		食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響がまだまだ続き、悪い状況に変化はない。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・地方の新型コロナウイルスの感染拡大も日増しに悪化傾向にある。終息に向かうどころか、これからの季節を考えれば、人の往来はより活発になることが予想され、将来の景気はむしろ悪化するのではないかと。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・現在の半導体価格の安定は今後も続くと考えられる。従来は徐々に下がり、それを新製品によりカバーしていたが、新製品開発はこれまでどおりであり、旧製品価格は安定しているため、業績は好調をキープできるとみている。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスの終息の見通しが立たない。
		輸送業（経営者）	・今後の景気動向は、結局のところ新型コロナウイルスの感染状況次第であると言わざるを得ない。東京オリンピック関連の設備投資は既に終わっており、東京オリンピックが開催されたとしても、観客制限が掛かったりで余り期待できない。やはり、新型コロナウイルス感染が収束し、消費が伸びていくのを期待するしかない。
		輸送業（従業員）	・当面はまん延防止等重点措置や緊急事態宣言の発出を繰り返すことが予想される。
		通信業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が消え去ることを待ちながら、客のつなぎ止めに奔走するしかない。
	金融業（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収まるまでは、厳しい状況が続く見込みである。	
	金融業（広報担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進捗するまでは人の動きも限定的と考えざるを得ない。インバウンド需要も当面見込めないなか、開催予定のねぶた祭関連の経済効果も見込みづらい。	
	広告業協会（役員）	・東京オリンピック・パラリンピックが開催の方向で進み、世論が後押しする状況になれば、販促活動も活発になり、景気上昇の起爆剤となり得る。そのためには、ワクチン接種が順調に進むことが重要である。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		経営コンサルタント	・新型コロナウイルスに対する多数の自粛派と少数の非自粛派がそれぞれの生活を継続するものと推察する。新型コロナウイルス対策を巡る国、自治体の政策効果はほとんど影響しないレベルである。
		司法書士	・客となる住宅購入者数は底堅く一定の需要が望める。
		その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	・今後の2～3か月では新型コロナウイルスの感染拡大に対する抜本的な解決は見込めない。これまでどおりアクセルとブレーキを交互に踏み分ける政策が継続するとみている。
		その他企業〔企画業〕（経営者）	・旅館組合としてはゴールデンウィーク明けへの期待は余りない。新型コロナウイルス感染の収束を願うばかりである。
		その他企業〔協同組合〕（職員）	・見積案件等は多少増加しているが、短納期のため納期が重なりあって思うようには売上が伸びない。また、同業他社との単価競争が激しく、利益に結び付いていない。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・春から夏に掛けてのイベント中止が印刷物の減少につながる。
		建設業（従業員）	・年度をまたいだ出件が一段落する時期であり、コロナ禍による設計遅延が解消されない状態が続くと、工事出件が滞り景気が悪化する可能性がある。
		通信業（営業担当）	・2か月先の受注量が前月比で減少している。
		広告代理店（経営者）	・今後の感染拡大によっては更なる受注減が見込まれる。
		コピーサービス業（従業員）	・新型コロナウイルス感染が緩やかに収束し、経済も徐々に回復していくと思われていた矢先、非常に厳しい状況に変わった。先が少し見えにくくなっており、明るい材料も見つけられず、この先も良くなることは考えられない。
	×	農林水産業（従業者）	・新型コロナウイルスの影響で米価が更に下落すると予想される。
	×	窯業・土石製品製造業（役員）	・新型コロナウイルスの感染の拡大により、緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の適用がなされており、地域経済全体への影響が大きくなっている。
雇用 関連 (東北)		人材派遣会社（社員）	・新規需要の多くは新卒の採用抑制を人材派遣で補っているという背景がある。また、マスク製造等の地元製造大手企業からの大口受注は製造派遣の関連会社で取り扱っており毎月実績を積上げている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスワクチンの接種が大幅に遅れているが、政府の言うとおり7月までには高齢者にワクチンが行き渡るとみている。接種がある程度進んだ段階で、これまで我慢していた消費が一気に拡大するのではないかと予想している。
		人材派遣会社（社員）	・中小企業が抱える組織課題は新型コロナウイルス感染症の影響があったとしても変わらず残っており、コロナ禍でも事業継続させる具体的なイメージが湧いていることから、先を見据えた攻めの採用活動を行っていかうと考える企業が増えている。
		人材派遣会社（社員）	・ワクチンの普及による新型コロナウイルスの終息を期待する。
		アウトソーシング企業（社員）	・形態を変えてはいるものの、必要な会議などは開催されるようになってきている。
		人材派遣会社（社員）	・飲食店、小売、旅行業はワクチン接種が行き渡って正常な生活が始まるまでは状況が好転しないとみている。求人についても、新しい案件が出てこない状況は変わらないことから、今と変わらない状況が続くとみている。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響で特定業種にしか動きがない。全体的な景気が上向くまではまだ時間が掛かる。
		人材派遣会社（社員）	・ワクチン接種のスピードに左右される要素が多分にあるので、県内のワクチン接種計画や接種の進捗により景気も左右される。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・大型連休後の新型コロナウイルスの感染状況に左右される部分が多い。
		職業安定所（職員）	・新規求人数、新規求職者数共に増加している。新型コロナウイルス感染症のワクチン接種への期待感が一因とみられるが、新型コロナウイルス感染の再拡大の動きもあり、ワクチン接種がある程度進むまでは一進一退が続くのではないかとみている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（職員）	・飲食サービス業の時短営業の長期化が続いているが、5G関連の製造業などでは人手不足となっている事業所もあり、スムーズな労働移動が行われれば失業状態になる人はそう多くなるとみられる。
		民間職業紹介機関（職員）	・新型コロナウイルス感染症や半導体不足等、低迷要因はしばらく変わらない。
		職業安定所（職員）	・大型建設工事に伴い、作業員の宿舎や食事の需要で新型コロナウイルスの影響が最小限に抑えられていた宿泊業や飲食業が、工事終了が近いことで先行きが不透明になっている。
		職業安定所（職員）	・新規求人数及び有効求人数を前年度と前々年度で比較すると、新規求人数で約7千人、有効求人数で約2万人減少しており、減少傾向は今後も続くともみている。
		学校〔専門学校〕	・新型コロナウイルスの影響で、今後経済の冷え込みが懸念される状況にある。
	×	人材派遣会社（社員）	・東京オリンピックの影響で更に悪化するとみている。このまま開催することで、景気の期待感が弱まると予想している。
	×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの感染の拡大が予想される。

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (北関東)		都市型ホテル（支配人）	・東京オリンピックに向けて、希望的観測も含め良くなる。新型コロナウイルスのワクチン接種は始まるが、現状のまま変異ウイルス感染者が増加するのかが等、今後どのようにっていくのかは依然として不透明である。
		百貨店（店長）	・現時点でも改善の兆しがみられる状況にあり、今後、新型コロナウイルスの感染状況が低下傾向に転じれば、景気自体は良くなると思う。
		コンビニ（店長）	・今月が悪過ぎたので、やや良くなる。
		コンビニ（店長）	・気温も上がって暖かくなってくるので、客は増える。
		家電量販店（店長）	・3か月予報により、夏物素材の売上が伸びそうである。
		通信会社（営業担当）	・緊急事態宣言による休業や人流抑制から、現状では来客数減少がみられる。3か月後に宣言が解除されていけば回復は見込める。
		ゴルフ場（総務担当）	・新型コロナウイルス禍で、旅行に行きにくくなっており、その分、ゴルフ場に客が流れてきているようである。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・ゴールデンウィークもほとんど駄目だろう。新型コロナウイルスのワクチンがほぼ全員に行き渡るようになれば、皆安心して外に出られる状態になるだろうが、それでも平常に戻るだけである。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・これ以上悪い状況はないものの、良くなる材料もないので、変わらない。当店は北関東の観光地にあるため、ゴールデンウィーク直前の、東京都への緊急事態宣言発出で、沈痛な雰囲気街全体を覆っている。また、新型コロナウイルスの変異ウイルスの流行やワクチン接種の遅延、東京オリンピック等、先が見通せないため、前月より一層重苦しい雰囲気が感じられる。
		一般小売店〔青果〕（店長）	・新型コロナウイルスの状況次第、ただそれだけである。
		百貨店（営業担当）	・当県は対象外であるが、4都府県に緊急事態宣言が再発出されたことにより、自粛ムードが強まることが予想される。景況回復には時間を要するものと思われる。
		百貨店（営業担当）	・4都府県に緊急事態宣言が再発出され、当県でも緊張が高まっている。食品を中心に生活必需品の購入が目立ち、フロア内の来客数から衣料品等への関心の低さが感じられる。
		スーパー（商品部担当）	・現状より良くなる要因がなく、変わらない。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスが収束してイベント等が増えれば良くなるが、感染拡大の第4波が収まらず悪化すればイベント等は中止され悪くなるので、どちらとも言えない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（経営者）	・Withコロナで仕事もできるようになったが、新型コロナウイルス変異株の増加で、不安がまた増えてきている。景気の落ち込みが心配されるものの、ワクチン接種効果も期待できるので、これより落ち込むことは少なくなるのではないかと。
		衣料品専門店（統括）	・新年度を迎え、本来なら「今年の祭りは」という声をたくさん聞く頃だが、今年は「今年は祭りがあるのか」という心配の声が周りから聞こえてくる。何とか祭りができるような状態になってくれればよいと思っている。特に、当店は祭礼関係の商売なので、心配である。
		家電量販店（店員）	・新型コロナウイルス禍が続いている限り、巣籠り需要は続くと思っている。消費できる業種が限られており、業態も大きく影響している。
		家電量販店（営業担当）	・前年は新型コロナウイルス禍で、販売実績は全体的に好調に推移していたため、各カテゴリーに影響がある。特に、調理家電、パソコン関連、消耗品、ゲーム機関連が前年比80%と苦戦している。今後、東京オリンピックの映像関連に期待したい。
		乗用車販売店（販売担当）	・変わらないと回答したが、良くなる要素が1つも無いという意味である。4月は下旬に入ってから悪くなっている。
		乗用車販売店（販売担当）	・全てを新型コロナウイルスのせいにするわけではないが、このウイルスが落ち着かない限り、観光地には観光客が来ない。観光客が戻らないことには、ホテル、ドライブイン関係は現状の悪いままであり、景気が上向かない。ワクチンが届いて、落ち着くまでは駄目だと思う。
		自動車備品販売店（経営者）	・ここ数か月間で、来客数や販売量は、かなり良いところまで戻ってきている。ここに来て、新型コロナウイルスの感染が再拡大して、心理的にマイナスに働いている。また、今後も新型コロナウイルスの影響で、売上は余り伸びないことが危惧される。
		住関連専門店（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まっているが、変異ウイルスが流行しているため、すぐには状況は変わらない。
		住関連専門店（仕入担当）	・新型コロナウイルス禍での生活が1年以上になり、感染拡大の波が一進一退となることにも慣れがみられる。個人消費の減退は継続し、その突破口はワクチン接種率の上昇しかない。それまでは、今の不透明な曖昧模糊とした状況が継続する。
		一般レストラン（経営者）	・劇的に新型コロナウイルスの感染が収まるか、ワクチン接種が進まない限り、いつまでたっても感染者数に左右され続ける。ただし、若い世代を中心にそれなりに動きはあるので、感染対策をしっかりとって客を受け入れたい。
		都市型ホテル（スタッフ）	・緊急事態宣言の再発出が決まり、宴会や会議の直近のキャンセルが増えている。レストランのランチ営業も、前月に比べ平均して1日当たり5人減となっている。宿泊も県内独自キャンペーンが一時中止となり、予約の増加が鈍くなっている。ゴールデンウィーク明けに緊急事態宣言が解除される保証もなく、見通しは暗い。
		都市型ホテル（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が止まらない。ワクチン接種が全体的に行き渡るまで、感染者数が減少することは余り考えられない。余り良いことではないが、3か月後もほぼ現状と変わらないと考えている。
		都市型ホテル（副支配人）	・新型コロナウイルスの感染者数が落ち着くまでは、今のよう状況が繰り返されて、売上や来客数等も不安定な状態がしばらく続くのではないかと。
		旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの終息時期が見えないので、旅行需要が回復するとは思えない。
		旅行代理店（所長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の拡大が、現段階では一番の特効薬だと思うが、今一つ順調に進むのかが見えてこない。せいぜい現状どおりかと考える。
		旅行代理店（従業員）	・現状のまま回復しない。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスワクチン接種で終息しない限り、戻らないと思う。
		タクシー（経営者）	・全体的に人の動きが良くないので、この先も良くないとみている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（総務担当）	・例年6～7月は、販売に山も谷もなく、東京オリンピックも影響しないため、変わらない。
		通信会社（局長）	・良くなる要素は見当たらない。
		設計事務所（所長）	・新型コロナウイルスの感染状況やワクチン接種の進捗状況を鑑みて、観光や飲食、サービス業の低迷は続きそうである。景気回復にはもう少し時間が掛かる。
		設計事務所（所長）	・3度目の緊急事態宣言が発出された地域もあり、新型コロナウイルスの感染拡大が予想されている。ワクチン接種が一通り終わるまでは、景気上昇は余りないのではないかと。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスワクチン接種の本格化に対する不透明感が拭えないので、当分の間、厳しい状況が続く。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・巣籠り状態で売れているところもあるみたいだが、地方に来れば来るほど、不景気の打撃はかなり大きくなっている。
		スーパー（総務担当）	・緊急事態宣言が発出され、人の流れが減るため、やや悪くなる。
		乗用車販売店（経営者）	・前月に引き続き、半導体不足により当地域の自動車メーカーは、国内外の拠点の一時的な生産停止や納期遅れを余儀なくされている。その上、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の再発出で、先行きが分からない。
		その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・この2～3日の新型コロナウイルス関連の報道が、相当ダメージを与えそうである。また、感染状況や問屋の在庫状況をみると、売っていきたい商材が少なくなっているのが現状である。客や仕入先メーカーの状況が回復してくるのを待つだけだが、シナリオが描きづらい。新型コロナウイルス対策のスピードアップがキーポイントになる。
		一般レストラン（経営者）	・来客数が激減する可能性があるため、非常に悪い状況になるのではないかと。
		一般レストラン（経営者）	・3度目の緊急事態宣言が発出されて、予測はできないものの良くなるはずはない、とだけは言える。
		スナック（経営者）	・店にカラオケ設備があるが、店側にも客側にもカラオケをすることに対する危機感がある。今はなるべく設備を使わないように営業しているが、やはり今までカラオケをメインにやってきているので、今後はもっと難しい状況になるのではないかと考えている。
		その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の進展や、東京オリンピック・パラリンピックの開催見通し等にもよるが、当面は感染者数の増加が重しとなり、やや悪くなる。特に、レストラン、通所型の介護サービス、研修受託施設等での食事提供数が大きく下振れし、戻るのは時間を要するとみている。
		通信会社（経営者）	・原油高、円安の影響が、じわじわと出てきている。今とはかく1日でも早く全国民に新型コロナウイルスのワクチン接種ができるよう全力を注ぐのが、景気回復の近道でないか。業績は通期で売上は2割ほど落ちているが、上期の原油安で、利益は落ちていない。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・新型コロナウイルスの変異株の感染拡大が当県でも増大傾向にあり、人々の動きが止められつつある。今後、車の運行も減るだろう。
		住宅販売会社（経営者）	・緊急事態宣言は長引きそうなので、状況が悪くなる要因が多い。
	×	コンビニ（経営者）	・夜の時間帯に客が来ないので困ったものである。
	×	衣料品専門店（販売担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が完了しない限り、恐らく今の状況がずっと続くだろう。そうなれば安心感を持って客が街に出てくるということがない。先行きについては、こういうふうにしたらきちんと安全な環境を確保できるとか、具体的な表現がもっと欲しい、というのが実感である。
	×	その他専門店〔燃料〕（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で、販売減少が続いているなか、感染拡大により業務用の使用量が大きく減少してきており、受注残も減少している。
	×	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・現状のままでは、回復要素が皆無である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	観光型ホテル（経営者）	・現在までの政府の対応で、新型コロナウイルスの感染拡大を早期に収束できるとは思えない。海外から流入してくるウイルスへの水際対策の失敗、国民や多くの企業に対する自粛要請施策の脆弱さ、医療体制不構築による国民の不安等、この新型コロナウイルス禍にもっと政府が責任を伴い、強くリーダーシップを取るべきである。
	×	都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルス感染拡大の第4波、変異ウイルス、度重なる飲食店への自粛要請等、客が戻ってくる要素が1つもない。
	×	タクシー（役員）	・国の無駄な政策のため、悪くなる。
	×	通信会社（経営者）	・日本全体もそうだが、地方に新型コロナウイルスのワクチンが回ってくるのは来年以降だと思ふ。それまでは下降の一途をたどるだろう。
	×	テーマパーク（職員）	・首都圏を中心とした外出自粛や県境越えの自粛等、観光業に直結する行動が抑止され、新型コロナウイルスワクチン等が拡充されなければ、一時的な来園者の増加はあっても、良くなる状況には、まだしばらくたどり着かない。
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスワクチンは、作るにしろ接種にしろ日本の潜在経済成長率の低さを見せつけられている。先行者優位の欧米に遅れて、日本に反撃の術はあるのか疑問である。
企業 動向 関連 (北関東)		-	-
		一般機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルス禍の影響で、1年以上止まっていた航空関連や鉄道関連の仕事が再開する予定である。また、自動車、建設機械、ロボット等の仕事も減産情報はない。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・取引先、競争相手の様子、受注量、販売量等、いずれも、この2か月は大分良くなってきている。
		化学工業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がないとは言えず、先が見えない不透明な状況は続くが、何とか現状を維持したい。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	・現状維持できている。
		金属製品製造業（経営者）	・将来のことはよく分からない。3～4月は仕事が忙しかったが、内容は急ぎの仕事である。5月がどうなるかは全然分からない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・知り合いの会社でも部材がなく、4月29日～5月9日まで大型連休を取るそうである。こうなると経済がどんどん回らなくなって、拳げ句の果てに消費者に物が届かなくなる可能性がある。非常に憂慮している。
		電気機械器具製造業（経営者）	・基本的には新型コロナウイルスの状況及びその推移によるので変わらない。
		その他製造業[消防用品]（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が、まだ残ると考える。
		建設業（開発担当）	・今期の公共工事は前年比14.6%増で、当社受注も前期比10%増である。これは、一昨年大雨による河川氾濫災害の復旧工事に起因しているため、喜ばしい増加ではなく、災害に遭われた方には申し訳ない気持ちである。建設業は長らくの不況業種だが、日本では自然災害が度々発生するので、大事な業種だと自負している。従業員の高齢化問題などいろいろあるが、使命感を持って頑張っていきたい。
		輸送業（営業担当）	・夏物家電、エアコン、扇風機等の物量も増える予定である。また、東京オリンピック需要もあり、大型テレビ、BDレコーダー等の高額商材の動きも増えそうである。しかし、現状の新型コロナウイルスの改善次第で、先行きの不透明なところもあり、若干心配である。
		司法書士	・周囲を見ていても、それほどは良くならないと思うので、現状のまま動いていくのではないかと。
		社会保険労務士	・新型コロナウイルスのワクチン接種は進んでいるだろうが、東京オリンピックの延期や中止等で、混乱してそうである。
		その他サービス業[情報サービス]（経営者）	・引き合い、商談件数、受注量、いずれも特段変化は見られない。
		金属製品製造業（経営者）	・5～6月の受注は非常に悪そうで、7月については不明である。
		建設業（総務担当）	・年度初めからの動きがすこぶる悪く、改善するとも思えない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収束する気がしない。
	×	不動産業（管理担当）	・当社で管理しているビルのテナントも、物件費削減のため退去が増えてきている。先行きが見通せず、飲食や宿泊施設の取引先を中心に、かなり疲弊している。今後の取引内容も削減検討依頼を受けているため、良い材料がない。
	×	経営コンサルタント	・ゴールデンウィーク間近に、3回目の緊急事態宣言が発出され、地域経済は甚だしく活力を失っていく。
雇用 関連 (北関東)		-	-
		人材派遣会社（経営者）	・新型コロナウイルス禍で、かなり行動に規制があるものの、やはり我慢しきれなくなって、ゴールデンウィークから大分、購買力が上がるのではないかと。また、行楽地への移動も増えていくと思われるので、全般的な個人消費は伸びていく。工場関係はストップしているため、梅雨前に向けての準備として、生産の検討等をして、やや良くなるとみている。
		人材派遣会社（管理担当）	・コンビニの麺類製造が増産計画のため、やや良くなる。
		学校〔専門学校〕（副校長）	・先日、動物（ペット）関連のイベントがあったが、大変なにぎわいであった。新型コロナウイルス疲れの反動もあり、上向きを感じる。
		人材派遣会社（社員）	・募集職種には偏りがある。IT系の依頼は安定しているが、事務系は既存社員の業務集約で対応するケースが増えてきており、派遣ニーズは退職者の補充が多く、新規増員は少ない。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスが雇用に与える影響を、より一層注視していく必要がある。
		人材派遣会社（経営者）	・3か月先は、良い話が入っていないので悪くなる。
		職業安定所（職員）	・4都府県への緊急事態宣言再発出等もあり、観光関連業種で業績の不安が出ており、特に、ゴールデンウィーク中の業績の影響が心配されている。
	×	*	*

4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (南関東)		都市型ホテル（スタッフ）	・東京オリンピックが無観客開催となれば話は別だが、開催されれば現状より稼働が上がるのは間違いない。
		旅行代理店（販売促進担当）	・飽くまで東京オリンピック、パラリンピックが開催されるという条件付だが、担当の旅行会社になっているため、準備を進めている。開催されれば当然仕事が発生するが、もし中止となった場合は、それもかなわない。また、開催する場合でも、無観客若しくは有料の人数制限等の可能性もあり、その点も含めて東京オリンピック次第で周囲の景気は変わってくる（東京都）。
		一般小売店〔生花〕（店員）	・4月は入学、入社シーズンだが、余り売行きが良くない。7月は東京盆があるので、仏花のほうはまだ売れるのではないかと。やってみないと分からないが、良くなることを期待している（東京都）。
		一般小売店〔茶〕（営業担当）	・予定どおり5月に緊急事態宣言が解除されるとしたら、今よりは売上が伸びるかもしれない。ましてや新茶のシーズンでもあるので、期待している（東京都）。
		百貨店（総務担当）	・3度目の緊急事態宣言発出により新型コロナウイルス感染拡大が抑止され、高齢者を中心としたワクチン接種が進むという前提ではあるが、感染対策が前に進んでいることを実感できれば消費意欲にプラスの影響を与える（東京都）。
		百貨店（広報担当）	・現時点で緊急事態宣言の解除や新型コロナウイルスのワクチン接種の見通しが立たないため、本格的な回復がいつになるかは不明である。ただし、今の状態は景気の底であるため、2～3か月後に今より悪化しているとは考えにくい（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種者が増え、一定レベルに感染を抑え込むことができれば、大きくは変わらないものの、やや良くなるのではないかと。今は営業そのものができていない状況なので、まずは営業が可能となれば、少しは良くなるが、当面は大きな向上は見込めない（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・この3～4月の動向から、新型コロナウイルスの収束又は一段落が見えれば、消費は活性化する。ワクチン接種実施の拡がり1つの大きな鍵となる（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・緊急事態宣言が再発出されていなければ、夏商戦として現状よりは上向くと想定している（東京都）。
		百貨店（財務担当）	・新型コロナウイルス感染者数が落ち着けば、やや景気が良くなると想定している（東京都）。
		コンビニ（経営者）	・夏場になるとソフトドリンク、アイスクリームなど冷たい物が売れるようになるので、若干良くなる。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響の出方次第である（東京都）。
		家電量販店（店長）	・東京オリンピックが開催されれば消費が増え、景気が上向く（東京都）。
		家電量販店（店員）	・東京オリンピック需要もあり、大型テレビの販売が期待できる。それと同時に、夏に向けて空調関係を中心に白物の動きも出てくる。新型コロナウイルス禍によりトレーニング機器や調理関係の商材も引き続き良い流れで推移すると見込んでいる。
		住関連専門店（営業担当）	・東京オリンピックや新型コロナウイルスワクチン接種の普及など、明るい材料で消費マインドが回復することを期待している（東京都）。
		その他専門店〔雑貨〕（営業担当）	・国内観光客やインバウンドをターゲットとしている当店は、東京オリンピック開催が追い風となって、来客数が回復していく（東京都）。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（団体役員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種に進展があれば良化してくると期待している（東京都）。
		都市型ホテル（スタッフ）	・このまま新型コロナウイルスワクチンの接種率が上がれば、感染拡大も多少抑え込むことができ、自粛緩和が進むことにより、客室稼働の上昇や昼を中心としたレストラン利用が促進される。感染者数が目に見えて減少すれば、移動制限も緩和されて販売量の改善につながり、売上回復を見込める。
		旅行代理店（従業員）	・緊急事態宣言が解除されることで回復が予想される。しかし、東京オリンピックによる出控え現象が起きると、停滞することも予想される（東京都）。
		旅行代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種等により不安が軽減されて、旅行需要が増えることを期待している（東京都）。
		タクシー運転手	・来月以降、1日当たり1万人規模で新型コロナウイルスのワクチン接種が可能となる会場が設置されるというニュースもあるので、何とか今よりは落ち着き、経済の動きも良くなる（東京都）。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルス禍がこのままずっと続くとは思わないが、ワクチンの接種状況によって変わる。ワクチン接種が進めば感染者数も減り、人の動きが少しずつ出てきて、徐々に通常どおりの景気に回復するのではないかと（東京都）。
		通信会社（経営者）	・皆お金を持っている。自粛疲れもあり、消費に向かうとみている（東京都）。
		通信会社（社員）	・再び緊急事態宣言が発出されたので、影響が出る。ただし、5月以降に計画されているイベント準備は進められているので、何でも止めてしまった前年とは様子が違つかもれない（東京都）。
		通信会社（社員）	・他キャリアへの移行がある程度落ち着くのではないかと（東京都）。
		ゴルフ場（経営者）	・さすがに新型コロナウイルスワクチンが普及すると思うので、やや良くなる。
		パチンコ店（経営者）	・新型コロナウイルス感染拡大第4波の局面だが、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の効果により収まっていく。ワクチン接種が医療従事者から高齢者へ届き始めれば人の動きも活発になっていく。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他サービス〔福祉輸送〕（経営者）	・4～6月の高齢者への新型コロナウイルスワクチン接種の普及によって、徐々にその効果が表れ、客足も良くなる（東京都）。
		一般小売店〔和菓子〕（経営者）	・月末になってまん延防止等重点措置が適用され、都内でも緊急事態宣言再発出のなか、これから新型コロナウイルスの感染状況がどうなるか、まだ見通しがつかない。
		一般小売店〔家電〕（経理担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば少しは良くなると思うが、仕事がなくなっている人も多く、先行きの景気が良くなるとは思えない。当方にも、ダブルワーク希望の応募者が増えている。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	・印章業で生計を立てている。はんこ不要論についての、大臣の発言は余りにも無責任だと感じている。どれが必要になってどれが必要かというすみ分けを明言すべきである。世間では、はんこは要らないという受取方をされているので、非常に迷惑している。
		一般小売店〔祭用品〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が終わり、日常が戻らないと、景気が良くならない。
		一般小売店〔傘〕（店長）	・外出が控えられ、店に足を運んでくれる客が増えない。
		一般小売店〔文具〕（販売企画担当）	・緊急事態宣言若しくはまん延防止等重点措置が発せられていても、来客数は余り変わらないのが現状である。文房具は生活必需品であり、また、このところ周囲に文具店が余りないこともあって、売上の増減はそれほどない。外商部の大口の案件等については相変わらずないものの、その分、官公庁の受注はまんべんなくあり、通信販売もある程度あるので、余り変わらない。
		百貨店（売場主任）	・緊急事態宣言が解除されてもしばらくは客の動きが鈍化する（東京都）。
		百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルスの収束どころか、厳しい状況が継続しているなかで、消費に対して慎重な動きも継続が予想される。
		百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルス収束の具体的な動きが見えない現状では、悪い状態はこれからも続き、変わらない。客の消費意識や行動は大きく変化しており、コロナ収束後も単純に元に戻ることはないとも感じている（東京都）。
		百貨店（営業担当）	・緊急事態宣言終了後、一旦消費は戻ると考えているが、新型コロナウイルスのワクチン接種予定が見えないなかでは、消費回復までは至らないとみている（東京都）。
		百貨店（営業担当）	・緊急事態宣言が解除されたとしても、情勢は大きく変わらない（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルス感染が収束し、通常どおりの経済活動が再開されない限り、景気の回復は見込めない（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・東京都に発出された緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルス感染者数を大きく減少させることができ、その後の感染者数増加が抑えられ、ワクチン接種が進むなどの状況改善がみられない限りは、大きく改善することはない。テレフォンオーダー、インターネット販売等の新規取組もしているが、効果は限定的である。
		百貨店（販売促進担当）	・先が見えない。東京オリンピックを開催するのであれば、新型コロナウイルスはまた拡大するだろう。その際にまた緊急事態宣言が再発出されるようならやり切れない思いである（東京都）。
		百貨店（店長）	・3度目の緊急事態宣言発出、県のまん延防止等重点措置等の有効性や、新型コロナウイルスワクチン接種の動向がまだ見えず、先行きが不透明なため、変わらない。
		百貨店（企画宣伝担当）	・新型コロナウイルスによる影響が不透明なため、予測できない。
		スーパー（販売担当）	・客の買い方を見ていると、広告初日の目玉商品、タイムサービスの時間帯、ポイント何倍の日などを、店舗を固定せずうまく買い回っている状況が多く見受けられる（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（経営者）	・今月は既に悪くなっているのに、2～3か月先も変わらない。今より悪くはないと思うが、先が読めない状況なので、新型コロナウイルスの感染状況によってはまた変わってくる。客の生活も平常に戻ったという感じで、それが今後もずっと続くのではないかと。
		スーパー（経営者）	・前年は緊急事態宣言の影響で売上増になったが、今回は売上減のままである。この傾向は続きそうである。
		スーパー（店長）	・25日から緊急事態宣言が再発出されたなかで、やはり巣籠り需要というか、出掛けずに自宅にいる客も相当数いる。新型コロナウイルスのワクチン接種の問題や、今後の感染者数がどうなるかによって大きく変わると思うが、今のところ3か月後も今と変わらないまま推移すると予測している（東京都）。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルス禍の状況により、客の購買行動に多少なりとも変化があると思われる。特に、飲食店の営業状況は小売店に影響がある。
		スーパー（店長）	・株価の上昇に反して、消費者には節約志向が依然として根付いており、新型コロナウイルスの影響も少なくないので、もうしばらくは同様の状態が続く（東京都）。
		スーパー（総務担当）	・今の客の様子や買物の仕方、お金の使い方を見ると、新型コロナウイルスが非常に大きく影響している。3度目の緊急事態宣言が発出された当初は、やはり買いだめ、必要以上に買う客が、前年ほどではないにしろいたことは事実である。客の不満やストレスが小爆発しているかのような状況だが、これが買物動向を大きく左右したり、購買意欲をおおるようなことはまだないようなので、新型コロナウイルスが一段落するまでは、このような状況が続く。
		スーパー（総務担当）	・格差が広がる。周囲では、まん延防止等重点措置の適用で飲食店の経営がひっ迫するという人と、協力金をもらった方がもうかるという人が同率である。街で外車や高級車をたくさん見かけるようになっている。お金を持っている人は持っている。
		スーパー（営業担当）	・緊急事態宣言の再発出によって、内食化傾向が更に強まり、特に食料品関係については堅調に推移していく（東京都）。
		コンビニ（経営者）	・緊急事態宣言中のため、近隣の施設が休業している。人流を抑えているため、週末は特に影響を受けており、来客数が減少している。
		コンビニ（エリア担当）	・ゴールデンウィーク期間は繁忙期であるが、緊急事態宣言が再発出されているため、例年並みの販売を期待できない。緊急事態宣言がどのくらいで解除されるかのめども立たないため、先行きは不透明である（東京都）。
		コンビニ（商品開発担当）	・来客数は少なくなるが、買上点数は上がることが期待される（東京都）。
		衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルス禍のなかで明るい兆しであるワクチンの普及が低調である。さらに、変異株の勢いにより、緊急事態宣言の延長がほぼ確定的な状況にあり、休業期間が長くなると推測している。全国に拡大して前年の4～5月と同様の事態になると、更なる悪化が見込まれる（東京都）。
		乗用車販売店（経営者）	・自動車の整備は順調に入っている。販売も、前月は余り芳しくなかったが、今月は順調である。来月も順調にいけば良いと思っているが、良かったり悪かったり、まだ波がある。
		乗用車販売店（営業担当）	・7月は夏休み前で例年どおり買い控えが発生する。しかし、緊急事態宣言が解除されれば、早い段階で買換え需要が前倒しになる可能性がある。
		乗用車販売店（販売担当）	・やはり新型コロナウイルスの影響が大きい。ワクチン接種が完了していない状況では、人と人との接触だとか、展示会、新車試乗会などはできないので、景気は良くなるらない。したがって、2～3か月後についても、全員にワクチンが行き渡らない限りは、今の状況が続く（東京都）。
		乗用車販売店（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響が少なからずある。客足が鈍化しない取組が必要である。
		その他専門店 [ドラッグストア]（経営者）	・新型コロナウイルスの感染がまた広がってきている。感染状況が落ち着かないと景気は良くなるのではないかと。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新型コロナウイルス禍収束の気配を感じられるまでは、低位のまま一進一退が継続する。
		高級レストラン（仕入担当）	・現在の新型コロナウイルスの感染状況では2～3か月先に収束するとは思えない。もう少し時間が掛かる（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大がそのまま続けば、恐らく3か月先もほとんど現状と変わらない。時短営業も続けていなくてはならないし、来客数が増えることはなかなかない。
		一般レストラン（経営者）	・時短要請も徹底していないので、新型コロナウイルスは長期戦である。営業面でも基礎体力が落ち、これからが不安である（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン普及など、感染状況次第で大分変わってくるような気がする。そのため、こればかりは少々読めない。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が続く。早くワクチン接種が進むことを願っている。PCR検査を大々的に実施してほしい。新型コロナウイルスの陽性者を全員隔離すればすぐに鎮静化する。このままの状況では、当社もいつ倒産するか分からない（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・政府の新型コロナウイルス感染対策が全く機能しておらず、読みが甘く、1年たっても状況が改善されていない。感染拡大防止のストーリーが描けておらず、対応が場当たりのため、結果的に中小零細企業の従業員が一番新型コロナウイルス対策に伴う景気に左右されている。今後はますます厳しい状況になる（東京都）。
		その他飲食〔給食・レストラン〕（役員）	・新型コロナウイルスワクチンの接種進展等、新型コロナウイルスの鎮静化による状況変化が起きない限り、好転することは考えにくい（東京都）。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染拡大が依然として続いているため、現状と変わらない動きになる。
		旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルス禍ゆえに全く仕事がない状況は変わらない。早く収束してくれることを願うのみである。
		旅行代理店（従業員）	・海外旅行や訪日旅行は今年1年も厳しい見通しである。新型コロナウイルスのワクチン接種者は入国時の14日間の自主隔離を緩和するなど、条件を緩和しないと海外渡航は現実的ではない。このままではリストラや倒産する旅行会社が増えていくので、そろそろ国にも動いてもらいたい（東京都）。
		旅行代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が待ち望まれているが、国民全体に行き渡るのは恐らく11～12月だと予想されており、秋の旅行シーズンには間に合いそうもない。
		タクシー（団体役員）	・新型コロナウイルス感染症が収束しない限り、景気が上向くことは考えられない。
		通信会社（経営者）	・緊急事態宣言の解除や新型コロナウイルスのワクチン接種拡大により、消費者の経済活動の活性化が期待できるが、一方で感染への警戒も消えないため、一定数のキャンセルや訪問拒否の発生が継続しており、ある意味落ち着いてしまっている（東京都）。
		通信会社（経営者）	・今後も現在の状況が続くそうなので、景気は変わらない（東京都）。
		通信会社（局長）	・新型コロナウイルスの影響で、都心部から郊外へ転居しているという情報があり、しばらくそのトレンドは変わらないとみている（東京都）。
		通信会社（営業担当）	・良くなると思える材料がない。
		通信会社（経営企画担当）	・今後の動きは、新型コロナウイルス感染者数や政府の対応により変化するため、見えない（東京都）。
		通信会社（営業担当）	・現在、非接触型営業を模索しているが、当面は対面営業に頼る形になると思うので、当社の景気は変わらない（東京都）。
		観光名所（職員）	・今後2～3か月後に関しても、この新型コロナウイルス禍のなかで、どういう影響があるか分からない。したがって、変わらないという回答になる（東京都）。
		その他レジャー施設〔総合〕（広報担当）	・本来であれば夏の繁忙期に向かうところだが、東京オリンピックの開催形態及び新型コロナウイルスの感染状況次第で、今より悪くなる可能性もある（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他サービス〔保険代理店〕（経営者）	・新型コロナウイルス禍ではあるが、客の様子や動向からも、平常時と比較して消費意識に案外変化がないように感じる。業種によって、はっきりと分かれている。
		その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・景気が良くなる雰囲気は全く感じられない。
		設計事務所（経営者）	・包括契約が主になっているので、個々の状況でフィーが変わっていくとは思えない。
		設計事務所（職員）	・停滞している民間の建築動向が更に悪化するような懸念材料はない（東京都）。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスが収束しない限り、現在の不況は続く。早くワクチンや治療薬が普及しないと、景気は戻らない。また、東京オリンピックが確実に開催されることが景気に大きく影響する。
		住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルス感染拡大防止のための3度目の緊急事態宣言発出、まん延防止等重点措置の適用に伴い、ゴールデンウィークの来場者数、商談数共に減少する。当然ながら販売量も比例して減少し、景気はしばらくやや悪い状況で変わらない。
		住宅販売会社（従業員）	・来場者数や資料請求数にそれほど大きな動きがない。
		住宅販売会社（従業員）	・土地の仕入状況にもよるが、うまく仕入れができれば良くなる。ただし、まだ先が読めないため、変化なしと回答している。販売についてはコンスタントに動きがある。仕入れと販売の両輪が順調にいけば、景気は上昇する。
		住宅販売会社（従業員）	・特に受注量に変化があったわけではないので、売上、利益も余り変わらない見通しである。
		その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（経営者）	・当社のような小さな業者の状況はほとんど変わっていない。しばらくはまだ続くと思っているが、早く良くなることを期待している。
		商店街（代表者）	・当店がある市内にもまん延防止等重点措置が適用され、客の動きが非常に悪くなると思うので、商売としては先行きの見通しが立たない状況で、心配である。売上もそれに伴って激減するのではないかと。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス変異株の予測に良いものが何もない。ワクチンも遅れ気味であり、東京オリンピックについても、とても不安定な感じが世相を支配している。緊急事態宣言がどこまで延長されるのか、東京や日本全国の感染状況と東京オリンピック開催可否との関係が不透明なまま進んでいることに、更なる景気悪化のリスクを感じる。東京オリンピックというビッグイベントに、何月までにこの状況であったら中止にする等、ある程度の判断基準を示す必要が、小売の現場からは感じられる（東京都）。
		一般小売店〔家電〕（経理担当）	・特殊な仕事はいつもあるわけではない。家電の販売工事などは、連休後は余り良いとは思えない。夏は暑くなりそうなので期待しているが、マスクをつけての工事などは、熱中症の心配もある。
		一般小売店〔米穀〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染症収束に向けた解決策が見当たらず、不安定な動きから、経済にも不安感が漂っているように感じる（東京都）。
		一般小売店〔文房具〕（経営者）	・緊急事態宣言が再発出され、会計伝票などの店舗向け業務用品の売上の落ち込みが大きい。ゴールデンウィークの人出も見込めず、来客数が減少することが考えられるため、この先2～3か月は厳しい状況が続く（東京都）。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルス感染対策がどうなるのが見えない。
		スーパー（仕入担当）	・新型コロナウイルスの収束が見えず、東京オリンピックの開催も危ぶまれており、消費を喚起する材料がない。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、緊急事態宣言が長引けば、当然5月の景気も更に悪くなっていく。もしワクチン接種によってある程度収まっていけば、状況は変わってくる。また、東京オリンピックが開催されれば、状況が変わる可能性もあるが、現状では小売店はかなり厳しい。
		衣料品専門店（経営者）	・また新型コロナウイルスの感染がまた拡大し、自粛が始まると厳しくなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの収束がまだ見えないなかでは、先行きがなかなか見通せない。夏のイベントもなくなり、それに関わる者としては2年連続で非常に厳しい状況が続くことになる。ワクチンが行き渡らない限り、厳しい状況が当分続く。
		衣料品専門店（統括）	・新型コロナウイルスの感染再拡大や、東京オリンピックでの入出の規制など、不透明な状態が続いている。
		家電量販店（経営企画担当）	・3度目の緊急事態宣言の効果がはっきり出て、新型コロナウイルスのワクチン接種によって明るさが戻ることに期待する。一方、ワクチン接種に時間を要する状況が続くと、また同じことを繰り返すのではないかという不安感が拭えない（東京都）。
		乗用車販売店（経営者）	・半導体不足の影響で、メーカーからの新車の出荷が少なくなり、納車が延期になっている。
		乗用車販売店（渉外担当）	・新型コロナウイルス感染拡大第4波の影響は大きいとみている。
		住関連専門店（統括）	・まだまだ新型コロナウイルス禍が続く。来客数、人の動きもまばらで、売上もそれに伴って減っていく。
		その他専門店〔貴金属〕（統括）	・悪いなりに安定して推移していたが、場当たりの受け取られる新型コロナウイルス感染対策の影響で、景気が良くなるという見通しは立ちにくい（東京都）。
		高級レストラン（経営者）	・当店は神奈川県にあるが、緊急事態宣言が発出されている東京都の隣駅である。自粛要請は5月11日までであるが、都の新型コロナウイルス感染状況の影響を受けやすい。11日で落ち着くとは思えない。
		高級レストラン（営業担当）	・今回の緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置への対応でブレーキを踏まざるを得ず、しばらく停滞感が続く（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・4月25日からの緊急事態宣言再発出により、酒を提供できなくなった途端に、これまで入っていた予約が全てキャンセルになっている。何となく前年よりは良くなっている状況であったのだが、東京オリンピックを控えて、政府もかなり厳しい対応をしてくると思うので、これからは少し厳しくなる（東京都）。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスは当分収まりそうもないし、また、変異ウイルスが身近に迫っているような感覚も、客の様子からうかがえる。前年の今頃に比べると、緊迫感が数倍増しているような気がする。この先がまだまだ心配である。
		タクシー運転手	・全く先が読めない。昼間に利用があるのは、病院の送り迎えと、若干の会社からのオーダーである。夜は18時頃からほとんど仕事が止まり、1時間に1回乗車でできれば良い。無線オーダーも少ないため、夜は駅待ちをしているが、駅もまた利用客が少ない。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響をこれほどともに受けるとは思っていなかった。売上もひどい状態である。スマートフォンでタクシーを呼べるアプリなどで良い点もあるのだが、とても以前の売上に戻すものではない。何しろ長距離の利用客が皆無になっている。新型コロナウイルスのワクチン接種が遅れているので、何とか早くワクチン接種を進めてもらい、マスクをしないで営業できる状況になることを望んでいる（東京都）。
		通信会社（営業担当）	・大きな改善策を見いだせないまま、前年の数字を大きく下回る状態で推移していく。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収まれば、今まで止まっていた人の流れが動き出すものの、現状ではこの数か月で回復するとは考えにくい。
		通信会社（管理担当）	・緊急事態宣言が再発出されたことで、客との商談の機会も減ることが想定される。また、個人向けの携帯電話販売は、来店客の減少により販売台数の減少が見込まれる（東京都）。
		通信会社（経理担当）	・新型コロナウイルス変異株の感染拡大で英国のようなロックダウンになるかどうか、様子を見ている。現状の出歩いている人の数や様子を見ると、今の感染対策で2～3か月後に感染者数が激減しているとは想定しにくい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（総務担当）	・再び緊急事態宣言が発出される状況になっており、訪問営業機会が一層縮小へ向かうことが危惧される（東京都）。
		その他レジャー施設 [ボウリング場]（支配人）	・緊急事態宣言の再発出、いまだに不透明な東京オリンピック開催の2点である（東京都）。
		美容室（経営者）	・早く新型コロナウイルスが収束してほしい。
		その他サービス[学習塾]（経営者）	・新しい生徒が入ってこないで、今のところ下降が続いている。新型コロナウイルスの影響もあって、新しい生徒が対面授業を敬遠する傾向がある。
		設計事務所（経営者）	・今、普通の住宅及び中程度の設計を模索してはいるが、なかなか客が動こうとしない。こういった状況なので動けないということかもしれない。大手の大きな物件は動いているが、我々が扱う小さな物件は余り動いていない。しかし、それではいけないということで、行政への営業展開を続けている。3月から少し上向いているような感じはするが、もっと良くなってほしい。
		設計事務所（経営者）	・民間案件が少ない分、官庁案件への応札が増加し、価格競争にならざるを得ない。
		設計事務所（所長）	・新型コロナウイルスの影響だけでなく、建設物価がなぜか高くなってきている。木材等の調達も難しい。いろいろと問題があり、これより良くなるとは感じられない（東京都）。
		設計事務所（所長）	・新型コロナウイルスの影響が非常に強く出ている。これからは新型コロナウイルスが収束しない限り仕事がない。
		その他住宅[住宅資材]（営業）	・新型コロナウイルス禍の前年と比較はできないが、前々年の建材販売量まで戻る見込みは小さい（東京都）。
	×	一般小売店[家電]（経営者）	・新型コロナウイルスの感染対策がどのようになっているかまるで見えない。ワクチンがどうのこうのとっているが、人の流れがだんだん少なくなってきており、仕事を辞めてしまう客も出てきている。とにかくワクチン等が全て済まないことには、話が進まないような気がする（東京都）。
	×	一般小売店[家具]（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況を見ると、景気が良くなる要素が1つも見当たらないので、これから相当悪くなっていく（東京都）。
	×	一般小売店[食料雑貨]（経営者）	・自粛要請により商売ができない。
	×	百貨店（予算担当）	・緊急事態宣言の再発出による影響が出てくる（東京都）。
	×	百貨店（経営企画担当）	・今回再発出された緊急事態宣言の影響で大きく左右されると思うが、一度落ち込んでしまうと、戻すにはしばらく時間が掛かる。東京オリンピックは開催のいかんにかかわらず、外国人観光客の誘致はほぼ見込めないため、しばらくは厳しい状況が続く（東京都）。
	×	百貨店（副店長）	・消費マインド自体は高まっていると思うが、4月25日から3回目の緊急事態宣言が発出され、先行きが見えない。また、新型コロナウイルス変異株の感染拡大、東京オリンピックの開催可否など不確定要素が大きく、楽観視できない（東京都）。
	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスが収束しない限り、厳しさが増すばかりである。近隣の大型店、スーパーに客が流れ、来客数減少が進む一方である。
	×	衣料品専門店（店長）	・繰り返し発出される緊急事態宣言のため、収入減、購買意欲の低下は避けられないとみている。
	×	衣料品専門店（営業担当）	・飲食店のみが対象の給付金にはあきれているが、雇用保険や給付金は全て利益になる。新型コロナウイルスで「コロナパブル」と言っている飲食店の経営者は、来年税金を払えるのだろうか。閉店する店がかなり増えると思われる。
	×	衣料品専門店（役員）	・当市に緊急事態宣言が再発出されるのも時間の問題である。また営業時間の短縮等、影響が出てくるだろう。
	×	その他専門店[ドラッグストア]（経営者）	・新型コロナウイルス禍でも競合店の出店は進んでいるので、ますます来客数が減ることが予想される。
	×	その他小売[ショッピングセンター]（統括）	・緊急事態宣言の繰り返しと、一向に先行きが見えないなかで、所得が減少し貯蓄も減る一方の世の中では、景気は改善しない（東京都）。
	×	その他小売[生鮮魚介卸売]（営業）	・緊急事態なら、東京オリンピックよりも他に政治がやらねばならないことがもっとあるのではないかと（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	一般レストラン（経営者）	・東京都に対しては緊急事態宣言で、神奈川はまん延防止等重点措置という訳の分からない状態である。5月11日までは酒を出すなどということなので、当店はもう夜に客を取る気は全くない。酒を提供せず、ランチのみの営業で数日間やり、5月11日まで休業しても、補償は全然手厚くないので、その先をどうやって生きていこうかというのが正直なところである。
	×	一般レストラン（経営者）	・緊急事態宣言は5月11日までだが、東京の新型コロナウイルス感染者数が大きく減ることは余り考えられないので、また期間が延びると思われる。アルコール提供禁止が解除されるのか分からないが、飲食店にとってはまだ暗い期間が続く（東京都）。
	×	一般レストラン（経営者）	・今回の緊急事態宣言とまん延防止等重点措置の適用が原因と考えると同時に、東京オリンピックに外国からの観客が来ないことで、それによる売上を期待していた業態及びそのために施設を新設したり途中で取りやめた業者の損害を想像すると、恐怖を覚えるほどである。そういったことの影響が、今後の日本経済に如実に表れてくるものとみている。
	×	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・お金を使う機会を制限されているので、収入減から支出減の流れは当然だと考える（東京都）。
	×	都市型ホテル（経営者）	・当市でも28日からまん延防止等重点措置が始まるので、今はそれ以降のキャンセルが出始めている。ゴールデンウィークということで期待していたが、全く当てが外れてしまっている。この先、新型コロナウイルス変異株の感染拡大等も懸念されているなか、東京オリンピック開催もどうなるのかという不安定要素が多々あり、相当長期化するのではないかとみている。このままではやはり立ち行かなくなるのではないかと非常に危惧している。一刻も早い政府の手厚い措置をお願いしたい。
	×	都市型ホテル（支配人）	・新型コロナウイルスの感染拡大防止対策による経済への影響が見通せない。
	×	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルス変異株の登場、感染拡大の影響により、決定案件の消滅が想定される。有効なワクチンの全国接種が完了するまで、旅行業の受難は続く。
	×	旅行代理店（従業員）	・まん延防止等重点措置の適用と、緊急事態宣言延長の兆しのため、申込みがない（東京都）。
	×	タクシー（経営者）	・3度目の緊急事態宣言による禁酒令のような酒の提供禁止に伴い、夜の仕事が激減する。タクシー業界は従前より厳しい状況が続いており、売上が3～5割近く減っている。飲食業のようにはっきりとした支援もなく、このままでは町からタクシーが消える日もそう遠くはない。
	×	ゴルフ場（従業員）	・企業の体力は簡単には戻らない。変異型の新型コロナウイルス感染防止は容易ではない。国の財政もどこまで持つのか。不安だらけである。
	×	競輪場（職員）	・ゴールデンウィークで、本来であれば売上が伸びるところだが、自粛ムードが続けば売上は自然と落ちる。
	×	その他サービス〔立体駐車場〕（経営者）	・悪いところに行きついて、もうこれ以上悪くなりようがないほど悪い。
企業 動向 関連 (南関東)		食料品製造業（経営者）	・とにかく今が非常に悪いので、それに比べれば緊急事態宣言も解除になるだろうし、良くなる（東京都）。
		その他サービス業〔警備〕（経営者）	・新規受注により売上が上がるので、良くなると見込んでいる。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（従業員）	・止まっていた案件が動き出し、人員が足りなくなってきた。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で、店頭に来客数は横ばい状態である。インターネットの方が少しある。個人の印鑑、ゴム印の需要は変わらないが、法人が少し上向きになっていると感じている。先日来店した客は飲食関係だったのだが、飲食はもう無理なので、別の会社を設立することにし、設立のための印鑑の注文であった。少し元気のある会社は飲食を諦めて別の方向に進もうというような動きが出てきているのを、現場で感じている（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金融業（従業員）	・前年4月の1度目の緊急事態宣言発出以降、製造業の業況は低迷しているが、そのような状況下でも売上を確保すべく、受注が減少する自動車関係から医療関係に重心を移すなどして工夫する事業者もみられる（東京都）。
		金融業（役員）	・当地域周辺では、現状では低下している収益性が改善される見込みである。特に、沿岸地区の不動産業においては、相変わらず都内からの客が多く好調である。ただし、仕入物件の減少等で更なる価格高騰の懸念がある。また、建材価格も高騰しているため、建築資材の確保にも注意を要する状況である。
		その他サービス業 [ディスプレイ]（経営者）	・新型コロナウイルスの収束次第ではあるが、新規案件に加え、従来の業務が戻ってくれば、当社の事業にとってはプラスに作用する（東京都）。
		その他サービス業 [ビルメンテナンス]（経営者）	・一部の元請で値上げ交渉が順調に進んでいるので、うまくいけば7月頃に行われる可能性がある（東京都）。
		食料品製造業（経営者）	・まだイベント、集会は難しそうなので、なかなか良くなるのではないかと。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・当社は工業部品から雑貨、ポスターなど広く扱っているが、一部の工業部品にしか仕事の話がない。全体的には非常に悪い。
		化学工業（従業員）	・原材料の値上げの話が多く、先行きが不透明で、予測できない。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスワクチンはまだ全て行き渡らないだろうし、3か月後もまだ本来の動きには戻らない。東京オリンピックも開催するのかもしれないのか分からない状態のため、景気は現状のまま変わらない。
		金属製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルス感染が国内や海外で更に広がるようなことになれば、急な後退もあると考えている。どうなっていくのか不安で、先行きは正直分からない。
		一般機械器具製造業（経営者）	・現状のやや悪い原因には、国内製造工場の火事や、北米における大寒波の影響による半導体の供給不足など、一時的な要因が絡んでいる。それらが改善すれば仕事量は増えるが、例年、ゴールデンウィーク後は仕事が落ち着くので、相殺して余り変化はないのではないかと。
		精密機械器具製造業（経営者）	・取引先から特に中国向けの需要が強いと伝えられているが、不安要素が多い。国内の半導体不足や、原油、希少金属類の10%以上のコストアップと、マイナス要因も強い。
		その他製造業 [鞆]（経営者）	・東京方面は、材料屋にしても、メーカーにしても、随分手薄になっており大変なようである。京都の得意先は大変努力してくれている。その代わりに、サンプル等いろいろ忙しいこともやっているが、何とかこたえている。
		その他製造業 [化粧品]（営業担当）	・新型コロナウイルス禍にもかかわらず、サロンの出店が好調である（東京都）。
		建設業（従業員）	・新型コロナウイルス禍で世の中の動きがとてつこみにくく、その影響がある。
		輸送業（経営者）	・景気が回復している実感がない（東京都）。
		輸送業（総務担当）	・荷主の国内出荷が低迷している。輸出货量も全くない。今後も現状が続くと予想している。
		通信業（広報担当）	・当面は一進一退ではあるが、徐々に良くなる見込みである（東京都）。
		社会保険労務士	・良くなる要因が見当たらない（東京都）。
		その他サービス業 [廃棄物処理]（経営者）	・取引先工場等の稼働率落ち込み傾向は変わらない。当社の受注量も変わらず、低空飛行が続く。
		その他サービス業 [情報サービス]（従業員）	・現在の状況が大きく変わる要素が新型コロナウイルス以外に見当たらない。
		出版・印刷・同関連産業（所長）	・イベントなど多数の人を集めることを主としている事業は全く先が見えない。
		化学工業（総務担当）	・市場における販売促進キャンペーンが激減して、ノベルティグッズ関連の受注が低迷している。東京オリンピック、パラリンピック需要に期待していたが、3度目の緊急事態宣言発出で回復は期待できなくなっている。インバウンド需要も全く見込めない状況が続いている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		プラスチック製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で受注減少が止まらない化粧品容器に加え、頼みの医療品容器も製品仕様切替え時期と重なり、売上が伸びない。
		金属製品製造業（経営者）	・半導体不足、新型コロナウイルス感染拡大の長期化などの懸念が続く。ワクチン接種の効果が出るのはまだかなり先になるのではないかと。
		金属製品製造業（経営者）	・連休が終わったので、新年度の仕事も動き出すと思うが、新型コロナウイルスの影響が、現状は動きが鈍い。
		建設業（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が改善しているとは考えにくく、受注量の減少が見込まれる。
		輸送業（経営者）	・東京オリンピック開催に伴う運行への行政の規制や、急配の増加などで更なる収入の減少が予想される一方、燃料価格等の経費は上昇を続けており、先行きが大変危惧される（東京都）。
		金融業（従業員）	・新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、心理的不安から経済が活性化することはあり得ないので、まずは感染拡大を食い止める策が重要である。このままずるずるいくのが最も望ましくない。
		金融業（支店長）	・3度目の緊急事態宣言が発出されたため、飲食業を始めとするサービス業は厳しくなることが予想される。休業補償など政府からの援助がなければ、資金繰りがうまくいかず破綻する企業が増えても不思議でない。
		金融業（総務担当）	・今後、新型コロナウイルスが収束に向かわないと、緊急事態宣言も解除のめどが立たない。東京オリンピック関連の企業も、開催中止になると売上や利益に打撃を受けて、景気減退となる。景気回復策での緊急事態宣言の効果が表れない限り、景気回復は難しい（東京都）。
		不動産業（経営者）	・当市でもやっと新型コロナウイルスワクチン接種の予約はがきが届いたが、いずれにせよ早急な収束を念ずるのみである（東京都）。
		不動産業（総務担当）	・オフィステナントの中には、テレワークの常態化によりオフィスの一部縮小や統合をしたいといった話も出ており、今後2～3か月先には具体化する見通しである。他にも、仲介会社がオフィス統合を狙ったテナント引き抜きのような動きを見せており、この先が非常に心配である（東京都）。
		広告代理店（従業員）	・東京オリンピック開催と、新型コロナウイルスのワクチン接種がある程度進まないと、イベント関連はまだ回復が見込めない。
		広告代理店（営業担当）	・3度目の緊急事態宣言発出と、東京オリンピック開催が続くので、人々の行動制限が続き、消費が落ちると予想される（東京都）。
		経営コンサルタント	・新型コロナウイルス感染問題は、人の動きを止められない政府や自治体の対策の弱さがあり、もはや拡大傾向は止められない。国内経済は片肺飛行のようなものである（東京都）。
		その他サービス業 [映像制作]（経営者）	・緊急事態宣言が再発出されたが、この期間で予定どおり終わるか分からない。期間中は仕事が止まるため、今後2～3か月に影響すると予想している（東京都）。
		その他サービス業 [ソフト開発]（経営者）	・新型コロナウイルスの影響は直接的にはないが、回り回って影響が出てくる（東京都）。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・同業他社の廃業があったり、協力会社の業務縮小があったりと、業界全体が悪くなっていくように感じる（東京都）。
	×	建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの収束がまだまだ見えないので、景気回復がいつになるか分からない。収束するまで景気は上向きにならない。
	×	建設業（経営者）	・新型コロナウイルスに関する報道が悪過ぎる。
	×	建設業（経営者）	・官庁関係も予算がなく扶助費に回っている。大手企業が小規模案件にも参加してきている。下請業者も見積案件がかなり減っているとのことである。
	×	経営コンサルタント	・新型コロナウイルスの感染状況が改善されず、見通しが立たないため、消費マインドは冷える。
	×	税理士	・新型コロナウイルス変異株のまん延で明るい材料は皆無である。ワクチン接種の進捗は諸外国より大きく遅れており、一般の接種が来年以降では、安心して経済活動などできない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
雇用 関連 (南関東)		人材派遣会社(営業担当)	・雇用が継続されていれば消費自体は下がらない(東京都)。
		人材派遣会社(社員)	・今後、徐々に業績が新型コロナウイルス前の水準に戻ると考えている企業が多い。
		人材派遣会社(社員)	・新型コロナウイルス関連の業務が継続的に発生しそうである。物流、ロジスティクス業界でも、ロジスティクスセンターのしゅん工が続いており、人材の発注が増えそうである。
		人材派遣会社(営業担当)	・製造業ではウィズコロナの対策が定着し始め、DXや脱炭素に向けた動きが出始めている。
		職業安定所(職員)	・求職者数の登録数及び紹介数が増加傾向にある。
		人材派遣会社(社員)	・新型コロナウイルスの影響が数か月で解消するとは思えない(東京都)。
		人材派遣会社(社員)	・新型コロナウイルスによる影響も継続していることから、業界別に派遣や中途採用の求人数に偏りが出ている状況は今後も続くものと予想される(東京都)。
		人材派遣会社(社員)	・支社でも特に地方での落ち込みが激しく、それに代わるオーダーがない。勢い、案件に手を出そうとするが、規模の小さな支社ではなかなか受注が難しい。じりじりと下がる収益を横目に、競合他社との激しい受注競争に疲弊している(東京都)。
		人材派遣会社(営業担当)	・採用を抑制する企業が多いため、依頼の回復は当面見込めない。
		求人情報誌制作会社(営業)	・現在、新型コロナウイルス感染者数は増加傾向にある。このような状態では景気が上向きになることはなく、良くも横ばい、感染者数によっては下がることも十分に考えられる。良くも悪くも感染者数に左右されてしまう状況にある。
		求人情報誌制作会社(広報担当)	・新型コロナウイルス禍であることに求職者も企業も慣れてきており、そのこと自体で採用が休止になることは余りなくなっている(東京都)。
		新聞社[求人広告](担当者)	・これ以上悪くなったら困る。そうならないことを望みたい。ぼちぼち予約をもらったりはしているが、3か月先は分からない。
		職業安定所(職員)	・有効求人数が3か月連続して僅かであるが増加し、前年比でも3か月連続して改善傾向にあるが、いずれも微増であり、大きな変化はみられない。
		職業安定所(職員)	・主要都市圏において緊急事態宣言の再発出やまん延防止等重点措置が適用されている状況下では、経済復活の見通しは厳しいと言わざるを得ず、先行き不透明感が強い。
		民間職業紹介機関(経営者)	・緊急事態宣言下の就職は、採用する側、される側双方共に苦しい展開が続く(東京都)。
		民間職業紹介機関(経営者)	・新型コロナウイルス収束の見通しが立たない。東京オリンピック開催にも疑問がある(東京都)。
		人材派遣会社(支店長)	・長引く新型コロナウイルスと緊急事態宣言の影響が、企業の業績や雇用に対してマイナスに働くことが懸念される(東京都)。
		人材派遣会社(経理担当)	・新卒、中途採用の入社、社内異動などにより、外部人材の需要が減少するタイミングであり、派遣稼働者数は若干減少傾向で推移する。求人件数も落ち着くため、全体的に現状より若干下降気味で推移するとみている(東京都)。
		民間職業紹介機関(経営者)	・新規事業あるいは営業、売上が伸び悩んでいる状況から、現時点では増員や新規採用の計画は立っていない(東京都)。
		学校[大学](就職担当)	・緊急事態宣言再発出に伴い経済が停滞する(東京都)。
	×	求人情報誌制作会社(所長)	・働き方も変わるし、デジタル化に伴い、人材系の仕事に関しては下降気味だと感じている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	職業安定所（職員）	・緊急事態宣言の再発出により、企業活動が大幅に抑制されることが想定される（東京都）。

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (甲信越)		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・仏壇処分や永代供養合葬墓の利用、低価格の葬儀等が天分、客に浸透してきた感じである。高齢者が増えて子供が少なくなっていくので、この流れは止まらない。
		商店街（代表者）	・新型コロナワクチン接種に期待をつなげるしかない。7月末までの3か月に、多くの人々が接種し、有効性が現れることに希望を持ちたい。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・これから夏に向かって、エアコン、冷蔵庫等の動きに期待できる。
		百貨店（店長）	・現状は新型コロナウイルスの影響が非常に厳しく出ている。全く予想できないが、ワクチン接種等や、東京オリンピックもあるのでは、多少は良くなるのではないかと。ただし、飽くまで前々年比80%の現在と比べての話であり、厳しい状況は変わらない。
		高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が順調に進めば、徐々に制限も解除されると思われるので、景気回復も見込める。
		スナック（経営者）	・5月から新型コロナウイルスのワクチン接種が始まるので、少しずつ良くなると思いたい。
		観光型旅館（経営者）	・よほどのことがない限り、今より悪くなることはないほど悪い状況が継続している。2～3か月先の予約はほぼないが、客もこの状況に慣れてきていて、新型コロナウイルス感染拡大の状況等を見ながら、1週間前くらいに予約する。そのため、実際にならないとはっきりしてこない。今回の感染拡大第4波のなかでも、わずかではあるものの、動く客もみられるので、今よりは良くなる。ただし、現状を超える感染拡大第5波があれば、状況は変わるかもしれない。
		都市型ホテル（支配人）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、終息後の景気回復事業の話題が出てきている。いまだ接種スピードは遅いものの、先日、県から県民向けの宿泊割引制度の案内が届いたところである。
		タクシー運転手	・今月はまだ終わっていないが、今のところ前年比140%くらいで落ち着きそうである。しかし、前々年比では、70%に行くか行かないくらいで終わりそうである。まだ、今後はよく分からない。
		観光名所（職員）	・今までがどん底の状態である。これ以上、地方で新型コロナウイルスの感染が拡大しない限り、観光客は徐々に戻ってくると予想している。
		遊園地（職員）	・改めて新型コロナウイルスへの対策を徹底し、万全な受入体制を整えるとともに、ゴールデンウィークに向けた集客施策の実施、情報の発信を行うことで、多くの客の来園を期待する。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・東京オリンピック効果に期待をしたいところだが、不透明過ぎて、予測もできない。
		百貨店（営業担当）	・ここきて、新型コロナウイルスの感染が拡大しているため、なかなか量的には売ることができない。ただし、お金がないわけではないので、良い物や高額品が売れる傾向で、若干良くなってくるのではないかと。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンが、まだ回ってこないで、収束しない。
		コンビニ（経営者）	・天候も徐々に暖かくなり、冷たい物が売れてくるので、売上も増えてくると思うが、新型コロナウイルスの影響で、意外と来客数は伸び悩んでいる。金額的には前年をやや下回る可能性もあるので、多少厳しい。
	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンが接種できるようになり、景気は少しずつ良くなっていく。	
	コンビニ（経営者）	・先行きが見えない。	
	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの影響で、街なかでは厳しい状況だと思うが、業界的にそこまで直接影響が出てくることはないのでは、今のところ変動はないとみている。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		衣料品専門店（経営者）	・客との会話でも、配置転換やリストラ等、良い話を聞かない。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルス対策の遅れと景気低迷が要因で、変わらない。
		自動車備品販売店（従業員）	・新型コロナウイルス感染者の急増もあり、客足が少し減ることも想定されるが、このまま変わらず横ばいと考える。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの動向次第かと思うが、飲食は悪とされているので、それほど多くは望めない。支援してもらうにしても限りがある。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種にめどが立ってきているが、効果が出るには程遠い。
		スナック（経営者）	・当県でも新型コロナウイルスの感染者が増えてきて、とうとう飲食店が時短営業になってしまっている。この先が全くみえない状況で、2～3か月後にどうなるのかは本当に新型コロナウイルス次第なので、基本的には変わらない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・現状の悪い状態から良くなる要因が見当たらない。新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことで、人の動きが出ると期待していたが、現状の接種ペースでは2～3か月先に進んでいると考えにくい。そのため、現状とほぼ変わらず、団体や法人利用は非常に少なく、細かい売上が大半で、良くなる状況ではない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・当県内も新型コロナウイルスの特別警報が発出されており、我々飲食業にとっては、本当にどうしたらよいか分からない。昼の営業は好調だが、夜の営業はアルコールの提供が全くできない状況で、この先の見通しが本当に立たない。
		旅行代理店（副支店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種や感染状況が改善し、行動制限がなくなれば、自然と客の動きが出てくると思われる。ただし、現状の受注状況を見ると非常に少ないので変わらない。
		通信会社（経営者）	・地方でも新型コロナウイルス感染者数の増加が続いており、積極的な営業が一層難しくなっている。厳しい状況は続く。
		通信会社（社員）	・前年に続き、大規模イベントが軒並み中止となっており、新規顧客の開拓も難しく、顧客からのレスポンスに頼らざるを得ない状況である。
		ゴルフ場（経営者）	・新型コロナウイルス対策の補助金の効果が出るのか、足りないのか分からないので、判断できない。
		その他サービス[クリーニング]（経営者）	・新型コロナウイルスの収束が見えない。当地は観光地なので、取引先のホテル、飲食の経営者からは、厳しい状況だと聞いている。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルス感染拡大に歯止めがかからないなか、首都圏等からの避難のために、地方の別荘が見直されてきている。
		商店街（代表者）	・この状況は早期には終わらない。
		商店街（代表者）	・当地は東京と比べて田舎なので、今はまだそれほど感じないが、日本中が新型コロナウイルスで騒いでいるので、各学校でクラブ活動が今後どういう動きをするか。クラブ活動ができなくなると、当店の学校関連の商材は余り動かなくなるので心配である。
		スーパー（経営者）	・ゴールデンウィークの動きは相当悪いのではないかと。天候も悪く、消費マインドも厳しいと予想している。
		コンビニ（エリア担当）	・緊急事態宣言が発出中で、当県でもこれに近い宣言が発出され、人出が少なくなることが予想される。
		乗用車販売店（経営者）	・半導体不足の影響で、新車の供給が遅れ始めている。新車販売にブレーキが掛かると懸念される。
		その他専門店[酒]（店長）	・4月28日時点が、クリスマス頃の感染状況に似ているという発表もあった。そうするとその頃と同じ状況が、恐らく2～3か月は続くので、再び非常に厳しい局面になるのではないかと。
		設計事務所（経営者）	・木材価格が高騰するため、一層厳しくなる。
		設計事務所（経営者）	・徐々に物件数が少なくなり、大型物件も少なくなってきている。
	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの収束が見えない限り、今後、商店街はかなり厳しいのではないかと。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	スナック（経営者）	・新型コロナウイルスのせいにはしたくないが、地方は本当に困っている。都会も大変なようだが、収束の見込みが立ちそうもない。本当に商売はこれからどうなるかと、心配だけである。
	×	その他レジャー施設 [ボウリング場]（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種もなかなか進まず、日々多くの感染者が出ている状態で、景気が良くなるとは考えられない。ゴールデンウィークも期待はできない。
企業 動向 関連		金属製品製造業（総務 担当）	・半導体業界は好調である。
(甲信越)		電気機械器具製造業 （経営者）	・2～3か月は量産案件が継続する見込みである。
		食料品製造業（営業統 括）	・新型コロナウイルスのワクチン接種は予定より大幅に遅れており、受注状況は相変わらず低調に推移している。在庫をそのまま抱えてしまうと、秋の仕込みに大きな影響を与える心配がある。
		食料品製造業（総務担 当）	・新型コロナウイルス感染拡大は第4波と言われ、加えて緊急事態宣言も発出されている。関東圏は当社の大票田であり、影響の大きさが予想される。悪い状況が変わらず続く。
		窯業・土石製品製造業 （経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種等が進まない限り、先行きの不透明な状態が続く。
		電気機械器具製造業 （営業担当）	・受注、生産量共に、上向く要因がない。
		建設業（経営者）	・新型コロナウイルスワクチンの効果がどのくらいあるのかわからないが、景気は底を打った感はある。また、資材の値上がりも続いている。
		金融業（調査担当）	・製造業は外需を中心に受注は底堅く推移するものの、非製造業は大都市での緊急事態宣言の再発出を受け、ゴールデンウィークの観光需要が大きく落ち込む見通しである。
		金融業（経営企画担 当）	・富士山周辺への観光客は徐々に増加してきていたが、4月末の3回目となる緊急事態宣言の発出は、首都圏からの観光客の足止めとなり、観光業等は衰退する懸念がある。ただし、自粛に対する国民の意識次第で影響は変わってくる。
		新聞販売店[広告] （総務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種も先になり、出口が見えない状況で、夏のレジャーや行楽等に、引き続き影響が出ると考えている。当社も広告出稿の減少や家計節約傾向が強くなるため、厳しい状況が予想される。
		一般機械器具製造業 （経営者）	・半導体不足による受注量の減少が見込まれる。また、影響がどの程度続くか不透明である。
	×	食料品製造業（製造担 当）	・時短営業などの影響で、飲食などの卸は数量が半分になったまま元には戻らない。現状、スーパー向けと合わせても、新型コロナウイルス前には程遠い状況で、体力も相当奪われてしまう。
	×	出版・印刷・同関連産 業（経営者）	・毎月の資金繰りが大変である。
	×	その他製造業[宝石・ 貴金属]（経営者）	・少し景気が良くなりかけると、各種宣言が発出されて景気回復に水を差す。今後の見通しは立たない。
雇用 関連		-	-
(甲信越)		-	-
		求人情報誌製作会社 （経営者）	・業種を問わず求人掲載企業が増えているものの、業種によって応募者が偏っている。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス対策が、万策尽きた状態のため、変わらない。
		民間職業紹介機関（経 営者）	・新型コロナウイルスの影響が強く、一部の業績拡大企業を除き、ばらつきが多く、安定していない。
		職業安定所（職員）	・長引く休業要請や自粛要請で、体力のない企業は限界にきているのではないかと。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染者が増えてきている関係か、当県はやや悪くなると考えている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で経済が回らない状況だが、この1年、各個人が何をしていたかよく考えるべきである。相変わらず、旅行者は減っておらず、特に、年配者には困ったものである。

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東海)		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスのワクチンによってそろそろ新型コロナウイルスの感染が収束に向かい、景気は上向くと考える。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の影響が表れる可能性がある。
		百貨店（業績管理担当）	・物産展などの様子を見てみると客の購買意欲は高まっていると感じる。緊急事態宣言により新型コロナウイルスの感染が収束すれば、再び店頭の売上は回復すると想定している。
		スーパー（営業企画）	・変異ウイルスによる新型コロナウイルスの感染が広がっており、今後、再び緊急事態宣言が発出されることが予想され、肉食需要が強くなると思われる。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大次第ではあるが、気温の上昇に伴う季節商材の売上改善と米飯が改善傾向にあるため、やや良くなると思う。また、エンターテインメント・エリア限定商品の導入で更に改善できる。
		コンビニ（店員）	・暑い日が続くようになるとドリンクやアイスクリームの売上が伸びてくる。
		乗用車販売店（従業員）	・問合せが割と多いため、動きは良くなっていくのではないかと楽観的な見方をしている。車は少し動き始めて、景気はやや良くなるのではないかと考える。
		乗用車販売店（販売担当）	・2～3か月先の6月は四半期決算の1つであるため、今よりは少し売上も上がってくると考える。
		乗用車販売店（営業担当）	・世の中が出掛ける雰囲気ではないが、その分、使わなかった金で別の物を買ったという話を客から聞く。新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいけば、徐々に上向くのではと期待している。
		高級レストラン（経営企画）	・緊急事態宣言、まん延防止等重点措置及びワクチン接種により新型コロナウイルス感染者数の減少を期待しつつ、更なるテイクアウト商品の開発とリニューアル、EC商品の開発など、消費者の嗜好の変化に対応した営業を行っていく。
		その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでいけば、精神的安心感などとあまって、やや消費が上昇すると思われる。
		観光型ホテル（経営者）	・当地でも5月から新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり6月には更に加速すると思われる。悪い材料は出尽くした感じがするため、多少は外出しようという空気が出てくる可能性がある。景気は今よりはやや良くなる。
		都市型ホテル（経営者）	・とにかく新型コロナウイルス次第である。
		商店街（代表者）	・当地も新型コロナウイルスの感染者数が大幅に増えてきているからか、来客数が極端に少なくなった。現況が底だと思っているため、景気は変わらないと判断する。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの先行きが明るくならない限り、来客数が増えることはないと思う。電話での修理対応や商品販売だけではなかなか売上が良くなる要素がない。巣籠り需要の獲得にはWebの活用が求められるが、当店の客層においては、それもなかなか進まない。
	商店街（代表者）	・大多数は大型量販店やインターネットでの買物が主流となり、スタイルが変わってしまった今日の状況では、今後の見通しは非常に厳しい。	
	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・3か月先を考えても、当地では残念ながら新型コロナウイルスの終息は見込めず、閉塞感がそのまま続いていると見込むため、今の状況とは変わらない。贈答品店としては、客は付き合いの幅が狭まったままの状況が続く、それが進物の返礼やプレゼントにも影響し、3か月先も余り変わらない状況が続く。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔酒類〕 (経営者)	・新型コロナウイルスの影響による時短要請が仮に解除されたとしても、店内での飲酒は限られた人のみとなり、大人数での飲食の回復はまだまだ先と考える。
		一般小売店〔生花〕 (経営者)	・新型コロナウイルスのワクチン接種がスムーズにいった安心感が広まれば少し変わるかもしれないが、3か月先ではまだ難しい。
		一般小売店〔土産〕 (経営者)	・新型コロナウイルスのワクチン接種も遅々として進まない状況では、3か月程度では何も変わらない。
		一般小売店〔果物〕 (店員)	・3か月ほどでは変わらない。
		一般小売店〔生活用品〕 (販売担当)	・先のみえない新型コロナウイルスの感染状況のなか、必要最低限の物以外は極力買い控えているように感じる。
		一般小売店〔和菓子〕 (企画担当)	・新型コロナウイルス感染の拡大による状況がどのようになるの読めない。
		百貨店(売場主任)	・コロナ禍で大阪の店が休業になるため、大阪から買物に来る客がいるかもしれないが、売上はそれほど変わらないと思われる。旅行に行けない代わりに買物に来る程度では、売上は伸びない。
		百貨店(経理担当)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が広がっていないこと、インド型変異株の拡大が懸念されることや東京オリンピックが中止若しくは無観客で実施される可能性が高いことなど、景気が上向き材料が見当たらない。
		百貨店(営業担当)	・インテリアなど良い物を迷わず購入する客と、不必要な物は購入しない客とはっきり分かれてきている。
		百貨店(営業担当)	・東京での緊急事態宣言がスタートし、しばらくは現状と同様の傾向が続くと予想される。新型コロナウイルスのワクチン接種が進まなければ、状況は打開できないのではないかと。
		百貨店(販売促進担当)	・V字回復のようにすぐには良くなりないと予測する。
		百貨店(計画担当)	・今後しばらくは、新型コロナウイルスの感染状況により来客数の増減が続いていくと考えられる。
		百貨店(販売担当)	・今後の見通しは余り立てられないが、新型コロナウイルス発生以前の状況に戻ることは考えられない。良くなったり悪くなったりを繰り返していく。
		スーパー(経営者)	・新型コロナウイルス感染症の終息なしに回復は期待できない。
		スーパー(店長)	・新型コロナウイルスの変異ウイルスなどで感染者数が増えている状態では、2～3か月先も現状と変わらない。
		スーパー(総務)	・緊急事態宣言によりゴールデンウィークのイベント等の中止が目立つ。新型コロナウイルスのワクチン接種も進まないため、巣籠り需要のみになると思われる。
		スーパー(販売担当)	・まだまだ新型コロナウイルス終息のめどが立たないため、購買意欲があっても来店を最低限必要なだけに控えると思われるため、これから先も景気は余り変わらないと考える。
		スーパー(販売担当)	・高級食パンや缶の生ビールなどが売れている。収入減少、外出自粛でも豊かな生活を送りたいという意識は続くと思う。
		コンビニ(企画担当)	・大阪、東京の状況を考えると今後当地域も同じような新型コロナウイルスの感染状況に近づくことが想定されるが、現状から判断すると、人の動きは大きく減少することはないと思われる。
		コンビニ(エリア担当)	・新型コロナウイルスのワクチンがいつ打てるか分からない状況で、先行きに明るさは見いだせない。
		コンビニ(エリア担当)	・新型コロナウイルスの影響は、数か月後に落ち着く様子も見せないため、来客数を中心に回復は見込めない。これにより、夏の売上最盛期に向かっていくなかで、メイン商品の米飯や飲料系の拡販が見通せず、苦しい状況が続くことが想定される。
		コンビニ(商品開発担当)	・新型コロナウイルスの感染状況次第である。
		コンビニ(商品企画担当)	・新型コロナウイルスのワクチン接種がスムーズに進めば景気回復に寄与すると思われるが、現状では厳しいとみている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（本部管理担当）	・コロナ禍で状況が悪化している。4都府県はゴールデンウィーク中の緊急事態宣言発出で人流に影響がある。さらに、小売業にとって天候は非常に重要だが、ゴールデンウィーク中は雨の予報である。今後の見通しは、これ以上の景気悪化はないとしても大幅な景気回復も見込めないと考えられる。
		衣料品専門店（経営者）	・まだしばらくはこの状態が続くと思う。
		衣料品専門店（販売企画担当）	・コロナ禍では仕方がない。
		家電量販店（営業担当）	・新型コロナウイルス感染が拡大傾向であり、経済の動きにおいて再び鈍化傾向が見受けられる。
		乗用車販売店（営業担当）	・一部地域で緊急事態宣言が出されて、それ以外の県でも新型コロナウイルス感染が拡大しているため、しばらく悪いと思う。東京オリンピックが中止になれば、更に悪くなるのではないかと。
		乗用車販売店（経営者）	・低迷している状態は変わらないが、新車・中古車への買換えや必要な整備に関しては来店客が変わらず見込まれる。
		乗用車販売店（経営者）	・各地で新型コロナウイルスの感染者数が増加するなか、当店は今のところ低い数を維持しており影響も少ない方を感じる。しかし、ゴールデンウィークでの人の往来など何をきっかけに状況が変わるか分からず、先行きは読みづらい。
		乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染に歯止めが掛からず、一部の地域では自動車販売店への休業要請の話も出ており、先を見通せない。
		乗用車販売店（経営者）	・今月のような状況が続くとは思えないが、しばらく停滞した状況は続くものと思われる。
		乗用車販売店（従業員）	・同系列ディーラーでの値引き競争も激しくなっており、販売台数が見込めても利益率が悪化してきている。
		乗用車販売店（従業員）	・客との会話のなかで、経済的に余裕のある人と苦しくなってきた人との差が大きくなっていることが言葉の端々に感じられる。これからもしかしたら新型コロナウイルスの感染状況に振り回されると思うが、気軽に客と会話できるようにならないと、客に寄り添った経済活動は難しいと感じる。
		住関連専門店（営業担当）	・新型コロナウイルスの終息が見えないために、迷っている客が多い。特に商業施設については顕著となっている。
		その他専門店〔貴金属〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染者数の減少はもちろんだが、ワクチン接種者がどれだけ増加するかによって、大きく影響を受ける。
		その他専門店〔書籍〕（店員）	・春になってから人出も増えてきたが、新型コロナウイルス感染者が全国的にも増えているし、新型コロナウイルスのワクチンが行き届かないと安心できないため、しばらくはまだまだ巣籠り需要が続き、書籍の売上は良い状態が続く。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	・売上高は前年比プラス6.6%、来客数は前年比プラス9.4%であった。前年3月からの新型コロナウイルスの影響で前年比はプラスとなっているが、本来の比較は前々年と行うべきで、その比較では依然マイナスである。
		一般レストラン（経営者）	・まん延防止等重点措置だけで済めば、このままかもしれないが、これ以上厳しくなれば、この先良くなる見込みは全くない。
		一般レストラン（従業員）	・良くなる見込みはない。
		観光型ホテル（支配人）	・7月の東京オリンピックの観客をどうするのがまだ決まっていない今、それまでも外出自粛は強いられると思うので、宿泊利用の期待はできない。一般宴会においても企業の動きが抑えられるため、全社での業績悪化はまだまだ続くと思われる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の状況次第だと思う。高齢者のワクチン接種のスケジュールが5～6月に具体化されてきたのでこれがスムーズに進み、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が解除され、さらにGo To Travelキャンペーンが夏休みに再開されるとうれしい。ただし、35%の破格な割引は希望しない。地域共通クーポンで50%還元すると土産・飲食・レジャー施設が潤うと思う。この状況で旅行会社の35%割引の立替えはかなり厳しい。会社維持のためにも旅行業にも協力金支援をお願いしたい。
		旅行代理店（経営者）	・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などで外出が制限されて消費が限られているなかで、新型コロナウイルスのワクチン接種率が先進国で最低といわれるように接種も進んでいない。高齢者が外出を控え消費の低迷が続くなかでホテルや飲食店の閉店も目立ってきており、2～3か月後も現状と変わらない。
		タクシー運転手	・何度も緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が適用されているため、まだまだタクシー業界は見通しが付かない。ゴールデンウィークが始まるが、当社も夜対策として稼働率を3割ほど減らすため、一部の運転手は休みになる。小さな波だと思うが、まだまだ先が見えず、景気が良くなる気はしない。
		タクシー運転手	・繁華街では人出のない状況が長い間続いている。まだ回復の兆しを全く感じない。当分この状況が続くと思う。
		通信会社（営業担当）	・コロナ禍でも東京オリンピックを開催するようだが、今の新型コロナウイルス感染者の推移をみていると不安が残る。
		通信会社（サービス担当）	・今後も在宅勤務が増えれば、全ての家庭においてネット回線の申込みが増加して、通信業界の景気は良くなるかもしれない。
		通信会社（営業担当）	・出張ができずWeb会議が当たり前になってきているので、この需要はもう少し続くと思われる。
		観光名所（案内係）	・道路から店まで全てが閑散とした状態が続いている。これはまだしばらく続くと考える。
		ゴルフ場（支配人）	・この先の予約数は、新型コロナウイルスの影響を大きく受けた前年と比べ、各ゴルフ場共に大幅に増えている。しばらくは、前年と比べ入場者は安定するとみている。今後2～3か月先の景気は、現状を維持し好調に推移すると思う。
		美顔美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収まらないと、来店を控える客がいるし、マスクをしているためメイク用品はほとんど売れない。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収まるまでは高齢者は外出を控えるため、引き続き暇であろうと思われる。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収束しない限り変わらない。
		その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・単価が下がった分、ボリュームアップのための努力をするしかない。
		住宅販売会社（従業員）	・終わらないコロナ禍で回復が見込めない。
		その他住宅〔室内装飾業〕（従業員）	・個人の住宅リフォームはまだ動きがあるが、企業の設備投資は大型物件がキャンセルされるなど慎重になってきているように感じる。
		その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	・今の状況ではなかなか今後の見通しが付かない。家賃減額等の交渉が増加傾向にある。
		商店街（代表者）	・当地にもこの先緊急事態宣言が発出されると思う。そして、新型コロナウイルスのワクチン接種も思いの外遅れているため、当分景気回復は望めない。
		一般小売店〔書店〕（営業担当）	・9月と見込まれるワクチン接種までは、引き続き新型コロナウイルスの影響で営業活動が制限されると思われる。
		百貨店（企画担当）	・東京及び関西圏に緊急事態宣言が発出され、百貨店も一部の売場を除き休業となっている。今後も一定数以上の国民への新型コロナウイルスワクチン接種が終了するまでは、一進一退が続くと思われる。2～3か月先となると、再度緊急事態宣言が発出される可能性が高いと思われる。
		百貨店（販売担当）	・ゴールデンウィークにまた休業では、もうあとがない。
		スーパー（店長）	・ゴールデンウィーク明けは節約傾向が強まり、5月後半は厳しくなると予測する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（店員）	・この先まん延防止等重点措置が当地域にも適用され、時短営業や不要不急の外出自粛のあおりで売上は伸びにくいと予測している。もう、巣籠り特需はないと思う。
		スーパー（ブロック長）	・新型コロナウイルスの感染状況が変異株の影響により悪化しており、この先の見通しが不透明である。
		スーパー（支店長）	・いつまでもコロナ禍の影響で集客ができない状況が続いているため、先行きも不透明で今後どうなっていくのかが心配でならない。
		スーパー（商品開発担当）	・前年の新型コロナウイルスによる緊急事態宣言での需要が大きく、差額を埋めることができない。今年はこの先も前年に対して苦戦が続くと考えられる。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの変異ウイルス感染の拡大と、4月後半から当県独自の自粛要請もあり、来客数は特に夜は落ち込んでいくと思われる。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスのワクチンが国民に行き渡るまでこの状況が続く。
		衣料品専門店（売場担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、関西圏や東京では緊急事態宣言が発出される等、一部業種による落ち込みが社会全体の景気低迷に影響を及ぼすおそれがある。
		家電量販店（店員）	・巣籠りでよく売れた前年からみれば販売は落ちるが、エアコンはよく売れている。
		家電量販店（フランチャイズ経営者）	・新型コロナウイルス第4波が現実となり、感染者は増え続ける。東京オリンピックにしろ緊急事態宣言にしろ、政府の認識、対応が遅すぎる。罰則のない緩い宣言のみを続けてもコロナ慣れ、自粛疲れの国民には響かない。ワクチン接種が終わるまでは、景気回復は難しいのではないが。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染がどんどんひどくなってきているため、本当は非常に景気が悪くなると思われるが、もし東京オリンピックがきちんと開催されれば、少し景気が戻るかもしれない。東京オリンピック次第と考えている。
		乗用車販売店（従業員）	・半導体不足が長引くようだと、非常に売上に影響することになる。外出自粛の影響が、ショールームへの来客数は減りつつあり、商品は品薄、来客数も減少では、先行きが非常に不安である。
		住関連販売店（経営者）	・コロナ禍で営業訪問できないことと、客先の収益悪化のため、設備投資が先送りされる。
		一般レストラン（経営者）	・当地でも飲食店の時短営業などで先が今のところ見通せない状態があり、景気は悪くなる。
		その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・業務用の減少分を個人消費が補う形にはなっているが、やはり業務用の方が消費量は多く、売上の減少は免れない。
		都市型ホテル（従業員）	・新型コロナウイルスの第4波の影響が、予約数から景気はやや悪くなると判断した。
		旅行代理店（営業担当）	・ゴールデンウィークの旅行は全く申込みがない。唯一動いているスポーツ団体も大会中止や無観客開催、自主自粛などでキャンセルが発生している。東京オリンピックの中止が決定になると、今まで抑止力の役目であったストッパーが外れ更に各種スポーツ大会の中止・取消しが発生するため、更に悪化すると思う。
		旅行代理店（営業担当）	・これ以上悪くなる要素はないが、淡い期待を持っていた夏以降の取扱も絶望的になってきている。新型コロナウイルスのワクチン接種の効果も見通しが全く立たず、不安しかない。政府には観光・旅行業界を守る措置をいい加減、講じてほしい。
		通信会社（営業担当）	・今までより販売量が減少傾向にあると考えている。
		テーマパーク（職員）	・緊急事態宣言や新型コロナウイルスの感染状況で客が自粛するのではないが。
		レジャーランド（職員）	・ゴールデンウィークは、まん延防止等重点措置、緊急事態宣言の対象期間になっているため、来場者数は極めて低い水準になると見込んでいる。新型コロナウイルスの感染状況により期間の延長が考えられることや、一般向けワクチン接種が遅れていることもあり、しばらくは来場者の回復は困難と考えている。
		テーマパーク職員（総務担当）	・新型コロナウイルスの変異株による感染者数が増加していて、ワクチン接種が終わるまでにはまだまだ時間が掛かる見通しである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		パチンコ店（経営者）	・コロナ禍で客が来店を控えていて、業界全体の売上も落ちている。
		その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	・新型コロナウイルス終息の気配がない。
		理美容室（経営者）	・3か月後も景気が良くなる見通しはなく、段々と悪くなる。
		美容室（経営者）	・まだ新型コロナウイルスの感染が心配で外出をなるべく控える客が多く、街に出るのが怖いという理由で客がなかなか来てくれないと考える。
		設計事務所（経営者）	・仕事の性質上、設計業務完了までに1～2か月程度の時間を要する。つまり、現時点で案件を幾つか抱えていないと安心できない。
		設計事務所（職員）	・景気の問題よりも新型コロナウイルス対策が優先されているため、景気は停滞ないしは下落する。
		住宅販売会社（従業員）	・まん延防止等重点措置や緊急事態宣言が出ているなか、動きが活発になるとは思えず、なっても困る。しかし、県外に出られないため意外と自宅周辺での動きが活発になるかもしれない。
		その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・貸事務所のリフォームが増えているが、オーナーに聞くと次の入居者はなかなか決まらなると困っていた。
	×	商店街（代表者）	・良くなる要因が見当たらない。
	×	一般小売店〔高級精肉〕（常勤監査役）	・全ては緊急事態宣言による影響である。
	×	一般小売店〔土産〕（経営者）	・まん延するコロナ禍からの脱却は、国産ゼロで輸入に100%依存するワクチン後進国という状況や公務員が率先して自粛を破る状況を改め、若者たちの信頼を取り戻せるかどうかにか懸かっている。
	×	一般小売店〔惣菜〕（店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大のおそれがある。
	×	百貨店（総務担当）	・当地域においてもいつ緊急事態宣言が発出されてもおかしくない状況であり、臨時休業のような状況は避けられず、先行き明るい材料が見当たらない。
	×	スーパー（販売担当）	・需要拡大が確実に見込める商品群が見いだせず、新型コロナウイルスの感染状況が好転することも望み薄いため、レジャー等への需要も望みにくく、外出先に関わる商材の拡大も厳しそうである。
	×	コンビニ（店長）	・まん延防止等重点措置や緊急事態宣言でアルコール飲料のイメージが悪くなり、販売量に影響が出ている。今後の見通しが立たない。
	×	その他専門店〔雑貨〕（店員）	・新型コロナウイルスの緊急事態宣言の効果も薄く、消費マインドの回復は見込めない。
	×	都市型ホテル（総支配人）	・ゴールデンウィークは、レストランの予約がほぼキャンセルとなった。宿泊は、単価を大幅に下げても予約が入らず、4月30日と5月1日の稼働が辛うじて3割ある程度で、その先の予約はない。宴会も5月中は先週キャンセルが入った。新型コロナウイルスの感染者数が増えそうのため、この先の状況は非常に厳しい。
	×	旅行代理店（経営者）	・旅行業界は当面回復の見込みがない。他業種への転換も模索中である。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスのためである。
	×	通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染者数の増加に加えて、半導体不足がいろいろな業界へ飛び火しつつあり、夏過ぎくらいまで影響が続くのではないかと。
	×	テーマパーク（職員）	・緊急事態宣言が終わっても、またすぐ新型コロナウイルス感染者数が増えて緊急事態宣言の発出となる。
	×	理容室（経営者）	・近所で商売をしている店も景気は良くない、客足は安い店に流れると言っている。
	×	住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が一番大きな原因で景気の足を引っ張っている。まだこの状況が続くと思う。
	×	住宅販売会社（従業員）	・他社からも仕入先からも、輸入材が高騰しているようで、かつ手に入らなくなるかもしれないと聞き、今交渉している価格では工事ができない可能性もあると聞いた。
企業		*	*

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
(東海)	動向 関連	化学工業（総務秘書）	・東京オリンピックが開催されれば景気は上向き。開催への批判はあるようだが、生まれればスポーツには夢があり気持ちも上向き。
		輸送用機械器具製造業（管理担当）	・コロナ禍だが、東京オリンピック開催に向けて景気が改善するとよい。
		輸送業（従業員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の普及とともに、企業活動も改善傾向になる可能性がある。
		輸送業（エリア担当）	・売買可能な土地を物色している不動産業者が運送業者にも手を伸ばしてきているということが、景気の先行きを表していると思う。本当に土地の需要に応じたものか、ただのバブル期のような土地投機のためのものかは不明ではあるが、こうした動きが活況感を醸し出すのは間違いない。景気は良くなっていくのではないかという感じを受けている。
		不動産業（経営者）	・今後も今の状況が続くと見込む。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・半導体生産の復旧には半年以上掛かるといわれているので、しばらく受注量の回復は望めない。
		一般機械器具製造業（営業担当）	・北米とアジアの両市場で自動車向け設備の引き合いは増えてきたが、まだまだ受注に至る案件は少ない。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・良くなる要素が余りない。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・当地の航空機業界はどん底のままである。新型コロナウイルスの感染が収束して航空機業界が盛り上がらないと、しばらくは底のままだと思う。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・需要は堅調であると思うが、半導体不足のため5月に減産するという連絡を完成車メーカーから受けており、3か月先も同じように減産するのであれば今と変わらない状態が続く。
		建設業（役員）	・通常5月からは客に動きが出てくる。出掛けずに住宅に関心が向くか、景気への不安で住宅検討を延期するか、コロナ禍の影響がどう作用するか不透明である。
		建設業（営業担当）	・企業の必要事項の業務については横ばい、プラスとなると、外注先や取引先によって差があり、良いところと悪いところがある。全てプラスになるとも思えないし、飲食業でなければ倒産の危機は低いと思うが、まだ2～3か月では分からない。
		輸送業（エリア担当）	・コロナ禍で都市部にまん延防止等重点措置や緊急事態宣言が出されて、通販はまた伸びるであろう。帰省もできず、母の日に何かを贈る需要が今年も高まると予想される。気になるのは、同業他社が単価を下げて営業に動いていることである。
		輸送業（エリア担当）	・コロナ禍の影響がしばらく継続するため、航空貨物はしばらく好景気と予想する。
		通信業（総務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン対策も遅延しており、景気が良くなるきっかけが何もないため現状のままが続く。明るくなる政策、方針提示が欲しい。国民の気分が明るくならない。
		金融業（従業員）	・飲食店や接客業に関しては、やはり今をしのぐのが精一杯という声が多く、自動車関連企業、部品の下請などは現在忙しいという状況で、将来のことも業種によって大きな差が出ているという感じを受ける。
		金融業（企画担当）	・コロナ禍でも影響を余り受けない企業、工夫によりメインの業態自体を替える企業、ピンチをチャンスに変える企業、逆に恩恵を受ける企業もあるが、新型コロナウイルスの感染が収まらない限り、景気は良い方向には向かわない。
		不動産業（経営者）	・5月の天候は例年同様に晴れの日が多い予報であるが、今後も新型コロナウイルスの影響を受けて出費を控えることから、売上の厳しい状況は継続すると思われる。
	不動産業（開発担当）	・新型コロナウイルス収束まで景気が回復する要因が考えられない。	
	広告代理店（制作担当）	・夏に予定していた各イベントやその他の企画広告等も、最近の新型コロナウイルス変異株の影響により、自粛の方向に向かうと思われる。	
	公認会計士	・新型コロナウイルスの今後の影響が予測不能である。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		会計事務所（職員）	・新型コロナウイルスの感染拡大が始まって以降、特段の影響もなく現在まで順調に売上を伸ばすことができている。飲食業、旅行業など、一部の業界は厳しい状況が続くが、全体ではこれ以上景気が悪くなることはないと思われる。
		会計事務所（職員）	・新型コロナウイルスの感染者数が目に見えて減少するのだから、外出や日用品以外の買物にも積極的に出掛ける気にはなれない。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・海外向けの輸送でEMSを用いることができず、船便しか使えない。海外ではまだまだかもしれない。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・世の中ではあと1年間は不況と考えている。前向きに捉えるには、大きな変化が訪れたときに対応できるようにしておく必要がある。落とし穴に落ちないようにくれぐれも多方面に向けて考えを張り巡らせておく必要がある。当社は2年半を掛けた発明装置の特許出願をした。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が大幅に遅れており、各地でまた緊急事態宣言が発出され、感染症終息の見通しも立たず、景気はやや悪い状況が続く。
		鉄鋼業（経営者）	・与信などの問題から取引が不安定になる中小企業が多くなると思われる。
		金属製品製造業（従業員）	・今年の夏～秋に掛けて、仕事量の確保が不安だという声はあちこちから聞かれる。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・新型コロナウイルス感染症の拡大が収まらない限り、景気が良くなるとはいえない。
		建設業（経営者）	・新型コロナウイルスに意外と勝てない。取りあえず今のところは我慢である。
		輸送業（経営者）	・建設関連を中心として受注残が減少しており、配送量の減少が見込まれる。
		輸送業（従業員）	・今の新型コロナウイルスの感染拡大は当分続きそうである。周りでは体力に余裕のない同業他社の悪い話が今後出てきそうで、心配している。
		通信業（法人営業担当）	・まだまだ新型コロナウイルスの感染が収まる気配はなく、まだまだ第4波、第5波と広まる気配がする。下層に配慮した政策が求められている。
		通信業（法人営業担当）	・IT業界における価格競争が社会にもたらす影響は、今まではメリットが多かった。しかし、行政関連システムにおける価格競争の激化は、従来のベンダーロックイン状況を打破する良いきっかけにはなるが、新興ベンダーによって市場価格引下げが激化するにつれてセキュリティレベルが担保されないシステムが行政システムを席けんしていくと、結果的には民間企業と同様、行政に対する不信感が政治不信を招き、経済的な影響は免れない。
	×	食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響により取引先が減ってきている。今後も受注数回復の見込みはない。
	×	金属製品製造業（経営者）	・引き合いも減少しており、更に受注量が減少すると思う。
	×	新聞販売店〔広告〕（店主）	・当地はまだまん延防止等重点措置が続いているが、新型コロナウイルス対策の自粛の影響がこれから出てくると予想するため、折込が減少すると思う。
雇用 関連 (東海)		-	-
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・中国市場の自動車販売数の伸び、国内販売も全メーカーの新型車種の売行きが良く、雇用増加につながるが、雇用したい採用者数や質については、希望とかけ離れている。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種により、景気好転への期待感を持っている。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染が収束しないと良くならない。
		人材派遣会社（企画統括）	・緊急事態宣言の再発出や当地での新型コロナウイルス新規感染者数の記録更新など、状況の改善がみられない。
		人材派遣会社（営業担当）	・まん延防止等重点措置の影響がどの程度あるか見通しが立たない状況だが、現段階では求人数は増加傾向にある。
	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大により東京オリンピックもどうなるか分からないなかで、先行き不透明感が強い。	
	人材派遣会社（営業担当）	・主要取引先における設計開発の内製化や予算削減・抑制方針に変化はないため、2～3か月後も今月と状況は変わらないと考える。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		新聞社〔求人広告〕 (営業担当)	・新型コロナウイルスのワクチン接種も進まず、東京オリンピックのために様々な規制が強化されると想定され、経済活動は停滞すると予想する。
		新聞社〔求人広告〕 (営業担当)	・やはり手探り状態は続くと思われる。特に、新型コロナウイルス変異株により感染拡大しているエリアが増えてきていることに対し、警戒感が強くなってきた。
		職業安定所(所長)	・前年同月比の新規求人数の減少幅は、前年度前半よりは縮小して推移してきたが、新型コロナウイルスの第4波の影響が心配される。また、新型コロナウイルスの影響を受ける期間の長期化も不安材料である。
		職業安定所(職員)	・新型コロナウイルス感染症の感染状況次第ではあるが、ワクチン接種などの対策が進まないと、景気の回復は見込めないのではないか。このままの状況が続けば悪化も懸念される。
		職業安定所(職員)	・県独自の非常事態宣言が発出され、まん延防止等重点措置の提供も要請されたことにより、飲食・小売業への影響が懸念される反面、看護・建設・運転手・歯科衛生士等の職場は人手不足のため、求人票の提出が多い。
		職業安定所(次長)	・新規求人数は徐々に回復傾向にあるものの、その動きは鈍く不透明性が高い。新型コロナウイルスの感染拡大が続くなか、まん延防止等重点措置適用及び緊急事態宣言発出地域の影響を考えると、生産活動が急激に回復し求人が増加するという力強い状況とはいえない。
		職業安定所(次長)	・現場で判断する限りでは、国の雇用調整助成金で雇用を維持している企業の動きいかんで、悪化も想定される。
		民間職業紹介機関(窓口担当)	・コロナ禍で緊急事態宣言の発出など景気回復の見込みがなく、現状から求人数が良くなるとは考えにくい状況である。一方、東京オリンピック特需などは一部で発生中である。
		民間職業紹介機関(営業担当)	・ボーナス支給後からは登録者数が増える可能性もあるが、新型コロナウイルスの影響により、採用を継続するか否かの判断をする企業が一定程度現れる可能性もある。
		学校〔専門学校〕(就職担当)	・看護師の医療系養成課程に対する医療機関の令和4年度採用スケジュールにおいて、従来この時期に多く計画されていたインターンシップは、新型コロナウイルスの影響により、低学年向けも含め件数が減少している。また、実施されてもオンラインということ制限されている。
		人材派遣業(営業担当)	・東京オリンピック需要も期待できず、政府からの支援も一部の業界のみに絞られており、エンドユーザーが支援される見込みがない。
		人材派遣会社(営業担当)	・人材採用については、各社で新入社員の教育が終わり配属先も決定し、しばらくは様子を見る期間が続くと考える。
		職業安定所(職員)	・新型コロナウイルス感染症の影響により、景気については、企業における雇用の抑制、人員整理等が進み、更に悪くなると思われる。巣籠り需要等により業績を向上させている業種もあるが、全体として景気は悪くなっていくと思われる。
	x	*	*

7. 北陸(地域別調査機関:一般財団法人北陸経済研究所)

(-:回答が存在しない、*:主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北陸)		-	-
		コンビニ(店舗管理)	・ワクチンや東京オリンピック等で、現時点よりは閉塞感が和らぐ方向にあるはずである。
		家電量販店(店長)	・家で過ごす時間が多いため、エアコンや空気清浄機の販売に期待したい。
		乗用車販売店(役員)	・ワクチン接種が始まり新型コロナウイルス感染者数も減少に転じていくとみられ、経済活動が徐々に上向きになっていくと考える。
		自動車備品販売店(役員)	・コロナ禍の自粛ムードはまだまだ続くと考えますが、この環境に慣れ始めてこの生活環境が当たり前になってきている。環境に順応した生活様式のなかで、需要が上がってくると期待する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般レストラン（統括）	・現状では新型コロナウイルスの感染拡大を抑えるべく、自粛などの対策を講じており、6月頃には一旦収束して消費者が動き始め、景気も緩やかに上向きになるとみている。
		旅行代理店（従業員）	・ワクチンの接種が進めば良くなると考える。
		競輪場（職員）	・地元での競輪開催が始まるため、客足は伸びると予想している。また、Web投票が前年に引き続き好調であれば、売上もそれなりに期待できる。ただし、新型コロナウイルスの感染状況によっては無観客開催若しくは、開催中止等もあり得るため不安は残る。
		商店街（代表者）	・ゴールデンウィーク中の新型コロナウイルスの影響次第である。
		一般小売店〔精肉〕（店長）	・高いものの動きが良くなく、ふだん使いのものはそこそこ売れている。先行きは新型コロナウイルス次第だが、ゴルフコンペの景品用等に期待している。
		スーパー（統括）	・新型コロナウイルスの感染拡大による今後の影響が不透明である。
		コンビニ（店長）	・良くなる要素が見つからない。当地でも新型コロナウイルスの感染が拡大しているなかで、平日は仕事でやむを得ず外出し、土日、祝日など休日は自宅に籠り、外出を控える人が多い。週末の売上だけでみると、前年比で3割弱落ち込んでいる。平日のみで考えると前年近くまで回復してきているが、昼食の弁当などを簡易なもので済ませる傾向があり、客単価は低い状態である。
		コンビニ（営業）	・新型コロナウイルスの影響は継続する可能性が高いとみている。
		乗用車販売店（経営者）	・行政やメーカーからイベント等の自粛などを言い渡されるなか、営業活動も控えめになりがちなので、状況は変わらずに進むと考える。
		住関連専門店（役員）	・これから夏に向かい、東京オリンピック開催などの与件に左右される要因の良しあしは、依然として不透明な部分が多い。ネット販売の好調な推移を見ると良くなる可能性はあるかもしれないが、大きな期待はしていない。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・本来ならば、2021年の東京オリンピックが近づいており、2～3か月先は開催ということで景気はどんどん上がっているはずのだが、周知のとおり新型コロナウイルス感染症の影響で、加速するように悪くなっている。これからどん底に落ちるのではないかとというくらい景気が悪くなるのではと恐れている。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・感染防止策に有効な手法が出てこない限りは、現状の来店動向が続くものと予測している。客の行動変容から生まれた新しいニーズに対応できる売場展開を提供できるように努める。
		高級レストラン（スタッフ）	・接客を伴わない飲食店からクラスターは出ていないが、29日から飲食店に対して営業時間の短縮要請が出されている。国や県が新型コロナウイルスの感染拡大に対して何かしているとアピールする対象に飲食店がなっている限り、回復は望めない。
		一般レストラン（店長）	・営業時間の短縮要請が終わっても、夜の来客数の回復は余り期待できない。いつまで影響が残るのか想像できない。
		スナック（経営者）	・先行きは新型コロナウイルス次第だが、予期せぬマイナス材料が出てくると見当が付かない。
		観光型旅館（経営者）	・ワクチン接種が進むまでは現在の状況が続くと考える。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスのワクチンを、全員が接種しない限り安心して外出しないとみられることから、当分は良くなりたないと考えている。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルス感染者数が減少するまで、この状態が続くと考える。
		通信会社（営業担当）	・格安料金プラン開始の余波を受けているものの、大きく変化する要素が見当たらない。
		通信会社（店舗統括）	・今のところ上がる要素が見当たらない。
		通信会社（役員）	・新メニューの効果がある程度落ち着いてくることが予想されるが、前年同期比では同様の契約者数で推移するものと見込んでいる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		美容室（経営者）	・県内でも小学校を始めとした学校内での感染者数が増えてきており、今後は家庭内感染者数の増加が予想され、消費マインドは冷え込んでくる。
		住宅販売会社（従業員）	・受注高も例年と変わらず、若干良いくらいの状況であり、恵まれた業界であると感じている。客との打合せの積み重ねが重要で、その数も常に一定数あり、現在の状況であれば契約件数は減らないとみている。
		住宅販売会社（従業員）	・人の動きが活発になるのは秋以降になるとみている。それまではしっかり原点に戻り、頑張るしかないと考えている。
		住宅販売会社（営業）	・新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めが掛かる見通しが立たない限り、景気が良くなるとは考えられない。
		商店街（代表者）	・県独自の緊急事態宣言の発出で、外出を控える傾向は続きそうである。やや持ち直してきた感じのする衣料品は、これで合い物を飛び越して一気に夏物になりそう、売上の減少は避けられないとみている。
		一般小売店〔事務用品〕（店員）	・新型コロナウイルスの感染拡大により行動が制限されるなかで、売上に直結する営業訪問及び店頭での集客が見込めない。
		一般小売店〔書籍〕（従業員）	・今のところ現在より良くなる要素が余りない。今後もコロナ禍の厳しい状況は続きそうである。
		百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルス変異株による新規感染者数が増え続けているため、県はまん延防止等重点措置を要請する可能性が高い。発出されることになれば、お中元やクリスマス商戦に与える影響は計りしれない。
		百貨店（販売促進担当）	・先行きが見通せない以上、回復とはならないとみている。今まで比較的影響が少なかった商品への影響も出ると予想せざるを得ない。
		百貨店（販売担当）	・新型コロナウイルスで出張や旅行などが制限されるため、それに伴う関連商品を多く扱う部門の苦戦が継続するとみている。低価格志向に加え、必需品だけを求めて来店することが多く、短時間のショッピングが増えている。買い回りによるついで買いが減少し、客単価が減少傾向にある。しかし、スポーツやアウトドア関連など屋外がキーワードのアイテムは比較的好調で、今後も若干ながらも期待できる。
		スーパー（仕入担当）	・新型コロナウイルス感染者も増えて対策が進むなか、帰省や催事の中止が大きく販売量に影響するとみている。
		スーパー（店舗管理）	・コロナ禍により家庭内所得が減少している影響が出ている。食費についても抑制傾向にあると考える。ワクチン接種待ちの状況である。
		コンビニ（経営者）	・季節商材の販売動向からやや悪くなる。
		衣料品専門店（経営者）	・早い時期に新型コロナウイルスの感染が収束するとは考えられない。
		衣料品専門店（経営者）	・今後については全く予想できないが、更に悪化していくことが十分に想定される。
		家電量販店（本部）	・新たな緊急事態宣言の発出や変異株の勢い、前年の暑さとの比較などから、今年は厳しくなるとみている。
		乗用車販売店（従業員）	・当地域の新型コロナウイルス感染者数も徐々に増えてきており、先行きが不安である。
		通信会社（営業担当）	・最近では割引によって販売が増加してきているので、割引終了に伴い販売数も減るとみている。
		パチンコ店（経理）	・新型コロナウイルス第4波の影響が出てくるとみている。
		その他レジャー施設〔スポーツクラブ〕（総支配人）	・人が一番動き出しそうな時期に県から新型コロナウイルスの感染拡大警報が出て、再び自粛傾向が強くなってきている。ワクチンも高齢者が5月17日から、一般の人は秋頃にやっと接種となりそう、今年の夏場は期待できない。
		住宅販売会社（従業員）	・飲食店への時短要請があり、今の状況ではますます外出自粛の動きになるとみている。
	×	商店街（代表者）	・年間で一番売上のあるゴールデンウィークが今年も期待外れに終わるため、休業補償がない今年は、経営自体も更に不安である。その反面、少しずつではあるが高額品の売行きは戻りつつあるので喜ばしい。
	×	一般小売店〔鮮魚〕（役員）	・政府の新型コロナウイルス対策に一貫性がみえない。やることなすこと中途半端で、真剣に対応する気がないのではないかとみえてしまう。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	観光型旅館（スタッフ）	・関西や首都圏でのまん延防止等重点措置、緊急事態宣言の発出で新規予約よりキャンセルの方が多くなっている。近隣の個人客や修学旅行の対応はしているが、厳しい状況は続くと考え。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	・緊急事態宣言が発出され、該当する地域だけでなく身の回りにも影響が甚大であり、更に悪化するとみている。負担になるのはまず賃借料で、周辺ビルの解約が目につくが、解約できない業種は大変厳しい。
	×	通信会社（職員）	・緊急事態宣言下によるということに尽きる。
	×	テーマパーク（役員）	・依然として感染の拡大傾向が続いており、ワクチンの接種もまだ時間が掛かるとみられ、3か月先の状況も現状より更に厳しくなると考える。
企業 動向 関連 (北陸)		*	*
		一般機械器具製造業（総務担当）	・緩やかではあるが、受注量は回復傾向にある。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・海外向けの輸出品を中心に受注が好調に推移し、国内自動車メーカーも順調な受注状況で推移している。輸出に関しては、船便の手配がタイトになっており、出荷が遅れ気味になっている。
		建設業（経営者）	・前年は新型コロナウイルスにどう対応したらよいか分からず右往左往していたが、1年を経過して、正しく恐れることを意識しながらの経済活動が戻りつつある。
		通信業（営業）	・新型コロナウイルスによる影響が現状レベルで推移すれば、新年度に入り補助金施策も具体化されてきたので、今後の景気は上向き傾向になるとみている。
		税理士（所長）	・経済産業省が出している事業再構築補助金が大分浸透してきている。設備投資意欲が非常に旺盛な中小企業で抑えられていたものがいろいろな形で段々と上がってきており、設備関連の投資がこれから更に増えるのではないかとみている。また、その関連で工作機械メーカーの受注も非常に好調である。建設業も非常に良い。飲食業は新型コロナウイルスの感染が収まれば必ず良くなるという確信もあるので、現状はともかくとして、将来の見通しは上がり調子になるのではないかと期待が持てる。
		食料品製造業（経営企画）	・コロナ禍のもと、この先も数か月サイクルで上がったたり下がったりが繰り返されるだろうと考える。
		プラスチック製品製造業（企画担当）	・都会を中心に再度緊急事態宣言が発出され、県内でも特別警報が継続するなど、新型コロナウイルスの感染拡大が収まる気配はなく、本格的な回復にはまだ時間を要する。
		金属製品製造業（経営者）	・2～3か月先の注文の入り具合から景気は変わらない。
		輸送業（役員）	・新型コロナウイルスの影響がある。
		金融業（融資担当）	・新型コロナウイルスの感染が再び拡大しており、緊急事態宣言が発出されている。経済活動に制限が掛かり、観光や飲食及びその関連産業の業績は悪化する見通しである。事業再構築補助金を活用した新事業への進出と、これに伴う設備投資の動きもみられるが、その効果が現れるまで時間を要する。
		不動産業（経営者）	・少し期待していたが、特別動きが多いということはない。法人の問合せが少しずつ出てくるようになったので、そういった面で期待している。
		司法書士	・会社の設立や役員を増員する会社がある一方、事業縮小や事業承継予定者だった役員が辞任する会社もある。
		精密機械器具製造業（役員）	・ここに来て、再び大きく増加傾向にある新型コロナウイルス感染者数の状況や、再発出された緊急事態宣言等の影響により、今後しばらくは今より厳しい状況に向かうと考える。
	建設業（役員）	・一部材料単価の上昇基調もみられ、先行きにおいては、現状よりも利益確保が厳しくなるのではないかと考えている。	
	広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの第4波の影響はこれまで以上に大きいと感じる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	金融業（融資担当）	・春先からゴールデンウィークに掛けて需要を見込んでいた観光業者は、今回の緊急事態宣言で更に打撃を受けることになる。ワクチンの普及が間に合わない状況で、東京オリンピックを見据えてまん延防止等重点措置が大きくとられると、経済全体の需要は少なくなる。また、対応できる支援策も乏しく、倒産や休業が増えるが、事業規模縮小の選択が迫られるとみている。
雇用 関連		-	-
(北陸)		人材派遣会社（役員）	・依然として派遣登録者数が増えず、僅かな案件にマッチングできない。
		人材派遣会社（社員）	・年度替わりの影響で一時的な求人増加はあるものの、まだまだコロナ禍のため新たな求人、求職に変化はないと考える。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・新型コロナウイルスの影響があり、介護施設を中心に新規雇用が伸びない。
		新聞社〔求人広告〕（営業）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着かず、感染拡大の動きがある限り、上向きにならないのではないかと考える。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・県内でも新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向にあり、先行きが見通せない。ワクチン接種が進むまではこの状況が続くと考える。
		職業安定所（職員）	・東京オリンピックやワクチン接種の進み具合など、3か月先がどうなっているか考えられない。東京オリンピックはともかく、ワクチン接種の進み具合が景気を左右するとみている。取りあえず、12月末ごろが1つの目安になると考えるので、3か月先はまだまだとしかいえない。
		民間職業紹介機関（経営者）	・以前のようにセール行事等も少なく停滞している。来客数に制限があって、本来の景気に戻っていないようにみえる。
		学校〔大学〕（就職担当）	・求人数について、状況が変わる要素は見受けられない。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染が拡大傾向にあり、第1～3波のときと同様に、雇用維持ができそうかどうかで、求人の提出を控える事業所が多くなると見込んでいる。
	x	-	-

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連		百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第であるが、店の営業が再開できるならば、今月よりも改善すると予想している。
(近畿)		通信会社（社員）	・新学期が始まり、更にインターネットの利用が増えることが予想される。
		観光名所（経理担当）	・7月は新型コロナウイルスの感染が拡大する時期ではないため、病床利用率は軽症者を入れなければ、逼迫することはないと考えられる。ただし、ウイルス自体がなくなるわけではないため、前年の8月のように、感染者数が増える可能性はある。
		一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	・取引先の催しや結婚式の予約が順調に埋まっている。
		百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスの影響で、百貨店のショッピングバッグを持って歩くことは気が引けるため、買物がしにくいといわれている。世間的にショッピングが許されるようになれば、これまでの反動で景気が動く予想される。
		百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着くことが前提となるが、休業が避けられた場合、前年と同様に良くなると考えられる。ただし、百貨店も厳しいが、休業によって商品の販売機会が失われるため、取引先の業績悪化も避けられない。今後は事業の撤退や売場の閉鎖、取引条件の見直しといった申入れの増加が予想される。
		百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルスのワクチンについては、身近な客も接種し始めているなど、見通しが明るくなってきている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（特選品担当）	・東京オリンピックの開催の有無による影響が、良くも悪くも大きいなど、正直なところ先のことは分からない。ただし普通に考えれば、緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスのワクチン接種も増えるため、やや良くなると予想される。
		百貨店（マネージャー）	・新型コロナウイルスの感染第4波が収束し、営業の再開が見込まれる。
		百貨店（売場マネージャー）	・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスのワクチンの供給も増えることが予想される。人流が戻りさえすれば、客の購買意欲は高まると考えられる。
		百貨店（販売推進担当）	・全ては新型コロナウイルスの感染状況に懸かっている。休業している現状に比べれば、改善すると予想されるが、ワクチン接種の動きや回復の見込みは当初の期待を下回っており、売上の見込みは下方修正せざるを得ない。
		百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルスのワクチンは、高齢者への接種が7月までに完了する見込みである。頼みのワクチンがある程度行き渡れば、安心感が広がることで、消費マインドも高まる。
		スーパー（企画担当）	・緊急事態宣言の延長もあり得る状況であり、家庭での食事や調理の機会が増えるため、売上は全体的に高止まりとなることが予想される。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、感染者数も徐々に落ち着いてくれば、周辺の企業の出社も少し増えると予想される。
		コンビニ（店員）	・緊急事態宣言が解除されれば、人の動きが少し期待できる。
		家電量販店（店員）	・緊急事態宣言が解除された後は来客数も戻るほか、夏物家電の需要が高まる時期でもあるため、景気は上向き見込みである。
		家電量販店（店員）	・休業が解除されるほか、夏のエアコン需要のピークや決算期となるため、景気は回復すると予想される。
		家電量販店（店員）	・店舗の営業再開による飛躍的な回復は見込めないが、商品の経年劣化に伴う買換え需要はあるため、緩やかな改善が予想される。特に、コンサルティングセールスにこだわる当社の方針は、客からの信頼を得やすい。競合店と比べて、客の期待に応えられる自信があるため、時間は掛かるものの、間違いなく良くなる。
		高級レストラン（スタッフ）	・良くなることを期待したい。
		高級レストラン（企画）	・地域の観光支援事業やGo Toキャンペーンの再開、新型コロナウイルスのワクチン接種による影響で良くなる。
		旅行代理店（役員）	・緊急事態宣言の解除後は、新型コロナウイルスの感染防止策を徹底した、新しい旅行スタイルが確立されると期待している。
		旅行代理店（支店長）	・ゴールデンウィークが2年連続で最低の状況となったものの、2～3か月後であれば東京オリンピック、パラリンピックの状況も確定しており、期待するしかない。
		ゴルフ場（支配人）	・今の来客数から想定すると、やや良くなる。
		競輪場（職員）	・3度目の緊急事態宣言の発出で、先行きは不透明である。客足は遠ざかっているが、当レース場がリニューアルオープンするため、期待感もある。場合によっては、急反発する可能性もある。
		その他レジャー施設 [飲食・物販系滞在型施設]（企画担当）	・緊急事態宣言が解除され、人の動きが戻ると予想される。
		美容室（店員）	・気温が高くなると髪の毛を切りたくなるため、その部分では良くなるものの、新型コロナウイルスの感染状況次第である。
		その他サービス[マッサージ]（スタッフ）	・アロマオイルマッサージで服を脱ぐため、寒い時期よりも暖かい時期の方が来客数は増えるが、今年は新型コロナウイルスの影響もあり、何ともいえない。
		住宅販売会社（経営者）	・飲食店、宿泊業以外の業種では、資金に余裕がある企業も目立ち始めている。今後は二極化が進むが、全般的に好調な動きが予想される。
		一般小売店[花]（経営者）	・取引先の経費削減で、定期的な販売がなくなっているため、回復には時間が掛かる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔珈琲〕 (経営者)	・緊急事態宣言が発出されたが、直営店の乗客数は横ばいであり、減少はしていない。
		一般小売店〔衣服〕 (経営者)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が、高齢者だけでなく、ほかの世代に広がるまでにはしばらくかかるため、この数か月は我慢の時である。秋頃から活気が戻ると考えているため、それに向けて準備を進めていく。
		一般小売店〔時計〕 (経営者)	・少しずつ、新型コロナウイルスのワクチン接種券を受け取ったという話を聞く機会が増えたが、その後の具体的な話は全くない。その一方、感染のうわさだけが先行しており、うわさがうわさを呼ぶ状況で、余り良い話にはなっていない。ワクチンの具体的な効果がはっきり出て、安心感が広がるまでは、買物をする気にはならない。
		一般小売店〔野菜〕 (店長)	・緊急事態宣言が解除された後、どのような動きになるかによるが、まだまだ状況は変わらない。
		一般小売店〔呉服〕 (店員)	・新型コロナウイルスの感染が少し収束すれば、回復に向かうことが予想されるが、商売自体は厳しい。
		百貨店(企画担当)	・緊急事態宣言の解除時期が見通せない。また、解除になったところで、現状からの劇的な回復は見込めない。この先、当業種で景気が良くなるということは考えられない。
		百貨店(店長)	・緊急事態宣言の解除や、新型コロナウイルスの感染者数の減少、ワクチン接種などのスケジュールがみえなければ、数字が上向くことはない。
		百貨店(商品担当)	・新型コロナウイルスとの共存で、暮らしに感染対策が定着しつつあるなか、ワクチンが経済活性化の切り札とされてきた。しかし、供給や接種は遅々として進んでおらず、変異株の感染の急拡大によって3度目の緊急事態宣言が発出された。企業業績には大きな痛手となるため、株価が下落しているように、先行きの不安感が強く、景気の回復が見通せない状況である。
		百貨店(服飾品担当)	・今年の5月商戦はゴールデンウィークと母の日が近いが、ほぼ売上が取れていないほか、緊急事態宣言も延長される可能性も高いため、現在から大きく変化する可能性は低い。ただし、前年も緊急事態宣言の解除後は、売上が前年比で70%での推移となったことから、解除後はスムーズに回復することが予想される。
		百貨店(宣伝担当)	・1回目の緊急事態宣言から1年が経過し、様々な感染対策をしながら売上の回復を目指してきたが、何も改善していない。一部の富裕層を除いた客の節約志向もますます顕著になり、今後の営業の在り方が問われているが、明確な答えが見当たらない状況である。
		百貨店(販促担当)	・まさに、新型コロナウイルスの影響次第である。緊急事態宣言の発出のような状況であれば、当然商売にならない。やや感染が収まった状況ならば、ゴールデンウィークも我慢した反動で、購買心理が活発化する。現状は感染状況も予測不能であり、対応の準備ができないということを改めて感じている。
		百貨店(売場マネージャー)	・関西では、大阪を中心に4月25日～5月11日まで緊急事態宣言が発出されているが、延長の可能性もある。先が見えないため、今月と状況は変わらない。
		スーパー(経営者)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が遅々として進まないなか、変異株の影響もあり、感染の拡大が急速に収まるとは思えない。それに伴い、夏一杯は外食や旅行の自粛などが続き、身近な店で買物や飲食をする傾向が続く。
		スーパー(店長)	・新型コロナウイルスのワクチン接種次第であるが、緊急事態宣言が繰り返し出されるようでは、経済に与えるダメージも大きい。感染が収束しても、食品以外は消費が収縮しているため、なかなか元には戻らないと予想される。
		スーパー(店長)	・まだ当分は、新型コロナウイルスの感染状況に左右される。
		スーパー(店員)	・緊急事態宣言の発出以降、まとめ買いをする客が増えたように感じる。ただし、当店は24時間営業のままであるため、夜の客も多く、大きな変化はない。
		スーパー(企画担当)	・緊急事態宣言下で、一旦は生活必需品や園芸用品に対する巣籠り需要で売上は伸びるが、2～3か月後に解除されると元に戻る。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（開発担当）	・3回目の緊急事態宣言が発出され、新型コロナウイルスの感染も続くなか、これから先景気が良くなるとは思えない。
		コンビニ（経営者）	・生ジョッキ缶ビールの新製品が出て、売上を伸ばしている。新型コロナウイルスのワクチン接種が増えれば、少しずつ回復の兆しも見えてくる。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が減れば、回復に向かうものの、減らなければ今後も厳しい状況となる。
		コンビニ（店員）	・少し前から、新型コロナウイルスの影響で買い控えを行う客が多くなり、客足も減っている。この状況がしばらく続くと予想される。
		コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスの感染収束の兆しが見られず、先行きは不透明である。
		衣料品専門店（店長）	・緊急事態宣言の効果が出て、少しは新型コロナウイルスの影響も緩やかになるが、また感染の第4波、5波が続くと予想される。ワクチンの接種が広がるまでは、まだまだ景気は厳しい。
		家電量販店（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンが行き渡るには時間が掛かる。様子見が続くため、消費意欲は抑制された状態が続く。
		乗用車販売店（営業担当）	・緊急事態宣言の延長の可能性が高まっているため、新型コロナウイルスのワクチンが行き届き、感染の抑制につながるまでは、横ばいの推移となる。
		乗用車販売店（販売担当）	・3度目の緊急事態宣言の発出もあり、新型コロナウイルスのワクチン接種や、治療薬の開発などが進まない限り、現状の維持が精一杯である。
		その他専門店〔宝石〕（経営者）	・新型コロナウイルスによる影響は大きく、2～3か月後も影響は残るため、状況は変わらない。
		その他専門店〔医薬品〕（管理担当）	・緊急事態宣言による外出の抑制はあるものの、新型コロナウイルスのワクチン接種や東京オリンピックの開催による、景気へのプラス効果も考えられる。大幅に改善される要因は見当たらないが、現状維持が緩やかな回復の動きが予想される。生活必需品を取り扱う当社については、現状維持が可能である。
		その他小売〔インターネット通販〕（企画担当）	・新型コロナウイルスに対する不安が続く限りは、消費の回復も見込めない。
		一般レストラン（経営者）	・緊急事態宣言の延長の有無に左右されるが、時短要請が続くことを想定すると、景気の回復要素は少ない。仮に、新型コロナウイルスのワクチン接種が進んだとしても、20～50代への接種が進まない限り、効果は薄い。短期的に行動を抑えて感染者数が減ったとしても、また増加するため、飲食店としては非常に歯がゆい。
		観光型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が社会の隅々にまで広がっており、観光業は明るい見通しを持つことができない。
		観光型旅館（経営者）	・全ては新型コロナウイルスの感染状況次第である。また、ワクチンの接種が広く進み、世間が安心して外出できる環境となるほか、Go To Travelキャンペーンの再開や、旅行をしても大丈夫といったメッセージが出なければ、状況は変わらない。
		観光型旅館（経営者）	・変わらないというよりも、分からないといった方がよい。先行きが読めない。
		都市型ホテル（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が完全に下火になるまでは、前年からの低調な景気のみであると予想される。ワクチンの接種には不透明感もあるが、効果次第では上向きになることも考えられる。まずは関東や関西の感染が収まり、人の流れが出てこなければ、ホテル業界は厳しい状況が続く。
		都市型ホテル（管理担当）	・緊急事態宣言の延長が予想されるなど、当面は回復が期待しにくい。ただし、今後は新型コロナウイルスの感染の波が発生しないように、徹底的に対策を講じてほしい。
		都市型ホテル（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染は拡大局面にあり、依然として変化がみられない。
		旅行代理店（店長）	・Go To Travelキャンペーンが早い段階で再開される見込みも少ないなか、回復は難しい。
		通信会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着かなければ、状況は良くなるどころか悪くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（企画担当）	・ゲーム機器の販売先である、アミューズメント施設の売上が新型コロナウイルスの影響で減少するなか、緊急事態宣言によって更に悪化しているため、投資の予算が絞られ、今期の販売が期待できない。
		競艇場（職員）	・緊急事態宣言が発出されて無観客開催となっているが、電話投票やインターネット投票は依然好調なため、大きな落ち込みはみられない。しばらくは現状維持で推移すると予想されるが、今後の展開は読みにくい。
		その他レジャー施設 〔複合商業施設〕（職員）	・一旦は緊急事態宣言の効果は出るものの、何度も繰り返すうちに、徐々に効果も薄れていくと予想される。新型コロナウイルスの変異株の存在に加え、ワクチンの効果や接種のスピードといった不確定要素も多く、当面は回復が期待できない。
		その他レジャー施設 〔イベントホール〕（職員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種で感染の拡大を抑えることができれば、回復に向かうことが期待されるものの、接種がうまくいくとは思えない。
		その他レジャー施設 〔球場〕（経理担当）	・4月は順調にプロ野球の試合が開催されたが、大阪府では4月25日から3度目の緊急事態宣言が発出され、プロ野球は当面无観客試合となり、5月のコンサートも公演中止となった。なお、3か月後の状況は不透明なため、現状と変わらないとしている。
		その他サービス〔学習塾〕（スタッフ）	・生徒の退会者数がかつてない規模となるなど、新型コロナウイルスの影響が感じられる。ワクチンが行き届き、少しでも景気が改善されれば、最低でも現状は維持できると予想される。
		その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	・全体的に経済状態が良くないため、本来は景気も悪化するはずであるが、株高などを考慮すると、景気は余り変動しない。
		その他住宅〔情報誌〕（編集者）	・マンションは供給戸数の減少で堅調な動きとなりそうだが、戸建て住宅は土地の仕入価格の高騰に加え、輸入建材の不足や価格の高騰により、建築コストの上昇や着工遅れのリスクが懸念される。
		一般小売店〔菓子〕（営業担当）	・緊急事態宣言の影響で、商品の販売が低迷する見込みであるため、厳しい状況が続くそうである。
		百貨店（マネージャー）	・新型コロナウイルスのワクチン接種のスケジュールが立っていないほか、行動の自粛と緩和を繰り返すことでの疲労感など、購買意欲が高まる要素が見当たらない。
		百貨店（マネージャー）	・コロナ疲れのなか、緊急事態宣言の発出で小売などの経済活動が縮小し、企業や客のストレスが大きく悪化している。特に、新型コロナウイルスのワクチン接種に関しても、変異株が出現するなか、効果に懐疑的な見方が出てきている。景気回復はしばらく困難な局面と考えられる。
		百貨店（サービス担当）	・新型コロナウイルスの変異株の感染が拡大するなかで、緊急事態宣言が発出された。ゴールデンウィーク中に営業を自粛することで、売上に大きな影響が出るため、状況は悪化する。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、消費者の行動範囲が再び狭くなるため、行楽や外出関連の動きは悪くなると予想される。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種も遅れそうで、先行き不安によって消費マインドは更に冷え込みそうである。
		スーパー（店長）	・今までは余り反応がなかったが、最近は採用を募集すると、すぐに応募が集まるようになっている。
		スーパー（店員）	・緊急事態宣言が出たため、外出や外食が減り、家での食事が増えるため、食料品の購入が増えて売上も伸びそうである。ただし、その反面、新型コロナウイルスの感染が収まれば、元の生活に戻り、売上も元に戻ってしまう。
		スーパー（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染収束の動きが見えないなか、消費や景気の不透明感は増している。仮に東京オリンピックが実施されたとしても、盛り上がりは期待できず、景気は停滞することが予想される。
		スーパー（販売促進担当）	・食品小売業以外の状況を見ると、今後の経済の落ち込みは不可避と予想される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（社員）	・今後の懸念材料は、再び新型コロナウイルスの影響が長引くことで、客の所得の全体的な減少が続き、消費を抑える傾向が強まることである。
		コンビニ（経営者）	・コロナ禍の状況では、解雇や給与カットの影響で経済が安定しないため、先行きに対する不安が大きい。
		コンビニ（店長）	・また緊急事態宣言が発出されたほか、新型コロナウイルスの感染がいつまで続くのか、見通しが立たない。
		コンビニ（店長）	・緊急事態宣言が発出されており、景気の回復する要因が見当たらない。
		コンビニ（店員）	・緊急事態宣言の発出を受けて、閉店する店が増えてきたという話を客からもよく聞くため、厳しい状況が続くと予想される。
		衣料品専門店（営業・販売担当）	・来客数が減少したまま、増える見通しも立たない。緊急事態宣言下で、営業するべきか、休業するべきかの適切な指示もなく、対応の仕方が分からない。
		家電量販店（店員）	・ゴールデンウィークを前に緊急事態宣言が発出されたため、休業や時短営業などで人の移動が少なくなり、ダメージが出る。特に、家電量販店は前年の緊急事態宣言下では業績が右肩上がりとなったが、今回は大きく落ち込むと予想される。
		乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスによる実体経済への悪影響が出つつある。
		乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの変異株が猛威を振るっている。これだけ感染者数が増加し、ゴールデンウィークも自粛生活で過ごすことになれば、消費が冷え込み、景気の回復はますます遠のく。
		乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響でイベントが開けず、車の売行きは余り良くない。車検の予約も減ってきている。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	・客の動向をみると、生活に必要な物の購入は多いものの、客の購入意欲は以前よりも低下傾向にあり、必要最低限の購入となっている。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	・3回目の緊急事態宣言の影響が、どこまで長引くかが不透明である。
		その他専門店〔スポーツ用品〕（経理担当）	・15歳以上の国民が、新型コロナウイルスのワクチン接種を終える年末頃までは、緊急事態宣言や、まん延防止等重点措置などの繰り返しとなる。
		その他小売〔インターネット通販〕（オペレーター）	・マスクやパルスオキシメーター、体温計といった、新型コロナウイルス関連以外の受注は、減少が続いている。
		一般レストラン（企画）	・大阪だけでなく、関西全体の新型コロナウイルスの感染者数や重症者数はもちろん、ワクチンの接種も先行きが見えないため、3か月で良くなるとは思えない。まだまだ回復には時間を要すると予想される。
		その他飲食〔ファーストフード〕（店員）	・新型コロナウイルスの感染が拡大し、緊急事態宣言が続く限り、来客数は減少する一方である。今後2～3か月も、例年に比べて減少することが予想される。
		都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスのワクチン接種も順調に進むかが不透明で、接種を前提に宴会を考えている客もいるが、難しいように感じる。レストランは少人数での利用が見込まれるものの、中規模の人数で宴会を行うと非難される世の中であり、企業側も消費者側も難しい状況である。
		都市型ホテル（総務担当）	・緊急事態宣言が延長となる可能性があり、解除となった後も一定期間はまん延防止等重点措置が適用される可能性が高いため、景気の回復は更に先になる。
		タクシー運転手	・緊急事態宣言が発出された直後の日曜日は、人の出入りが少ないと報道されていた。新型コロナウイルスの感染が収束しない限り、今後も下降線をたどる。
		通信会社（経営者）	・今後も緊急事態宣言などによる規制で、受注の低迷が予想される。
		通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスのワクチンが行き渡るまでには、まだ時間が掛かるが、変異株の感染拡大で経済活動が制限されると予測される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		テーマパーク（職員）	・お金の流れの停滞は、景気の悪化を招き、小売業や飲食店の閉店や廃業を招く。必要なのは新型コロナウイルスの感染拡大を防ぎ、特に基礎疾患を持つ高齢者を感染させないことであり、そのために本当に緊急事態宣言が必要なのか、再検討をお願いしたい。
		住宅販売会社（経営者）	・先行きが全く見通せないなかで、事業計画などに支障が出てきている。
		住宅販売会社（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、市場に活気がなくなっている。ワクチンの接種が進まなければ、景気は改善しない。
		その他住宅〔住宅設備〕（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種率は先進国で最低であり、高齢者を訪問しても接種したという話を聞いたことがない。政治や行政の駄目さを肌で感じており、先行きには明るさが感じられない。
	×	一般小売店〔衣服〕（経営者）	・現在も来客数、販売量共に異常な状態であるが、また3回目の緊急事態宣言が発出された。急激に増える新型コロナウイルスの感染者数をみると、一時的には厳しくなるが、感染を抑えることが必要である。中途半端な内容ではなく、もっとしっかりとした対策を講じ、緊急事態宣言が繰り返される現状をどうにかしてほしい。消費者にも自粛疲れが出ているほか、経営者も諸対策に対する疲れが出ていると感じる。このような状況で、数か月先に景気が上がるとは全く思えず、更に景気は落ち込んでいくという不安だけが高まる一方である。
	×	一般小売店〔花〕（店員）	・来客数が極端に減っている。新型コロナウイルス対策がうまくいっておらず、この先も外出の自粛や、イベントの中止が予想されるため、売上は減少することになる。
	×	百貨店（売場主任）	・今後の新型コロナウイルスの感染状況や、緊急事態宣言の延長がどうなるかで大きく左右される。ただし、現在の報道状況などを勘案すると、当面は厳しい状態が続くと感じている。
	×	百貨店（営業推進担当）	・ゴールデンウィークの落ち込みと先行きの不透明さから、消費の更なる悪化が予想される。
	×	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの感染防止で人流が抑えられ、観光業や飲食業などが低迷している影響で、スーパーでの食材の購入にも大きな影響が出ている。また、それらの業種で働く人の収入の減少で、消費に影響が出ている。新型コロナウイルスの感染が収束しない限り、これらの傾向は続く。
	×	コンビニ（店長）	・緊急事態宣言の効果次第であるが、現時点では、今のような状態が長く続くと予想している。
	×	衣料品専門店（経営者）	・商品を仕入れようとしても、メーカーが商品を作っておらず、客も買いに来ないため、どうすることもできない。
	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が国民の50%以上で実施されない限り、自由な外出ができない。結果として、外出の需要は皆無といえる状態になる。
	×	家電量販店（企画担当）	・大阪、兵庫、京都に対する緊急事態宣言の解除時期に大きく左右されるため、先行きが不透明である。
	×	乗用車販売店（経営者）	・確実に状況は悪くなっている。緊急事態宣言の発出により、やはり遠方の客は来店をためらっている。いつまでこの状況が続くのか、先が全く見通せない。
	×	住関連専門店（店長）	・当店の商品は日用品や必需品ではないため、世間に不安が広がっているときは、業績が伸び悩むことを何度も経験している。新型コロナウイルスのワクチン接種や、東京オリンピックの開催への不安などが、かつてないぐらいに広がっている以上、楽観的なビジネスの計画は立てられない。
	×	その他専門店〔宝飾品〕（販売担当）	・飲食店などと違い、売上減少への保障も不透明ななか、生活必需品やし好品でもない宝飾品業界は、前年以上に先が見えず、経営の維持が困難な店が増えてくる。
	×	その他小売〔インターネット通販〕（経営者）	・緊急事態宣言による影響が続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	一般レストラン（経営者）	・緊急事態宣言が出る前日は、若年層や高齢者の客で周囲の店はあふれ返っていた。この2週間後はまた新型コロナウイルスの感染者数が増えると予想される。緊急事態宣言が出る前に、店に行っておこうという雰囲気があるため、感染対策を頑張っている店の努力は報われない。
	×	一般レストラン（店員）	・この先の新型コロナウイルス感染者数の推移によっては、休業要請などが出ることも想定される。先のことは全く分からない。
	×	その他飲食〔自動販売機（飲料）〕（管理担当）	・緊急事態宣言が発出されている間は、大型ビルや商業施設が閉鎖されたままであり、上向きの動きにはならない。
	×	観光型ホテル（経営者）	・5月もゴールデンウィークの5月1～4日を除き、臨時休館となる予定である。今は、6月上旬からの営業再開を検討している。
	×	都市型ホテル（客室担当）	・新型コロナウイルスの感染が収束せず、インバウンドの回復まで3年程度掛かると見込んでいる。
	×	都市型ホテル（フロント）	・緊急事態宣言が再び発出されたため、5月は稼働率、収入共に全く振るわない。宣言の解除次第で、今後の状況が変動すると予想される。
	×	タクシー運転手	・緊急事態宣言の発出により、各施設の営業が自粛や休業となっている。ゴールデンウィークの営業収入は確実に減るはずであるが、当社は間引き営業をしないのかと感じている。
	×	観光名所（企画担当）	・3度目の緊急事態宣言によって休業に入ったため、再び収入がゼロとなっている。今後は同業他社も非常に厳しい状況になると予想される。
	×	遊園地（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、緊急事態宣言が前回の解除から短期間で再発出された。また、現在の感染スピードや感染規模の大きさから、もはや楽観的な見通しを立てることが難しい。ゴールデンウィークの休業による損失は甚大で、協力金などの相応の支援やワクチン接種の急拡大がなければ、事業の存続が厳しい状況となっている。
	×	美容室（店長）	・店の収入がない一方、支払は発生しているため、銀行に融資を申し込む必要がある。
	×	その他住宅〔展示場〕（従業員）	・緊急事態宣言の発出により、住宅展示場ではイベントが一切できなくなり、来場者数は激減している。宣言期間の延長も考えられるため、今後到来場者数の回復は見込めない。
企業 動向 関連 (近畿)		木材木製品製造業（経営者）	・従来からの事業、新規事業共に、以前よりも効率的になっている。特に、新規事業は今後更なる受注が可能となるため、良い方向に向かうと予想される。
		金属製品製造業（開発担当）	・繁忙期に入ったため、状況はやや良くなる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・半導体市場の活況に助けられているほか、当社の紫外線やオゾン関連の技術もプラスに働いている。この効果が今後1年以上は続きそうである。あとは従業員が感染しないことを祈っている。
		建設業（経営者）	・今後もう少しずつではあるが、案件が増えてくる予定である。ただし、今回の緊急事態宣言で、どのような影響が出るかが分からない。
		輸送業（営業担当）	・大手メーカーの海外生産品の一部が国内生産に切り替わり、関連の荷物が増えている。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・希望的観測もあるが、新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば改善に向かう。
		広告代理店（営業担当）	・Web媒体、紙媒体共に、広告売上が前年、2年前を上回っている。
		食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチンを接種しない限り、人の流れは増えないため、景気は変わらない。
		繊維工業（団体職員）	・今後は、新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、感染者数が減少に向かうまで、厳しい状況が続く。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・現状を好転させる要因が見当たらない。
		出版・印刷・同関連産業（企画営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で不安定な状況が続くため、企業のコスト削減の動きは続く。
		化学工業（管理担当）	・取引先や海外子会社からは、現在の好調な出荷が続くとの情報を得ている。ただし、利益に関しては、原材料である化学品の大幅な値上げにより、減少が予想される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		プラスチック製品製造業（経営者）	・現状は新規案件がまだ少ないものの、新年度となり、徐々に増加が見込まれる。ただし、マイナス材料もあるため、プラスマイナスゼロで現状維持が予想される。
		金属製品製造業（経営者）	・自動車関連部品の材料関係で、半導体の不足による操業低下の不安はあるが、具体的には表面化していない。
		一般機械器具製造業（経営者）	・これから数か月先も、今の最悪の状況は変わらない。
		一般機械器具製造業（設計担当）	・新型コロナウイルス禍で飲食関連は景気が悪いが、当社の周囲では大きな変化はみられない。
		電気機械器具製造業（宣伝担当）	・緊急事態宣言の解除後、家電量販店が通常の営業に戻れば、実売の推移はここ数か月と変わらない動きになると予想される。
		建設業（経営者）	・3度目の緊急事態宣言が発出され、新型コロナウイルスの感染収束の見通しも立たない今、企業の設備投資計画が見直されている。仕事量は減少傾向にあり、受注競争も激しくなると予想される。
		建設業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が収束に向かった後のことを考え、様子見が続いているように感じる。
		輸送業（営業担当）	・今の状況では、配達量が増えるようなイベントはできない。
		金融業〔投資運用業〕（代表）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が広がり、感染者数は頭打ちになると考えられる。ただし、経済はハンドルを急に切っても反応できないため、来年以降の回復に期待したい。
		司法書士	・今回の緊急事態宣言や、新型コロナウイルスのワクチン接種で感染者数がどう変化するかによるが、これ以上悪くならないように願うばかりである。
		経営コンサルタント	・新型コロナウイルスの影響によるどん底の状態で、生き残り戦略の計画や、先を見据えた努力が続いている。そのなかでも、新しい販売ルートや新しい商品を模索し、創造性の発揮を図るといった動きが顕著であり、先の希望も感じられる。
		経営コンサルタント	・今月は、事業再構築補助金に対する問合せや申込みについての連絡が多かった。相談に応じて感じたのは、やはり完全な新規業種への転換が行えるような企業は少ないため、当面は現状維持のための努力が続くと予想される。
		その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	・ゴールデンウィーク前の緊急事態宣言の発出など、新型コロナウイルスの影響は大きい。
		その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・3回目の緊急事態宣言も、人流を抑制するには余りに弱すぎるため、早晩新型コロナウイルスの感染第5波に見舞われることが予想される。
		食料品製造業（従業員）	・緊急事態宣言が延長されるか、解除されたとしても一定期間後の再発出が想定されるため、予断は許されない。新型コロナウイルスのワクチンの接種状況も、数か月では思ったほど進まないため、状況は良くならない。
		繊維工業（総務担当）	・靴下業界では、消費者向けの一般商品は、新型コロナウイルスの影響で市況の悪化が続いている。医療機器などの商品は問題なく販売できているが、一般商品のマイナスをカバーするまでには至っていない。
		繊維工業（総務担当）	・消費者向けの販売では、購入意欲の減少が目立ち、集客も少なくなっている。今は打つ手が見当たらない。
		化学工業（経営者）	・緊急事態宣言により、飲食店や宿泊業向けの家具メーカーは、半月から1か月遅れで受注が大きく落ち込むため、今回も悪くなると予想される。
		窯業・土石製品製造業（管理担当）	・東京、大阪、兵庫、京都の4都府県に緊急事態宣言が発出され、その影響が少なからず出てくる。現状は、短期間の宣言となっているが、今回は休業する業種や施設も多いため、景気はやや悪くなると予想される。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・引き合いが少ないほか、受注案件の納期が先延ばしになっている。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・緊急事態宣言が発出されたため、今後の見通しが立たない。
		その他製造業〔履物〕（団体職員）	・新型コロナウイルスの感染第4波により、緊急事態宣言が発出され、しばらくは先の見通しの立たない状態が続くそうである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		建設業（経営者）	・3度目の緊急事態宣言の発出により、休業が必要な業種や関連業種では投資マインドが低下するほか、その従業員による住宅取得意欲の低下が懸念される。
		輸送業（商品管理担当）	・新型コロナウイルスの影響で、酒類の販売が落ちているため、売上が悪化する。
		金融業（営業担当）	・緊急事態宣言の解除後の状態によって、大きく変わる。
		金融業（副支店長）	・4月25日からの緊急事態宣言の発出に伴い、百貨店の臨時休業や、巣籠り消費による買物需要の増加といった動きが出るなか、ここ1か月は経済の動きが鈍くなると予想される。
		広告代理店（営業担当）	・緊急事態宣言の発出で、更にキャンペーンやイベントが中止、延期となるため、その関連広告も出稿が減りそうである。
		その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・物件のほか、設備投資の話が少なくなってきたため、今後悪くなる。
		その他非製造業〔衣服卸〕（経営者）	・緊急事態宣言で明らかに消費マインドは低下しているため、5月以降の消費は低調になることが予想される。
	×	化学工業（企画担当）	・市場は回復基調となりつつあったが、緊急事態宣言の発出や新型コロナウイルスの感染者数の増加に加えて、原料価格の高騰も進んでいる。
	×	金属製品製造業（営業担当）	・鋼材の価格といった製造コストがかなり上昇しているが、製品価格への転嫁がなかなか進まない。
	×	通信業（管理担当）	・緊急事態宣言の発出による影響で、景気が冷え込む。
	×	不動産業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響はしばらく続くと予想され、ワクチンの接種もなかなか進んでいないため、景気は悪くなる。
×	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が解消される見通しが全く立たないため、ますます悪化する。	
雇用 関連 (近畿)		-	-
		*	*
		人材派遣会社（経営者）	・各企業は本格的な新規採用に至っておらず、当面は派遣スタッフをうまく使っていき動きとなっている。
		人材派遣会社（営業担当）	・3度目の緊急事態宣言が発出されたが、休業補償や契約終了の話は、以前の緊急事態宣言時よりも少ない。コロナ禍の状況に、企業側も慣れてきた印象を受ける。
		人材派遣会社（営業担当）	・街中では、活気を取り戻したと思えば、休業要請が出るという繰り返しである。休業はレジャー産業、特に飲食業界に集中しており、かなりつらいと感じる。
		アウトソーシング企業（社員）	・採用の募集を行っていないので、今後も人員は増えない。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・緊急事態宣言については、これからも定期的に出されると予想される。そうしたなかで、柔軟に対応できる企業とできない企業の間で差が生まれると感じる。こうした流れはこれからも続くため、全体的にはプラスマイナスゼロになると予想される。
		職業安定所（職員）	・直近の新規求人数は、建設業が前年比で21.5%増加したほか、製造業では機械製造、サービス業では派遣紹介業の増加がみられた。また、4月に入っても前年を上回る推移となっている。ただし、新規求職者数も増えているため、引き続き有効求人倍率は低い水準で推移することが予想される。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染第4波の影響が全てであり、これ以上悪くなるとは思えないが、良くなる材料も見当たらない。
		民間職業紹介機関（職員）	・新型コロナウイルスの感染が収束しない状況では、求人が増加するとは考えられない。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・緊急事態宣言に伴い、新型コロナウイルス関連の事務処理が増える傾向にあるが、通常の求人が少なくなってきたため、余り変化がないように感じる。
	人材派遣会社（役員）	・緊急事態宣言が発出され、景気に水を差す状況となっている。今後も新型コロナウイルスの感染は大きな波が繰り返し到来すると予想されるため、景気が良くなることはない。	
	人材派遣会社（支店長）	・緊急事態宣言の影響が出るかもしれない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		新聞社 [求人広告] (管理担当)	・ 4月25日に3回目の緊急事態宣言が発出されて以降、消費者のマインドも下がり、景気が上向き要素はない。特に、飲食や旅行、観光業といった直接ダメージを受ける業界は、更に深刻となる。今後は新型コロナウイルスのワクチン接種の進行次第となるが、一気に進むとは考えられず、東京オリンピックに向けての開催機運も盛り上がっていない。国や自治体も目新しい施策が提示できていないため、景気はしばらく悪化が進むと予想される。
		職業安定所 (職員)	・ 東京オリンピックの動向も現時点では不透明であるほか、新型コロナウイルスの感染第5波への懸念もあり、飲食業や観光関連産業の回復が見込めないため、今後ますます景気は悪くなる。
		職業安定所 (職員)	・ 求人は人手不足の建設業や、製造業の一部で改善がみられるが、求職者が増加傾向にあるため、景気は悪くなる。今後は、緊急事態宣言の発出による雇用への影響に注意が必要である。
		職業安定所 (職員)	・ 緊急事態宣言の発出による影響が出る。
		民間職業紹介機関 (営業担当)	・ 3か月後はちょうど採用市場での1次募集のピークが終わり、2次募集が始まる時期となるが、採用の人数や質が充足されれば、求人数は減ると予想される。景況感という意味では悪くなる。
		学校 [大学] (就職担当)	・ 新型コロナウイルスの影響を解消するためにも、ワクチン接種を早急に始める必要がある。
	×	新聞社 [求人広告] (担当者)	・ 緊急事態宣言の再発出で、広告費といった本業以外の投資意欲が、関西の地元企業には全くみられない。
	×	学校 [大学] (就職担当)	・ 新型コロナウイルス対策が進まず、一進一退の動きが続けば、企業の体力も尽き、会社を清算する動きがこれから増えてくる。政府による、抜本的な短期集中での対策が必要と感じる。

9. 中国 (地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター)

(- : 回答が存在しない、* : 主だった回答等が存在しない)

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (中国)		商店街 (理事)	・ 新型コロナウイルスのワクチン接種の効果が出ることで、景気はやや良くなる。
		一般小売店 [眼鏡] (経営者)	・ 新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことや東京オリンピックの話題が出てくることで、新型コロナウイルスの報道が落ち着き、消費が回復する。
		百貨店 (営業企画担当)	・ 新型コロナウイルスの感染者数が増加してきているのは気になるが、過剰な反応が少なくなってきているため、今後、景気はやや良くなる。
		スーパー (店長)	・ 来客数の増加に伴い、買上点数も増加してきているので、今後も消費動向が改善し、景気が良くなる。
		乗用車販売店 (営業担当)	・ 客がウィズコロナでの生活に慣れていき、活動が活発になるため、景気はやや良くなる。
		乗用車販売店 (統括)	・ 前年は新型コロナウイルスの影響で、販売量が最悪の状態であったが、徐々に持ち直しており、今後、景気はやや良くなる。
		その他小売 [ショッピングセンター] (支配人)	・ 今回の首都圏、関西圏を中心とした緊急事態宣言の発出で、ゴールデンウィークの行動が抑制され、新型コロナウイルスの感染者数が減少傾向になれば、徐々に客足も戻り、現状よりも景気は良くなる。
		一般レストラン (経営者)	・ これ以上落ち込むことがないほど景気が悪化していることや新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことから、景気はやや良くなる。
		タクシー運転手	・ 再度、緊急事態宣言が発出されたため、一時的には景気が低迷するかもしれないが、2~3か月後には良くなる方向へ進む。
		観光名所 (館長)	・ 新型コロナウイルスの感染状況に影響されるため予測は難しいが、景気はやや良くなる。
		商店街 (代表者)	・ 客が外出を控え、節約している様子があり、今後も景気は良くならない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響が大きく、外出者が減少している。対面販売を主体とする小売業にとっては、来客数の落ち込みは厳しく、今後も現況が続く。
		一般小売店〔食品〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が全て終わらないと現在の状況を打破できないので、景気は現状のまま推移する。
		一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	・ゴールデンウィークのイベントが縮小されたり、中止になったりしているため、景気が良くなる見込みがない。
		百貨店（経理担当）	・3度目の緊急事態宣言が発出され、県内でも新型コロナウイルスの感染が広がり始めているので、今の状況が続くか悪くなる。景気が回復するにはもっと時間が掛かる。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進まないと、人出が見込めず、売上が増加しない。
		百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルスの状況次第であるが、現状ではこのままの状況が続く。ただ、感染者数が少ない地域なので、ちょっとしたクラスターでも発生したら大きな影響が出る可能性はある。
		百貨店（売場担当）	・新型コロナウイルス対応で、緩めては締める、締めては緩めるの繰り返ししがしばらく継続するため、景気動向も同じようなサイクルで波が発生する。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響で、スーパーやディスカウントストアの業績は良く、今後も現在の状況が続く。
		スーパー（店長）	・来客数が増加しない限り、売上也変わらない。
		スーパー（店長）	・3回目の緊急事態宣言が発出され、対象地域ではないが、外出を自粛する人が増加してくる。新型コロナウイルスのワクチンが普及し、安心して買物ができるようになるまでは現状は変わらない。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの動向次第ではあるが、現状では大きく環境が変わらない限り変化がない。
		スーパー（総務担当）	・気候も良く、まだ近辺での人の動きは活発なので、景気は現状を維持する。
		スーパー（業務開発担当）	・節約が定着し、買物の頻度が減少しているため、買い忘れないようにメモを片手に買物する客が増加している。また、客が必要な物だけを購入するため、衝動買いがなくなってきている。
		スーパー（営業システム担当）	・新型コロナウイルスの第4波が来ているが、客の新型コロナウイルス慣れ、自粛疲れなどもあり、巣籠り需要は前年ほどではない。東京オリンピックが控えてはいるが、盛り上がり欠けており、飲料や菓子、酒類などがどれくらい売れるか不透明である。
		スーパー（販売担当）	・暖かくなり、来客数が徐々に増加しているが、新型コロナウイルスの影響が続くため、景気は変わらない。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば状況が良くなるかもしれないが、現状では景気は変わらない。
		コンビニ（エリア担当）	・景気が良くなっていく要因がない。
		コンビニ（副地域ブロック長）	・新型コロナウイルスの影響で、客の自粛が続けば、更に来客数の減少が続くが、新型コロナウイルスのワクチン次第では景気は好転に向かう。
		コンビニ（支店長）	・今後も新型コロナウイルスの感染者数の報道に影響を受ける。
		衣料品専門店（代表）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、景気は変わらない。
		家電量販店（店長）	・東京オリンピックが開催されれば、需要の盛り上がり期待できるが、現状では変わらない。
		乗用車販売店（店長）	・半導体不足による生産の遅延の影響で、今後、数か月は楽観視できない。
		乗用車販売店（営業担当）	・決算も終わり、来客数や販売数が減少しており、新型コロナウイルス禍で、客の購買意欲が低下していることから、今後も景気は良くなる見込みがない。
		乗用車販売店（業務担当）	・新型コロナウイルスの影響で、先行きが全く読めない状況であり、今後も景気が大きく変わることはない。
		自動車備品販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの動向次第だが、ゴールデンウィークも外出自粛でますます売上が見込めず、先行きに明るい兆しもないことから、景気は変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他専門店〔和菓子〕（経営者）	・景気が上向きになる要素が見当たらない。
		その他専門店〔時計〕（経営者）	・景気の先行きは不透明である。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（管理担当）	・5月から新型コロナウイルスのワクチン接種など具体的な対策が実施されるが、効果が出てくるのはもう少し先であり、それまでは客の不安も払拭されないため、景気は変わらない。
		高級レストラン（事業戦略担当）	・緊急事態宣言が発出されたため、また先の動きが読めない状況が続く。
		一般レストラン（経営者）	・市民感覚として外食の安全性に疑問を持たれているのが現状であり、できる限りの対策をしても、来客数の回復は難しい。
		一般レストラン（店長）	・新型コロナウイルスの感染者数が少なくなってくると人の流れも良くなるが、感染者数が増えれば元に戻るという繰り返しである。新型コロナウイルスのワクチンが行き届くまでは景気は変わらない。
		その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（店長）	・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気は変わらない。
		観光型ホテル（副支配人）	・新型コロナウイルスが終息しないため、宿泊の予約が余り見込めず、宴会の予約も皆無の状態、今後も景気は変わらない。
		都市型ホテル（企画担当）	・現状では先の見通しが全く立たない。Go Toキャンペーンの再開は当分期待できないし、新型コロナウイルスのワクチン接種の動向もめどが立たず不安しかない。
		都市型ホテル（総支配人）	・先の予約状況も低迷している。特に大会、学会の延期、中止又は規模縮小などが今後も予測される。また、個人客の動向も弱く、伸びが期待できない。
		旅行代理店（経営者）	・今年中に、新型コロナウイルスのワクチン接種が終了し、次年度から旅行ができる状態になってほしい。
		旅行代理店（支店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少しない限り、この状況は打破されない。早期のワクチン接種拡充や事業者支援等行政の動きに期待するしかない。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス禍で、先行きが不透明のため、景気は良くならない。
		通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスが目に見えて改善の方向に進まない限り、景気の停滞が続く。
		通信会社（経理担当）	・新型コロナウイルスの影響で、しばらくは先のみえない状況が続き、景気も変化しない。
		テーマパーク（業務担当）	・新型コロナウイルスの終息が見えてこないため、現状と余り変わらない。東京オリンピックの開催で少し変化があるかと期待するが、開催できるか見通しが立たない。
		観光名所（館長）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、景気は上向かない。
		ゴルフ場（営業担当）	・ゴールデンウィークの予約も減少中で、この先も感染がある程度抑えられないと来客数は元に戻らない。
		設計事務所（経営者）	・新型コロナウイルスの先行きがはっきりするまで、景気は変化しない。
		住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスのワクチンが全国民に行き届くまでは新型コロナウイルス対策が優先されるので、景気回復は後回しになる。
		商店街（代表者）	・客が買物に慎重な状況が続くため、景気はやや悪くなる。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	・感染力の強い新型コロナウイルスの変異株の出現や緊急事態宣言の発出により、客の自粛が始まることから、景気はやや悪くなる。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	・例年同様、景気はやや悪くなる。
		一般小売店〔靴〕（経営者）	・靴業界全体が悪くなり続けているため、今後、短期間で景気が改善するとは考えられない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの終息のめどが全く立っていないなか、地方でも感染者数が増加している。都心の百貨店も前年と比べれば短期間と思われるが、休業要請を受けており、今後、衣料品メーカーを中心に業績悪化が更に深刻化する。間接的に地方でもショップの閉店や人員の削減が出てくること心配される。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大局面において、来客数の増加は見込めない。また、都市部の緊急事態宣言による休業でメーカーの財務状況が悪化し、商品供給や今後の販促活動に悪影響を及ぼす。
		百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の普及次第で、数か月先には新型コロナウイルスの感染者数が減少し、景気も回復してくるのではとされていたが、4月25日の緊急事態宣言の発出で、先行きが不透明になっている。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、来客数の回復は見込めない。
		スーパー（販売担当）	・景気が良くなる材料がないため、景気はやや悪くなる。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスが終息しないため、景気はやや悪くなる。
		衣料品専門店（経営者）	・夜の街の人出も少なく、今後も新型コロナウイルスの影響が続くため、景気はやや悪くなる。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、客が外出しなくなるため、景気はやや悪くなる。
		家電量販店（店長）	・客の購買意欲が弱い。新型コロナウイルスが更に深刻化してきており、ワクチンの接種も進んでいないことから、景気が好転する要因がない。
		家電量販店（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響が続く、景気は今後、ますます悪くなる。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型車が発売されるが、景気はやや悪くなる。
		乗用車販売店（店長）	・世界情勢の先行きに不安な要素しかなく、今後の報道によっては買い控えが進む。
		乗用車販売店（営業担当）	・緊急事態宣言の対象地域ではないが、今後、一般の来客数が減少するため、景気はやや悪くなる。
		その他専門店〔布地〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、都会の新型コロナウイルスの感染が抑えられないと、地方の景気は良くならない。
		一般レストラン（経営者）	・ゴールデンウィーク後の新型コロナウイルスの感染者数、変異株の件数、ワクチン接種の状況によるが、若年層や学校関係者の感染者数が増加している現状では、友人や家族の分断が広がり、来客数が一層減少する。
		観光型ホテル（営業担当）	・未来が全く予測できない。
		都市型ホテル（企画担当）	・ゴールデンウィークを目前とした状況にあって、他都府県の緊急事態宣言の影響を受けて、宿泊予約が伸び悩んでおり、今後、景気はやや悪くなる。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むかどうかによるが、現時点では、景気はやや悪くなる。
		タクシー運転手	・これからゴールデンウィークに入るが、新型コロナウイルスの影響で、県外客はかなり減少し、飲みに出掛ける人も減少する。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの第4波が訪れているため、タクシーの利用客も減少する。
		放送通信サービス（総務経理担当）	・新型コロナウイルスの影響が長引き、家計の資金繰り悪化が続けば、景気はやや悪くなる。
		通信会社（工事担当）	・新型コロナウイルスの影響が続く、景気はやや悪くなる。
		テーマパーク（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染再拡大の影響で、景気はやや悪くなる。
		テーマパーク（営業担当）	・緊急事態宣言の発出や感染者数の増加など、新型コロナウイルスの終息がまだ見通せないことから、景気はやや悪くなる。
		競艇場（企画営業担当）	・今月のように売上が見込めるレースの予定がないため、景気はやや悪くなる。
		美容室（経営者）	・少しずつ客に慣れが出てきているが、新型コロナウイルスの影響はまだまだ続き、人の動きは鈍くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が続くと景気はやや悪くなる。
		設計事務所（経営者）	・新型コロナウイルスのまん延によって、しばらくは人の動きが鈍くなるため、景気はやや悪くなる。
		設計事務所（経営者）	・現在、建材は値上がり傾向にあり、特に輸入材は価格の高騰で入手難となっている。新型コロナウイルスの影響も重なり、工事の先行きは厳しくなる。
		住宅販売会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者数の増加に伴い、ゴールデンウィークなどの自粛傾向が想定されるため、今後、景気はやや悪くなる。
		住宅販売会社（営業所長）	・地方の景気は、第4波や3度目の緊急事態宣言など、新型コロナウイルスに関する報道に引っ張られる感があるため、今後、景気はやや悪くなる。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染が日常になっているため、今後、景気は悪くなる。
	×	スーパー（販売担当）	・販売促進のイベントや広告の政策は東京の本部で決定される。したがって、首都圏で緊急事態宣言が発せられた状況下では積極的な打ち出しもなく、地方においてもその影響は大きい。先行きは全く不透明である。
	×	スーパー（財務担当）	・新型コロナウイルスの感染が今後も続き、所得減少による節約のため、来客数、客単価が下がり、売上の前年割れが続く。
	×	自動車備品販売店（経営者）	・首都圏及び大都市圏での新型コロナウイルスの感染拡大と変異株の増加で、全国的に緊急事態宣言が発出されそうで、とても不安である。また、それでも東京オリンピックが開催されれば、更なる新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される。
	×	住関連専門店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で、景気が悪く、客が家具の購入どころではない状況が続く。
	×	その他専門店〔土産物〕（経営者）	・度重なる緊急事態宣言や自治体からの自粛要請で、景気は悪くなる一方であり、良くなる材料が何もない。
	×	通信会社（広報担当）	・新型コロナウイルスによる需要があったのは前年までで、今年は客が物を購入する体力がなく、今後、景気は悪くなる。
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が増加すると、客が自粛し、景気は悪くなる。
企業 動向 関連 (中国)		-	-
		繊維工業（監査担当）	・これから夏物シーズンになるが、基本的に冬物と同じ傾向になるので、前期比増となる。
		鉄鋼業（総務担当）	・先々の受注が減少する様子が見受けられないため、今後、景気はやや良くなる。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・東京オリンピックの開催で経済が回復する。
		農林水産業（従業員）	・新型コロナウイルスのワクチンがまだまだ普及しないため、景気は変わらない。
		木材木製品製造業（経理担当）	・現時点では、新型コロナウイルスの感染が拡大するのか、ワクチン接種の広がりにより終息するのか不確定であるが、住宅業界は厳しいながらも、現状を維持する。
		化学工業（総務担当）	・新型コロナウイルスの先行きが不透明で、特に景気に変化する要因もないため、変わらない。
		化学工業（総務担当）	・緊急事態宣言やまん延防止重点措置が定期的に出されることで、企業活動にも影響が出てくるため、当面、景気は横ばいで推移する。
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・鉄鋼業向けの生産が好調なため、当面、現在の水準の生産が継続する。
		鉄鋼業（総務担当）	・新型コロナウイルスや半導体不足の影響等もあり、景気が大幅に変化する動きはない。
		非鉄金属製造業（業務担当）	・電子材料関連や自動車関連の受注状況が今以上に伸長することがないため、景気は変わらない。
		一般機械器具製造業（経営企画担当）	・3度目の緊急事態宣言の発出で、需要動向が不透明となるため、景気は変わらない。
		一般機械器具製造業（総務担当）	・受注量や販売量の動きを見る限り、景気は変わらない。
		建設業（経営者）	・民間工事の受注が新型コロナウイルス発生以前に戻りつつあるので、今の景気は変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
		建設業（総務担当）	・1年程度は現在の状況が継続する。大型物件の割合が上昇しているため失注や遅延が発生したときの対応が重要になってくる。	
		輸送業（総務・人事担当）	・業種により受注数量にばらつきがあり、全体では受注量は増加しない。	
		輸送業（総務担当）	・消費財関連の一部で回復が見込まれるが、取引先ごとに新型コロナウイルスの影響が不透明なところがあるため、景気は当面は変わらない。	
		通信業（営業担当）	・4月下旬に緊急事態宣言が発出され、上昇傾向にあった客の購買意欲が再び停滞する。ただ、以前のような何でも我慢といった状況でもないことから、一定の受注量は確保できる。	
		金融業（融資企画担当）	・地元完成車メーカーの世界販売は当面伸び悩みが続く。また、半導体不足がネックとなり、生産計画が下方修正されているため、系列の地元部品メーカーの受注は引き続き、ピーク時の8～9割程度にとどまる。	
		不動産業（総務担当）	・来客数や成約件数は、今後も余り変わらない。	
		広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で、受注量や販売量の減少が継続している。	
		会計事務所（経営者）	・新型コロナウイルス第4波の影響が懸念され、ワクチンの普及状況次第では景気の回復ペースが鈍化する。	
		食料品製造業（経営者）	・ゴールデンウィーク時の緊急事態宣言で、一段と経済活動が停滞し、厳しい状況が続く。	
		食料品製造業（総務担当）	・製品を値上げしたことや新型コロナウイルスの影響が続くことなどから、今後は厳しくなる。	
		金属製品製造業（総務担当）	・営業から受注が増加するとの報告がなく、鉄原材料価格も高騰することから、採算は今より厳しくなる。	
		一般機械器具製造業（管理担当）	・新型コロナウイルスの終息時期が不透明で協力会社や当社の生産が減少することから、景気はやや悪くなる。	
		電気機械器具製造業（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が全国的にかなり増加し、仕入先の変更等を実施していることで、生産体制に一部影響が出ているため、景気はやや悪くなる。	
		通信業（営業企画担当）	・緊急事態宣言が出ている関東や関西方面からのデータセンターに関する引き合いが少なくなっている。データセンター見学の延期や訪問数の減少が起きていることから、景気はやや悪くなる。	
		金融業（貸付担当）	・3度目の緊急事態宣言が発出されたこと、また、発出されていない地域も影響を受けることから、景気は後退する。	
		×	輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	・主要客からの内示量の大幅な減少があったため、景気は悪くなる。
	雇用関連		-	-
(中国)		人材派遣会社（支社長）	・新型コロナウイルスの動向次第ではあるが、1年間の雇用制限の反動で、雇用環境は改善する。	
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの状況次第ではあるが、しばらく停滞が続く。	
		人材派遣会社（支店長）	・例年、ゴールデンウィーク明けからは求職者の動きが出てくるが、現在は新型コロナウイルスの影響で、転職を控える人が増加するため、状況は変わらない。	
		人材派遣会社（経営戦略担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が国民全体に行き渡るまでは、景気の一進一退が続く。	
		求人情報誌製作会社（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の動向次第であるが、景気は変わらない。	
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの状況次第ではあるが、景気は変わらない。	
		求人情報誌製作会社（広告担当）	・前年の採用はWeb化に早期に対応できたかどうかで大きく差が出ている。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、採用意欲が低下した企業やインターンシップのWeb対応が間に合わなかった企業が出てきている。学生の会社選びのポイントは、以前のやりたい仕事ができる、給料が良いから、安定しているに変わってきている。新型コロナウイルス禍で、先行き不透明な業種や会社ではなく、少しでも安定した会社を選択したいという学生の思いがうかがえる。	
		職業安定所（雇用関連担当）	・大卒求人の受理件数は減少しているが、募集人数は同程度である。一般の求人数も前年並みを維持する。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		民間職業紹介機関（職員）	・景気は回復基調に差し掛かったようにも思えるが、地域限定ではあれ3度目の緊急事態宣言が発出され、人の移動が制限される。地方都市への旅行など当初のもくろみが大きく外れる可能性があり、心理的にも消費の抑制に働く。
		学校〔短期大学〕（進路指導担当）	・企業の採用活動が本格化する時期となるが、新型コロナウイルスの影響が続き、スムーズな活動を行うことが難しくなる。
		学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の効果がどのように出るのか予測できないため、景気は変わらない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・イベント休止、外出規制など4都府県を対象とした緊急事態宣言や新型コロナウイルス第4波の影響が当地域にも及びつつあるため、景気はやや悪くなる。
		職業安定所（所長）	・新型コロナウイルスの影響は宿泊業のみならず土産物などを扱う小売業、周辺の飲食業、土産物の製造業にも広がっている。関西圏での緊急事態宣言の影響は大きく、宣言解除後も元の状態に戻るには時間が掛かる。
		職業安定所（事業所担当）	・緊急事態宣言発出により、卸売・小売業や飲食・サービス業の採用活動が悪化するため、景気はやや悪くなる。
		民間職業紹介機関（求人・人材採用担当）	・緊急事態宣言の再発出に伴って、直接影響を受けない地域でも自粛ムードが漂っており、人材採用でも休止や縮小など大きな影響が出てきている。東京オリンピック関連の求人が地方でも多少みられるようになったが、予想していたほどのものではなく、今後、景気はやや悪くなる。
		その他雇用の動向を把握できる者	・新型コロナウイルス禍で、先行きが非常に不透明なため、景気はやや悪くなる。
	x	-	-

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (四国)		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響がますます強くなり、小売業界においては客の購買意欲は高まってくると思う。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス感染者が多く、どこも大変な状況だが、先が見えてきていると感じており、これから景気は必ず良くなる。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・気温が上がってくると、飲物が売れるのではないかと思っている。
		一般レストラン（経営者）	・ワクチンの普及次第だが、東京オリンピックが近づけば少し良くなると思う。
		競輪競馬（マネージャー）	・ワクチン接種への期待感があり、景気回復のきっかけとなることが見込まれる。
		設計事務所（所長）	・新たな土地を探している客が増えてきており、移転や新築のニーズが高まっている。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス次第だが、これから夏に掛けてのイベント等が、多数中止になっており、観光客も出控えている。また、地元の客も外出を自粛しており、商店街にとってはまだまだ厳しい状態が続くと思う。
		商店街（事務局長）	・ワクチン接種の進捗が消費や景気回復への鍵であり、大きく進むことを期待している。
		一般小売店〔文具店〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況の悪化が続いている。今のところ効果的な対策はなく、落ち着くことを待つしかない。
		百貨店（営業管理担当）	・県内や近県も含め全国的に新規感染者数が急増しており、先行き不透明である。ワクチン接種がまだ進んでおらず、規制と解除の繰り返しで状況の改善が見込めない。
		百貨店（販売促進）	・ワクチン接種後に自粛ムードが緩和され、好転することを期待している。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況次第である。
	スーパー（企画担当）	・ワクチン接種が行き渡り、外出しても感染のおそれがかかり小さくならないと外食の回復は難しい。そのため、スーパーでの消費は高止まりが続くと推定している。今後、夏のボーナスなどの状況によって消費が進むか、後退するかは不透明である。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（店長）	・感染者が落ち着いていた頃は乗客数が回復していたが、直近では減少しており、売上も下がっている。このまま一進一退が続くと考えている。
		コンビニ（総務）	・今月より良くなる要素がない。依然として乗客数減少の状況は変わらず、一昨年の売上には届かないのではないかと考えている。
		コンビニ（商品担当）	・ワクチン接種の見通しが立っていない。
		衣料品専門店（営業責任者）	・首都圏での緊急事態宣言もあり非常に厳しい。ワクチン接種が進まない限り回復は難しいのではないかと考えている。人目や感染状況を気にして外出できないという客が多い。
		家電量販店（店員）	・しばらく外出自粛が続く自宅内の環境整備に金を掛ける人が増えると予想している。
		家電量販店（副店長）	・ワクチン接種を早く進め、新型コロナウイルスの感染が収束しないと客の活気も出てこない。この状況はまだまだ続くと思われる。
		乗用車販売業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響次第ではあるが、このままでは良くなるのは難しいと思う。
		乗用車販売店（従業員）	・ワクチン接種が始まり、感染の不安は軽減されると思うが、景気回復にはまだまだつながらない。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルス感染者数が更に増加している状況では、短期間での改善は望めない。
		乗用車販売店（役員）	・ワクチン次第だと思う。7月から一般にも接種が開始されるという報道があるので、期待している。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・ワクチン接種の見通しが依然として立たず、安心して外出する気にならない。コロナ禍が収束するまで、景気は上向かない。
		旅行代理店（営業担当）	・感染再拡大の状況をみると、業界が復活できる雰囲気は全くなく、客も旅行に行く気分になれない。県境をまたぐ移動自粛もしばらく続くと思う。
		通信会社（営業部長）	・コロナ禍の間は規制が続くと思われ、大きな変化はないと思う。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症の再拡大などで客の動きが鈍化する。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第であり、ゴールデンウィークに客が増えるのか減るのかわからない。
		商店街（代表者）	・ワクチン接種がまだまだ進んでいない状況であり、レジャー産業は厳しい状態が継続すると予想する。
		商店街（代表者）	・地方都市では流通業界で長く主役であったデパートが存続できない時代になっている。ショッピングセンターやコンビニにしても過剰であり、ネット販売にも対応できていない。少子高齢化は加速度を増しており、新たな時代の街づくりへの発想転換がどこまで可能かが重要である。しかし、挑戦しなければ街や地方都市の存続すら難しいと思う。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・この先の予約が母の日ギフトしか入っていない。緊急事態宣言が解除されても、地方は都会のように人通りが戻ってきそうにない。
		スーパー（財務担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くことにより、外食に再びシフトし、内食に伴う需要が減少する。
		衣料品専門店（経営者）	・今月の感染者数も依然として多く、医療もひっ迫しているとの報道が続いていることから、人々の警戒感は強く、景気回復は厳しいのではないかと考えている。
		一般レストラン（経営者）	・ワクチンが行き渡るまでは収束はないと思う。
		タクシー運転手	・当地域も変異株を含む新型コロナウイルスの第4波で感染者数が少しずつ増加している。前年の4～5月の状態と比較しても良くない。また、5月の連休以降も客が目減りすると思う。また、ホテルの予約状況、航空会社の予約状況も一昨年からいうと40%維持できるかどうかという数字なので、タクシー業界も厳しいと判断する。
		通信会社（社員）	・新型コロナウイルスの変異株がまん延しており、経済活動が停滞する可能性が高い。
		通信会社（支店長）	・新型コロナウイルスの感染再拡大の影響が懸念される。
		観光遊園地（職員）	・感染対策期への移行に伴い、飲食店などでは時短営業を余儀なくされ、その余波が関係業種にも多大な影響を与えることが予測される。
		美容室（経営者）	・まだまだ新型コロナウイルスの影響で悪くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・新型コロナウイルスの感染が収束しない限り、飲食店へ納品している業務用個人商店の売上回復は望めない。
	×	コンビニ（店長）	・前年より身近なところでの感染者が多く、特に変異株の拡大が報道されていることもあり、人々の警戒感は強く、当面回復は見込めないと思われる。
	×	衣料品専門店（経営者）	・再び緊急事態宣言が発出され、新型コロナウイルスの感染再拡大の影響がまだまだ続いており、販売量が減少している。
	×	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進まない限り、サービス産業の回復はない。
	×	都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着かないことには宿泊業は良くならない。先行きが全くみえないという今の国の在り方に非常に不信感がある。
企業 動向 関連 (四国)		-	-
		木材木製品製造業（営業部長）	・大手ハウスメーカーの受注推移をみると良くなってきているが、新型コロナウイルスの影響を受けて木材の高騰が進んでいる。この影響が住宅着工数に大きくマイナス影響を及ぼすと思われる。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・依然として厳しい状況であるが、一部地域では政府による経済対策としてのインフラ投資及び再生可能エネルギー関連プロジェクト等により、客の投資マインドに回復の動きがみられる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第で、大小様々な企業が一喜一憂していると感じる。
		建設業（経営者）	・来月には公共工事が多く発注されるかもしれない。
		通信業（企画・売上管理）	・東京オリンピックの開催に向けて景気の上向きが想定されるが、新型コロナウイルスの影響で中止ということになればその見通しは崩れる。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・新型コロナウイルスの影響で、除菌や掃除用のウェットクリーナーの需要はあるが、供給量も多いので売上がそこまで伸びていない。マスクはインパウンドがいなくなったので、売行きが悪い。
		化学工業（所長）	・新型コロナウイルスの影響や原油とナフサ価格の変動で、不安定な時期が継続すると予想する。
		鉄鋼業（総務部長）	・先行き不透明で、まだまだ受注回復の兆しは見えていない。
		電気機械器具製造業（経理）	・特需による販売が落ち着いてきた。
		建設業（経営者）	・公共事業が予定どおり執行されると景況感は好転するが、新型コロナウイルスによる活動制限が景気を悪化させている。現時点では良くなるとは評価し難い。
		輸送業（経理）	・国内の新型コロナウイルス感染者数が増加しており、先行きが不透明である。
		金融業（副支店長）	・新型コロナウイルスの感染の繰り返しにより、消費者動向や企業活動の大幅改善は見込まれない。
		広告代理店（経営者）	・ワクチン接種の予定が遅れているため、集団免疫状態になる予想が遅れている。夏頃のイベント等も中止になる予定であり、販売促進広告も慎重になっていることから、当面は従来と変わらない予想である。
		税理士事務所	・新型コロナウイルスの感染が落ち着かない限り、変化がみられない。
		農林水産業（職員）	・ワクチン接種が一定程度進むまでは国民の安全、安心感は生まれにくい。医療従事者や高齢者への接種は、計画より1か月以上遅れており、国民全体への接種は早く年末、年越しも想定される。現在都市部では第4波が来ており、今後、地方へ拡大する。消費活動は国民が安心して外出できる環境にならないと活発化しないことから、当面は経済活動の自粛が続き、農産物の取引も業務需要による押し上げが期待できないことから、家庭消費主体の低調な価格推移が続く確率が高い。
		食料品製造業（経営者）	・緊急事態宣言の発出により、外食、観光業における売上の減少が懸念される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		繊維工業（経営者）	・既存取引小売店からの受注は減少したものの、多くの小売店が厳しい店頭売上のなか、取扱商品を見直したことにより、新規取引先が増えている。しかし、今年もゴールデンウィークは休業店が多い見込みであり、当分の間は厳しいと思われる。
		輸送業（営業）	・再三の緊急事態宣言発出等、政府施策がマンネリ化するとともに、感染防止対策への意識が薄れていくなか、新型コロナウイルス変異株の拡大は短期間では収まらないとの見方が強い。消費の回復による店舗を介した取扱物量の増加が期待できないことから、前年よりも厳しい状況が続く。経営に深刻なダメージを及ぼすような状態に陥るのではないかと危惧している。
		通信業（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響を比較的受けにくい業種ではあるものの、第4波に伴う各種施策の影響が読み切れない。
	x	輸送業（経営者）	・先は見えていていると感じるが、2～3か月は悪い。
雇用 関連		-	-
(四国)		人材派遣会社（営業担当）	・コロナ禍における取引先の営業が未知数のため、良くも悪くも静観する。
		求人情報誌製作会社（従業員）	・ゴールデンウィーク明けに求職者数は増えると予想されるが、新型コロナウイルスの影響で求人数の増加が見込めない。
		民間職業紹介機関（所長）	・引き続き採用の動きは停滞するよう感じる。
		人材派遣会社（営業）	・新型コロナウイルスの感染は出口が見えない状況であり、密集施設への外出訪問、県をまたいで往来自粛はまだ続くと考えられる。飲食、レジャーなどサービス関連事業へのニーズが高まるまでには時間が掛かると推測する。雇用についても求人ニーズはまだ様子をつかがう状態が続くと思う。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの感染が収束しない限り、景気回復は難しいが、収束すれば、消費が上向き、落ち込んでいた前年を上回る可能性はある。
		職業安定所（求人開発）	・当県全体で変異株による感染者数の増加に歯止めが掛からず、ゴールデンウィーク中も外出自粛が呼び掛けられる事態となっているため、飲食業や旅行業などは業績回復の見込みが立たない状態である。当地域はまん延防止等重点措置が適用され、時短営業しない事業所に対して罰則規定が設けられるなど厳しい状態となっている。回復には更に時間が掛かり、一方で巣籠り需要も急激に伸びるとは思えないことから、景気はやや悪くなると思う。
		学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルスの第4波の収束が見通せないため、3か月先の景気も不透明である。
	x	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で景気はますます悪くなり、派遣の需要が減っている。求人の登録数が増えてこないため、低迷が続く。
	x	求人情報誌（営業）	・これまでは、直接的に新型コロナウイルスの影響を受けている業界で求人が激減し、不景気を実感していた。しかし、介護業界など常に求人難の業界を除いて、製造業など間接的にしか影響を受けない業界でも求人が減ってきていることから、景気は悪化すると判断する。

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (九州)		商店街（代表者）	・第4波に突入しているが、ワクチンの普及も鑑みながら景気は回復すると期待している。
		商店街（代表者）	・最近、商店街がテレビや新聞で報道されてから、日頃来ない客も増え始め、少し売上につながるのではないかと期待をしている。
		百貨店（売場担当）	・全体の3か月後の売上は、前年比110%以内だと推測している。来客数の伸びが悪いが、客単価はしっかり確保しており、食品関係は安定して動いている。衣料品関係次第で、ある程度の売上の見込みがあるとみている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（経営企画担当）	・前月下旬以降、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、客足が直近と比較すると減少傾向となっている。今後の感染拡大の状況次第ではあるが、感染者数は上下する傾向のため、数か月後は改善すると見込んでいる。
		コンビニ（エリア担当）	・東京オリンピック景気とワクチン接種の推進で、より自由な行動が見込まれる。
		家電量販店（従業員）	・コロナ禍による巣籠り需要で、家電の購入が増えている。
		その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	・新規の客で特に一部の地方で増加している状況である。Go Toキャンペーンが再開されると、災害復旧により一部の地区の客が更に伸びると予想される。それに伴い、事業所でのコーヒーの需要も高まり、2～3か月先は若干増加する。
		都市型ホテル（スタッフ）	・ワクチンの普及次第であるが、旅行観光需要は高まっている。
		ゴルフ場（従業員）	・県外移動自粛ムードのなか、密になりにくいゴルフ入場者数の増加傾向は続く。
		美容室（経営者）	・自粛生活でも2～3か月先には購買意欲が出てくるのではないかと考えており、また、夏が近づけば忙しくなるため、少しずつ景気回復すると期待している。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種次第で、今後は変化していく。しかし、先行きははっきりせず、今の状況が継続すると、良くはならない。
		商店街（代表者）	・この時期はイベント等様々なことが催されている時期であるが、まだまだワクチン接種が行き届いておらず、商店街への来街客は年齢層が高く慎重であるため、来店増加も先になると予想される。
		一般小売店〔青果〕（店長）	・当店では、生活に関する必需品の製作にかかわっているため、まだ新型コロナウイルスの影響がないようである。しかし、当地でも感染者が急増しており、客の購買意欲にも変化が出てくると考えられ、また、6月にはGo Toキャンペーンや東京オリンピック等人的移動もあり、先行き不透明である。
		一般小売店〔茶〕（販売・事務）	・新型コロナウイルスの影響で、売上は全く先の見通しが分からない状態である。
		百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染状況やワクチンの接種状況等、先行き不透明なため今後が読めない。
		百貨店（営業担当）	・感染再拡大の懸念やワクチン接種で外出自粛や感染予防の意識は継続しているものの、サテライトショップやギフトショップ、また、ネット・通販受注の充実で客の動きが期待できる。自家需要の紳士トラッドやリビング用品、家電製品等し好性の高い舶来雑貨・時計等は依然堅調で、客単価、商品単価は維持している。慎重な行動姿勢や生活防衛意識及び3密防止で県外との往来の不確実性や自家需要中心の購買は継続していく。
		百貨店（営業担当）	・今月は非常に厳しい状態で、3か月先も変わっていないと予想している。その原因として、新型コロナウイルスの感染拡大やワクチン接種が進んでおらず、新型コロナウイルス対策が進んでいない限りは、景気も上向かない。一方、富裕層の動きは、特にラグジュアリーブランドや時計等一部商材は好調である。しかし、全体を押し上げるには、まだまだ行き着いていない。
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの影響は続くと予測され、景気が上向くとは今のところ考えにくい。
		スーパー（総務担当）	・現状から推測すると、このまま更に悪くなる可能性もあり、懸念される。
		スーパー（企画担当）	・コロナ禍の終息はまだまだ先であると想定され、状況は余り変わらない。消費者も現状に慣れてきており、急激な回復や悪化はないものと推測する。
		スーパー（経理担当）	・新型コロナウイルス第4波の状況で、ワクチン接種による効果の時期により社会生活が変化する。社会が活性化するとスーパーマーケット需要も多少落ちるが、収入が増えれば違う形で増加が見込める。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（経営者）	・3か月後もワクチン接種が行き渡る状況にないと予測しており、新型コロナウイルスの第4波、第5波と終わりがみえない状況に陥っていると考えられ、元に戻るには数年掛かり、厳しい状況は継続される。
		コンビニ（経営者）	・ワクチン接種が終わらない限り、この状況に変化はない。したがって、この悪い状況がしばらく継続することになる。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス感染の抑制やワクチン接種の進捗次第で売上の回復は見込めるが、現状はコロナ禍での来店頻度は少ないまま生活必需品中心の購入により、景気は変わらない。
		コンビニ（エリア担当・店長）	・新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、時短営業の要請で周りの飲食店が休業すれば、若干夜の来店客は伸びると予想されるが、そのこと以外では伸びる要因がないため、2～3か月先も余り変化はない。
		衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスのまん延が収束せず、来街者や来店客がほとんどいない状態がまだ続く。
		衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスの影響が止まらない。ワクチンもまだ接種できない人が多く、現場で関係者が混乱している。先行き不透明で安定してないため、2～3か月先の身の回りの景気が読めない。
		衣料品専門店（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染が広がらないという前提で、状況は変わらない。
		衣料品専門店（取締役）	・今後については、ワクチンの普及や効果で景気が上昇すると考えられるが、東京オリンピックの開催もはっきりせず、医療体制も迷走しており、現在の政治状況に不安があり、今後に期待できる好材料がないため、引き続き企業努力をしていく。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルス特需が激変しており、今まで特需状態であったテレワーク関連商品や高級調理家電の動きが止まっている。東京オリンピックで、黒物関連の需要が見込める予定であったが、先行きが不透明なため盛り上がりがない。
		家電量販店（店長）	・巣籠り需要も落ち着き、厳しい状況が続くと危惧している。
		家電量販店（店員）	・今月の落ち込みは、前年より更に激しい。前年は特別定額給付金の給付により、持ち直して悪くない状態が続いていたが、このまま何も無い状態であると景気の低迷が継続されると考えている。
		家電量販店（総務担当）	・新型コロナウイルス特需の反動も予想され、大物商材の動きが鈍くなると他の商材への影響が大きくなる。
		家電量販店（広報・IR担当）	・テレワーク需要、巣籠り需要が一巡しているが、今後の新型コロナウイルスの影響が不透明で、先行きが懸念される。
		乗用車販売店（従業員）	・新車の売行きに、新型コロナウイルスは大きな影響を持たなくなっている。
		乗用車販売店（従業員）	・販売スケジュールに大きな変化はないため、今の販売状況にも変わりはない。
		乗用車販売店（総務担当）	・新型コロナウイルス第4波の影響を心配しているが、新型車投入計画もあり、新車販売は今後も順調に推移する。
		乗用車販売店（代表）	・ますます状況が悪くなるようで不安である。
		住関連専門店（従業員）	・夏寝具の需要の高まり及びボーナスを見越しての高額の買物客が増えるシーズンとなる。また、5月は寝具の衣替えの季節で、リフォーム等のメンテナンス需要も例年高まる。このメンテナンス需要は緊急事態宣言下であった前年度も景気に変わりなかったため、期待したい。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	・ワクチン接種が進めば、人の動きが活発化されると思われるが、現状では、先行き不明である。
		高級レストラン（経営者）	・緊急事態宣言発出で休業や時短営業をしても、解除後は感染拡大しており、このままでは、良くはならない。多人数による感染拡大やワクチン接種の遅延等早く対策をとらなければ、繰り返すことになり懸念される。
		観光型ホテル（総務）	・ワクチン接種の進み具合から、しばらくは感染拡大の波が前年と同じであるが、景気回復はワクチン接種が一般市民に浸透する秋以降になると予想する。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		観光型ホテル（専務）	・コロナ禍の先行きは全く分からず、2～3か月で収まるとは考えられない。県内の客は若い層が多いため休日に偏っており、平日の動きが全くない。団体が入らないため、売上に大打撃となっている。
		旅行代理店（職員）	・緊急事態宣言が発出された都心部へのビジネスやレジャーが、減少している。
		タクシー運転手	・月末に入り、大型連休を前にして急速に感染者数が増加しており、緊急事態宣言が発出されると、よりタクシー利用が減少するのは確実で、遅れているワクチン接種に期待するしかない。
		通信会社（企画担当）	・年度が明け、順調に引き合いや新規受注がされており、引き合いの数が大きく増減しているとは感じない。
		通信会社（統括者）	・前年度から来店予約制度が客に定着してきており、客の分散来店に対応がスムーズになっている。客にしっかりと説明する時間は取れているものの、一方、本体以外の附属品購入意欲は一昨年ほど高まっていない。
		通信会社（企画担当）	・今月の販売量増加の明確な理由が不明で、見通しが難しいが、現状維持を見込んでいる。
		通信会社（業務担当）	・現在横ばいであるが、再び新型コロナウイルスの影響を受けると下向きになる可能性がある。
		観光名所（従業員）	・新型コロナウイルス変異株の感染拡大が懸念される。
		競馬場（職員）	・感染の拡大と収束が繰り返されると考えられ、このまま状態は変わらない。
		理容室（経営者）	・今月は若干売上が落ちている。要因は、常連客が進学や就職、転勤で一気に減り、加えて当地でも新型コロナウイルスの感染者数が増加しており、来店サイクルが延びている。したがって、売上が減少し、先行きは非常に厳しい。
		設計事務所（所長）	・現在の仕事が2～3か月先までは継続するため、変わらない。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染拡大状況が、このまま止まらなると予想されるため、現状より良くなるはならない。ワクチン接種が進めば、今月よりも改善される。
		商店街（代表者）	・ワクチン接種による景気回復を願うが、夏場までに景気が持ち直す雰囲気はない。
		百貨店（企画担当）	・夏のクリアランスセールは例年と異なり、各ブランドが五月雨式にスタートすると予測され、客の購買マインドも高まりにくいと考えられる。
		百貨店（企画担当）	・変異ウイルス感染の拡大により、外出自粛の傾向が再度高まりつつあり、景気回復への見通しは不透明である。外出自粛の影響で、衣料品関連の需要が更に悪化することが見込まれる。その上、ワクチン効果が期待されるのも数か月先であることから、現時点からすぐに回復することは想定できない。
		百貨店（業務担当）	・前年のように不安を感じている客は少ないが、当面、学事行事もイベントも中止になり、外出が減ることで、需要が大幅に減少している。また、前年と同じく春夏に感染拡大状況となっている。
		スーパー（店長）	・緊急事態宣言が発出されたことにより、今後の来客数動向は、更に減少すると判断している。
		スーパー（店長）	・都心部から新型コロナウイルス第4波が発生しているため、九州でもその影響は避けられない。そのため、消費動向も悪化すると判断している。
		スーパー（統括者）	・前年からの落ち込みが、他社と比較すると容易でないことを考えれば、今後競合他社に負けない対策が必要になる。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される。
		家電量販店（店員）	・前年の今頃は、テレワークやリモートによる影響でパソコン、また巣籠り需要による白物家電の売行きが良かったが、今年は様子が変わり購入が止まっている。新型コロナウイルスの終息がみえない状況で、景気が落ち込んでいくのではないかと危惧している。
		住関連専門店（経営者）	・新型コロナウイルス感染症がまん延し、緊急事態宣言が再発出され、販売者、購入者共に先行きに不安をもっている。
		その他専門店 [書籍]（副店長）	・新型コロナウイルス感染者数増加により、来客数の減少があると予想している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	・今後2～3か月の景気動向としては、新型コロナウイルスの感染状況次第になるが、なかなか厳しい状況にあると考えている。前年をピークに経済は少しずつ動き出してはいるが、負債が積み上がっている中小企業も多く、どこまで耐えられるか不安視する取引先も増えている。
		一般レストラン（経営者）	・感染が広がっているため、当然影響が出てくる。終息に向かっていない限り状況は良くなり、消費を促す対策ができていない。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響で、県内外の人の動きが悪くなると金は回らないため、3密を避け、対応強化していかなければいけない。
		ゴルフ場（営業）	・新型コロナウイルスの影響で、再び緊急事態宣言が発出され、人の動きが悪くなっている。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、外出自粛が多くなり、ゴールデンウィークでも客の見込みはない。3か月先はもっと悪い状況になり、店の倒産が増加すると予想され、当店も例外ではないため、支援を望んでいる。
		美容室（店長）	・前月は、来客数が増加したが、今月は低迷している。2～3か月先も新型コロナウイルス次第で状況が変化すると予想しており、先の見通しが立たない。
		その他サービスの動向を把握できる者（所長）	・地方への景気や新型コロナウイルスの影響は、都市部より遅れてくるため、現在感染拡大している地域が落ち着いた後、新型コロナウイルスの影響を受けることが予想される。
		その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・新型コロナウイルス第4波の全国的な拡大の影響で、外出自粛による通所系サービスのキャンセルや過度に感染を恐れる高齢者の訪問系サービスのキャンセルも懸念される。
		住宅販売会社（従業員）	・来場者数減少が続けば、今後の販売にも影響が出てくる。
		住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で、人出が鈍っており、対面型飲食には客足は少ない。一方、Web等非対面の事業は伸びており、景気は変わらない。
	×	商店街（代表者）	・ゴールデンウィーク後は、一気に来客数が減少する。先行き不明のため、新型コロナウイルスの影響がどこまで減少するかは、予想ができない。
	×	商店街（代表者）	・現在、感染者数が増加傾向にあり、新型コロナウイルスの感染が収束しない限りは、来客数及び売上の回復は望めない。
	×	一般小売店〔精肉〕（店員）	・新型コロナウイルスの影響が、どれほど長引くか見当がつかず、不安である。
	×	一般小売店〔生花〕（経営者）	・2～3か月先は、卒業式や母の日等大きな花を消費する大きなイベントがないため、今後は単価や個数が少ない注文を多くこなし、維持していくかに懸かっている。
	×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が、当面続く。
	×	コンビニ（店長）	・雇用等の立て直しは予測がつかず、閉店も考えなければいけない。
	×	高級レストラン（経営者）	・当店は、企業の接待が多いが、4月の新型コロナウイルスの感染状況やゴールデンウィーク、加えて企業の予約状況で判断すると5月は厳しい状態になる。新型コロナウイルスの感染が収束していき落ち着けば、6月には動きが出てくると考えられるが、5月は、前年以上に悪い月になると懸念している。
	×	一般レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染状況で景気に変化するため、今後の状況が読めず、危惧している。
	×	スナック（経営者）	・今月中旬から、飲食店の時短営業要請が出ている。都心部では緊急事態宣言が発出され、ゴールデンウィークの外出自粛要請や平日のリモートワークの奨励もあいまって、外食産業が盛り上がる状況ではない。
	×	その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理）	・現状の対策では、後手になっており、状況が悪くなるのではないかと悲観的になっている。このままでは、感染は拡大し景気は悪化していく。雇用調整助成金の給付に期待し、何とか存続できるよう対策を考えている。
	×	都市型ホテル（販売担当）	・第1四半期の影響をそのまま受ける状況が見受けられる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染状況から、早くワクチン接種が全体に行き渡れば、若干経済の動きが変わると考えられるが、現在ワクチン接種が進んでおらず、景気に対して危惧している。
	×	設計事務所（所長）	・新型コロナウイルス感染が収束しない限り、景気は上昇しないと考えられる。収入減少の現在では、家の建築や購入は先送りになるのではないかと懸念している。
企業 動向 関連 (九州)		食料品製造業（経営者）	・前年の水害被害から、復興へと進んでいる。来月数商品が発売再開となる予定で、売上増加が見込まれる。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・コロナ禍での半導体不足に伴い、半導体関連の受注が更に増える計画が客より提示されている。
		農林水産業（経営者）	・コロナ禍による販売不振は、外食向けを中心にいまだに残っているが、巣籠り需要でスーパーマーケット向けは、順調に推移している。冷食メーカー向けも一部の地区の原料調達不足もあり、引き合いは強くなっている。外食向けは、前年の状況までにはまだまだ程遠いが、70～80%までには戻りつつある。加えて、Web販売等も徐々に増加しており、将来に対する期待が高まる場所である。
		金属製品製造業（事業統括）	・新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、増加傾向の引き合いは、受注売上増加に影響する。
		電気機械器具製造業（経営者）	・人員の補強も進めており、9月には設備も増強する予定で、キャパも増えつつある。
		電気機械器具製造業（取締役）	・新型コロナウイルスワクチンの普及度合いと感染抑制の効果の見極めが、今後の焦点となる。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	・客の生産計画から判断すると、休日出勤もあり上振れ傾向である。ただし、半導体不足の影響も引き続き注視する必要がある。
		建設業（社員）	・5月の連休が終われば発注も本格的になるが、同時に景気も上向いてくることを望んでいる。発注が遅いと新型コロナウイルスの影響も大きくなるため、非常に危惧している。
		金融業（営業担当）	・東京オリンピックを控え業種全体には人の動きも戻り、景気は良くなると考えられるが、都市部での緊急事態宣言の効果、またワクチン接種の進捗度合いにより、状況は変わっていく。
		農林水産業（従業者）	・今後は出荷する産地が増え、九州出荷の野菜価格は低迷する。
		食料品製造業（経営者）	・受注状況も悪くなく、この状態を下回らないことを願っている。
		家具製造業（従業員）	・市場では目立った変動はなく、物件情報も少ないまま推移している。しかし、その状況でも小規模展開の店舗やオフィスといった新規物件は少なからず存在しており、同業との価格競争に巻き込まれないためには、新しいアプローチが必要である。
		化学工業（総務担当）	・農薬価格の見通しが不透明である。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・夏になるにつれて、受注関係が落ちることが気掛かりである。今後Web関係を充実していきたい。
		一般機械器具製造業（経営者）	・客との取引は、しばらくこの状態が継続する。
		一般機械器具製造業（経営者）	・引き合いや商談等からは先が見えない状況で、今後の予想が立てにくくなっている。
		通信業（経理担当）	・今後も新型コロナウイルスに対する有効的な具体策が示されなければ、この状況が継続され、先行き不透明なままである。
		金融業（調査担当）	・新型コロナウイルス感染者は増加の一途で、都心部で再度緊急事態宣言が発出されている。今後、新型コロナウイルス感染対策の動きが強まることにより経済活動が抑制され、企業の資金繰りや事業継続に影響を及ぼしてくる。ワクチンの普及時期もいまだ不透明であり、現段階では景気回復は見通しにくい状況である。
		金融業（営業）	・今の景気レベルは超低レベルであり、これ以上に落ち込む余地がなく低迷は続く。ワクチン接種による急激なウイルスの抑制を期待できず、現状維持を見込んでいる。
		不動産業（従業員）	・賃貸物件の入居率が、横ばいに推移している。
	新聞社〔広告〕（担当者）	・新年度に入り、動きが鈍化している。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		経営コンサルタント（代表取締役）	・自社Webのアクセス数や問合せ件数に大きな変化がない。
		経営コンサルタント（社員）	・今の状況は、個人で開けるものではなく、当分活動は控えめになると予想される。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・現時点の受注量の見通しから判断すると、若干悪くなる。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・半導体供給不足問題で、影響が出ている。
		その他製造業〔産業廃棄物処理業〕	・新型コロナウイルス感染拡大により緊急事態宣言も発出されたことで、生産が抑えられる可能性が高く、見通しはかなり低い。
		建設業（従業員）	・4月からの新しい体制になり、管工事部門がメインになるため、今から売上等が減少し景気は悪くなる。
		輸送業（従業員）	・新型コロナウイルスの影響や米中の対立悪化の影響により、原料や仕入価格が上昇しているとメーカーから情報がある。そのため、在庫調整が今以上に進み、いずれは原料の値上げ分が商品に転嫁される可能性があるため、先行きは暗い。
		輸送業（総務担当）	・ワクチン接種は始まっているものの、変異株の影響で若年層にも感染が拡大している。第4波の収束状況で景気動向も変わり、物の流れも変化していく。
		通信業（職員）	・新型コロナウイルスの影響で先延ばしとなっている案件があり、今年度の受注目標に対しての予想額が低い状態である。
		金融業（従業員）	・公共工事は高水準で推移しているが、新型コロナウイルス感染者数が再び大幅に増加しているため、飲食店のほか、ホテルや旅館、旅行者等では先行きを不安視する企業が多い。
		金融業（調査担当）	・新型コロナウイルスの感染再拡大を受けて、景気の先行き不透明感や閉塞感が強まっている。人の動きも制限され、当面は景気回復を後押しする材料に乏しい状況が続く。
		その他サービス業〔物品リース〕（職員）	・新型コロナウイルスの感染拡大が、更に活発化するおそれがあり、先行き不透明なため、現状よりも悪化する。
	×	繊維工業（営業担当）	・ゴールデンウィークの店舗休業は生産にとって大打撃で、景気が良くなる状態ではなく危惧している。
	×	経営コンサルタント（社員）	・倒産寸前にまで追い込まれている。資金調達も苦労している。
	×	その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役）	・5月は発注が増える時期であるが、発注件数が少ないため、入札においても低価格競争となる可能性がある。無理して落札しても赤字となるおそれがあるため、経営的に厳しくなる。市町村から委託を受けるコンサルタント業界として景気が悪くなることが予想される。
雇用 関連 (九州)		-	-
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・駅ビルや倉庫型小売店舗等のオープン特需はしばらく続くが、加えて、ワクチン接種もスタートすれば、若干人の動きも出てくると予想される。
		民間職業紹介機関（職員）	・変異株まん延による経済活動低下のリスクはあるが、オンラインの選考も定着し、企業業績も一部業種を除いて回復していることを考えると求人も増えていくと考えられる。
		人材派遣会社（社員）	・求人の動き自体はワクチン対応関連業務が多く、サービス業の求人低迷状態が継続している。
		人材派遣会社（社員）	・登録求職者数の増減は落ち着いている。また、前年は新型コロナウイルスの影響で注文が減っていたが、今年もその影響は続いており、注文は少ない。
		人材派遣会社（社員）	・求人に関しては、企業側も求職者側も新型コロナウイルスによる先行きが見えないため、産休欠員等の期間限定の内容が多く、繁忙期増員の依頼等の求人は、増えてはいかない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・新型コロナウイルスの影響は日を追うごとに厳しくなっている。今のところは緊急事態宣言は発出されていないが、いつ緊急事態宣言が出て仕方がない状態が続いている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの感染が収束しない限り、大きく景気が上向くとは考えられないが、コロナ禍の生活に慣れてきており、それに応じた社会保障で、当面は現状維持の景気が続く。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの影響により、新規求人数の増加が見込めない。
		人材派遣会社（社員）	・求人数の動きが若干回復していたが、新型コロナウイルス変異株の影響で悪い影響が始め、採用意欲の低下につながるおそれがある。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、影響が考えられる。
		新聞社〔求人広告〕（社員）	・新型コロナウイルスの感染状況次第のため、先行き不透明である。ワクチン接種は進むと思われるが、変異株の増加や行動範囲の広い若者の感染増加を考えると、好転していくとは考えられず、むしろ悪くなっていく。
		職業安定所（職員）	・3月に入り、新規求人数の前月比が増加しており、4月も新規求人が順調に申し込まれている。しかし、4月中旬までは、雇用調整助成金の相談も減少していたが、中旬以降は新型コロナウイルスの感染再拡大が顕著になってきたため、管内では緊急事態宣言の発出はまだないが、行事の中止や観光施設が休館となっている。このため、観光業を中心とした産業に影響があると考えられる。
		学校〔大学〕（就職支援業務）	・都心部で緊急事態宣言が発出され、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が続いている。今後は、他の地域にも影響が広がっていくことが予想され、新卒採用者数の調整は更に進むと考えられる。
	×	職業安定所（職員）	・雇用調整助成金の縮減が予定されており、企業の資金繰りが厳しくなると予想される。

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)		*	*
		スーパー（販売企画）	・新規競合店の影響が5月から一巡することになる。そのことだけはプラス要因だが、コロナ禍で県内の観光産業や飲食業等が大変厳しい状況にあり、その影響が景気悪化としてもっと表れてくることも予想される。現状では新型コロナウイルスのワクチン接種の状況が景気を左右すると考えられる。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まると来客数が増えてくるので、売上が期待できる。
		乗用車販売店（経理担当）	・観光客も、新型コロナウイルスの感染対策をしながら、少しずつ回復している様子である。海外に行けない分、沖縄に流れる傾向もあるのではないかと。
		一般小売店〔酒〕（店長）	・新型コロナウイルスのワクチンがいつになるか分からない。
		百貨店（店舗企画）	・前年開催できなかった物産展等で動員を期待しているが、ゴールデンウィーク明けの新型コロナウイルス感染拡大状況でどう転がるか分からないのが現状である。
		スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数の状況次第ではあるが、しばらくは来客数の回復が見込めない。
		コンビニ（代表者）	・国内の新型コロナウイルスワクチン接種が70%程度終了しない限り大きな景気回復は見込めない。
		衣料品専門店（経営者）	・今月の初めは、良い兆しが見えているような感じであったが、新型コロナウイルス対策の自粛要請の影響か、後半に掛けて客の出が悪くなり、客も余り商品に関心を見いだせなくなっている雰囲気である。まだまだ景気の浮上感はない。
		衣料品専門店（経営者）	・正直なところ新型コロナウイルス次第である。あとは飲食ばかりではなく、他業種への持続化給付金や国民一人一人への特別定額給付金などの再給付でもない限り、全体の景気回復は難しいのではないかと。
		その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・先行きの予約状況は一昨年比50%前後と厳しい状況が続いている。現状の新型コロナウイルスの感染状況から今後も観光関連の回復は見込めない状態であり、行政の早急な支援、対策が必要である。
		住宅販売会社（代表取締役）	・当面は建築契約を受注できそうである。ただし、商業店舗や宿泊施設などの建築相談が確実に減少しており、将来的には不安が残る。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（経営者）	・現在の新型コロナウイルスの感染状況が改善する兆しもなく、また、ワクチンの接種状況や効果も分からない状態では期待感を持てる状況にはない。さらにはまん延防止等重点措置の適用により、個々人の自粛モードの影響は大きなダメージとなっている。また、沖縄への観光客の人流も減少にある等回復の兆しはみられない。
		コンビニ（副店長）	・前月はワクチン接種が開始されたことにより景気回復の期待があり、前年の同時期と比べて回復見込みであったが、主要都市の緊急事態宣言発出に伴い人の流れが止まり、先行きが見えない厳しい状況である。
		通信会社（営業担当）	・月初めは3月からの好調が続いていたが月後半になると客足も落ち着いてきている。今後伸びる要因もないので今月の好調の維持は難しいとみられる。
		住宅販売会社（役員）	・東京、大阪などの緊急事態宣言もあり、不動産取引も少なからず影響を受けるとみられる。
	×	商店街（代表者）	・今は個店の閉店時間も早くなり、来客数も減っている。世の中が落ち着くためにも、今後の新型コロナウイルスのワクチン頼みかという感もある。
	×	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・これだけ飲食がたたかると、スタッフの採用にも影響が出ており、維持のための採用もままならない状態である。売上が立たない分は借金でまかなってきたので、元金返済が始まると多少景気回復したくらいでは追いついていかない。
	×	観光型ホテル（代表取締役）	・来月、再来月の予約は悪い。夏の予約も増えていない。新型コロナウイルスのワクチン頼みの状況である。
	×	観光型ホテル（企画担当）	・ホテルの4月の販売室数は、前年が月半ばから休館していたこともあり前年比413%増なのに対し、4月末時点での7月の予約室数は前年比7%減とマイナスに転じている。
	×	旅行代理店（マネージャー）	・新型コロナウイルスのワクチン接種もなかなか進まないし、緊急事態宣言は中途半端に解除されて感染者は増え続け、海外からの人の流入は止めず、自粛自粛のオンパレードで、どうしようもない。
	企業 動向 関連 (沖縄)		-
		食料品製造業（役員）	・前年の巣籠りによるスーパー方面への大幅な売上増加はないものの、堅調な売上増加がみられる。
		窯業土石業（取締役）	・今月は見積依頼が若干増加し回復傾向にあるが、新型コロナウイルスの影響は当面続くことが予想され、先行き不透明感もあり現状維持が見込まれる。
		建設業（経営者）	・モデルハウスに来場しても、具体的な商談に進む客がパタッと止まった。
		輸送業（代表者）	・宮古島、石垣島の建設関連は、落ち着いていた新型コロナウイルスの感染者数が増加しつつあるなか、官需部門においては、宮古島の陸上自衛隊関連を中心に終盤となっている。民需部門においては、大型ホテル等で回復している。ただし、先島産石材の米軍基地利用が実現されれば、船舶の供給過多が進み、一段と厳しい競争が予想される。
		広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルス変異株のまん延による影響を危惧する県内企業が多く、販促活動を縮小又は見送るケースもあることから、しばらくは現状のまま低迷する景気が続くものとみている。
×		-	-
雇用 関連 (沖縄)		-	-
		人材派遣会社（経営者）	・現在の低迷の大きな原因は新型コロナウイルスによるものだが、ワクチン接種とともに経済回復は進むと予想される。3か月後は少し良くなっているのではと期待を込めて回答する。
		人材派遣会社（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が増加している。
		求人情報誌製作会社（営業）	・採用を停止又は抑えている企業や、ホテル、観光業界全体が求人再開をするまでにはまだ時間が掛かるとみられ、現在と同数程度の求人数になると予測している。
		学校〔大学〕（就職支援担当）	・緊急事態宣言がいつ発出されるか分からない状況であり、社会経済活動が活発化する兆しがみえない。経済活動が現状維持で推移するとみられる。
	学校〔専門学校〕（就職担当）	・前年より求人を出すタイミングを早めている企業が多いようにみられるため、求人数の増加は緩やかになると推測される。ただ、今の良い状況は維持されていくとみている。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		求人情報誌製作会社 (営業担当)	・県内の新型コロナウイルス感染が拡大傾向にあり、消費者や求人企業の動きが減退傾向になりそうである。
	x	-	-